

きょうとししょうがいしゃせいかつじょうきょうちょうさ
京都市障害者生活状況調査
(れいわ ねんどじっし
令和4年度実施)

ほう こく しょ
報 告 書

きょう と し
京 都 市
ほけんふくしきょくしょうがいほけんふくしすいしんしつ
保健福祉局障害保健福祉推進室

目次

1 調査概要	4
2 考察	5
3 調査結果	

<基本的事項>

問 1 調査票の記入者	6
問 2 年齢	7
問 3 性別	7
問 4 居住地	7
問 5 手帳の有無	9
(ア) 手帳を持っていない理由	
問 6 身体障害者手帳の所持	10
(ア) 障害の原因	
(イ) 身体障害者手帳の障害種別、等級、交付年齢	
問 7 療育手帳の所持	13
(ア) 療育手帳の障害の程度と交付年齢	
問 8 精神障害者保健福祉手帳の所持	14
(ア) 精神障害者保健福祉手帳の障害種別、等級、交付年齢	

<障害の診断等に関する質問>

問 9 知的障害として判定・診断の有無	16
問 10 発達障害と診断の有無	16
問 11 高次脳機能障害として診断の有無	16
問 12 難病として診断の有無	17
(ア) 病名（指定難病の医療費受給者証を持っている方）	
(イ) 病名（指定難病の医療費受給者証を持っていない方）	

<心身の状態に関する質問>

問 13 医療的ケアの有無	21
(ア) 医療的ケアの内容	

<日常生活のしづらさに関する質問>

問 14 生活のしづらさ	22
問 15 主な支援者	23
(ア) 主な支援者の続柄、年齢、主な支援者から一時的に支援が受けられない場合の受け皿	

＜社会生活の状況に関する質問＞

問 1 6	外出頻度	2 5
問 1 7	日中活動	2 5
	(ア) 仕事の詳細	
	(イ) 教育・保育・療育の詳細	
	(A) 児童発達支援事業所の利用状況	
	(B) 利用している子育て支援	
	(ウ) 仕事や教育・保育以外の活動をしている方の過ごし方	

＜生活の基盤に関する質問＞

問 1 8	住まいの種類	2 8
問 1 9	同一世帯員の有無	2 9
	(ア) 同一世帯員の続柄	
問 2 0	収入状況	3 0
問 2 1	生活保護、住民税、所得税	3 3

＜日常的に利用している用具等に関する質問＞

問 2 2	日常的に利用する身体機能を補う用具の利用の有無	3 4
	(ア) 日常的に利用する身体機能を補う用具の種類	
	(イ) 日常的に利用する身体機能を補う用具を利用しない理由	
問 2 3	意思疎通を支援するための手段・機器・サービスの利用の有無	3 5
	(ア) 利用している手段・機器・サービス	
	(イ) 意思疎通を支援するための手段・機器・サービスを利用しない理由	
問 2 4	情報の入手方法	3 7

＜福祉サービスに関する質問＞

問 2 5	介護保険の要介護・要支援の認定	3 9
	(ア) 要介護度	
	(イ) 要支援度	
問 2 6	障害福祉サービスの利用状況	4 0
	(ア) 障害支援区分	
	(イ) 利用している障害福祉サービス	
	(ウ) 障害福祉サービスの利用の希望	
問 2 7	今後利用したいサービス	4 2
問 2 8	特に必要と感じているサービス	4 7

<就労に関する質問>

問 2 9	就労状況	5 6
	(ア) 就業中の方の仕事の継続の希望	
	(イ) 現在未就労の方の今後の希望	
	(ウ) 現在就学中または未就学児の方の今後の希望	
	(A) 希望する雇用形態	
	(B) 障害者向け求人への希望	
	(C) 現在未就労の理由	
問 3 0	仕事をするために必要と感じていること	5 9

<その他の質問>

問 3 1	医療を受ける頻度	6 0
問 3 2	1箇月当たりの医療費の自己負担額	6 1
問 3 3	マイナンバーカードの有無	6 1
問 3 4	災害時に向けた準備	6 1
問 3 5	避難行動の支援者	6 3
	(ア) 支援者が特にいない主な理由	
問 3 6	新型コロナウイルス感染症による困りごと等	6 4
問 3 7	主な相談先	6 9
	(ア) 相談したいができない理由	
問 3 8	自宅や地域で生活するための条件	7 4
問 3 9	差別的な取扱	7 9
	(ア) 差別的な取扱いを受けたことがある方の具体的な体験	
問 4 0	手助けや配慮の経験有無	8 2
	(ア) 助かった、うれしかった手助け、配慮の具体的な体験	
問 4 1	ピアサポーターとしての活動の有無	9 1
	(ア) 今後ピアサポーターとして活動したいかどうか	
問 4 2	ピアサポーターからの支援	9 2
	(ア) どのような活動にピアサポーターが必要か	
問 4 3	生活のしづらさ、困っていること	9 3

1 調査概要

(1) 調査目的

本市では、平成30年3月に京都市障害者施策推進計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の3つの計画を「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン（計画期間：平成30年度～令和5年度）」（以下「ほほえみプラン」という。）として一体的に策定し、令和2年度には中間見直しを行い、障害保健福祉施策の総合的な推進に取り組んでいる。

今般、次期ほほえみプランの策定に向けた障害保健福祉施策の在り方検討の基礎資料とするため、実施した。

(2) 調査概要

調査期間	令和4年11月1日から令和5年1月31日まで
調査対象者	市内に住所を有し、障害のある方（手帳所持者に限らない。）
回答方法	郵送、電子メール、FAX及び持参
回収数	1,020件

(3) 本書のみかた

- ・ 集計表は標本数（n）を100とした比率（％）で小数点以下第1位まで表示した。なお、端数処理（四捨五入）の関係で100.0%にならない場合があるが、表記上の処理で100.0%と記載している。

また、「複数回答」の合計が100.0%を超えるが、これも端数処理（四捨五入）の関係で、合計欄の値と各選択肢の数値を単純に積み上げた場合の数値とが異なる場合がある。この場合も、表記上の処理で100.0%と記載している。

- ・ 設問の回答肢などの表記については、表記が長くなるため略文で示している場合がある。
- ・ 自由記述の回答の一部について、文意を変えないよう努めたうえで、個人が特定されないような表現や文言統一などの修正を加えている。

2 考察

京都市障害者生活状況調査を行った結果、回答から読み取れる傾向や今後の障害保健福祉の課題について、5つのポイントがあると考ええる。

(1) 介護者の高齢化

障害のある方の普段の生活を支える親等の主な支援者の年齢について、60歳以上の方が約5割を占めており、支援者の高齢化が顕著である。

また、支援者の高齢化に伴い、親亡き後の障害のある方への生活支援に不安を抱えている方が多く、特に療育手帳をお持ちの方は、約半数の方が支援の必要性を感じておられることが伺われる。

(2) 緊急時の対応への不安

主な支援者の方が万一急病、事故、出産などのため、一時的に支援ができなくなった場合、どうすることになっているかという設問に対し、「考えていない・決まっていない」と回答された方が約2割おられた。介護している家族の急な不在時の支援方法が未定の方が多い。

(3) サービスの提供体制や量の確保

今後利用したいあるいは回数を増やしたいサービスは何かとの設問に対し手の回答から「移動支援」「短期入所」「居宅介護」「グループホーム」「計画相談」を必要とされる方が多いことがわかる。特に療育手帳をお持ちの方で顕著である。

(4) 災害時の不安

災害が発生した際、主に避難所までの避難行動を支援する方が誰かとの設問に対し、「特にいない」と回答された方が2割弱程度おられた。また、障害の性質上、避難所への避難が困難又は予定していない方が一定数おられた。

(5) 地域生活の継続への支援

地域で生活を継続するための条件として、「介護」「住まい」「緊急時対応」が必要と回答された方がそれぞれ5割程度の方が回答されており、ニーズが高い。特に療育手帳を所持している方においては、短期入所やグループホーム、緊急時の支援を求めるニーズが高い。

3 調査結果

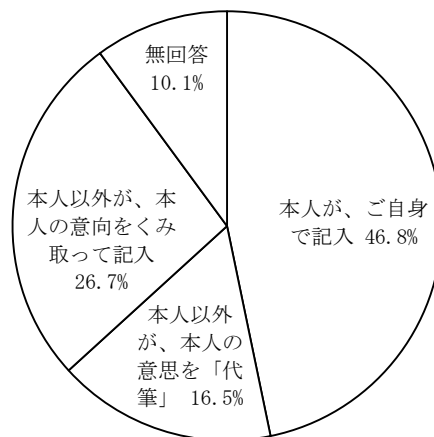
＜基本的事項＞

問1 とい 本調査を記入した方について、 ほんちようさ きにゆう かた あ まる 当てはまるもの1つに○をつけ てください。	単一回答
---	------

- ・「本人が、ご自身で記入」が46.8%と最も多い。
- ・「本人以外が、本人の意思を「代筆」」が16.5%、「本人以外が、本人の意向をくみ取って記入」が26.7%となっており、約4割の方が「本人以外」の記入である。

問1 調査票の記入者

本人が、ご自身で記入	477	46.8%
本人以外が、本人の意思を「代筆」	168	16.5%
本人以外が、本人の意向をくみ取って記入	272	26.7%
無回答	103	10.1%
合計	1,020	100.0%

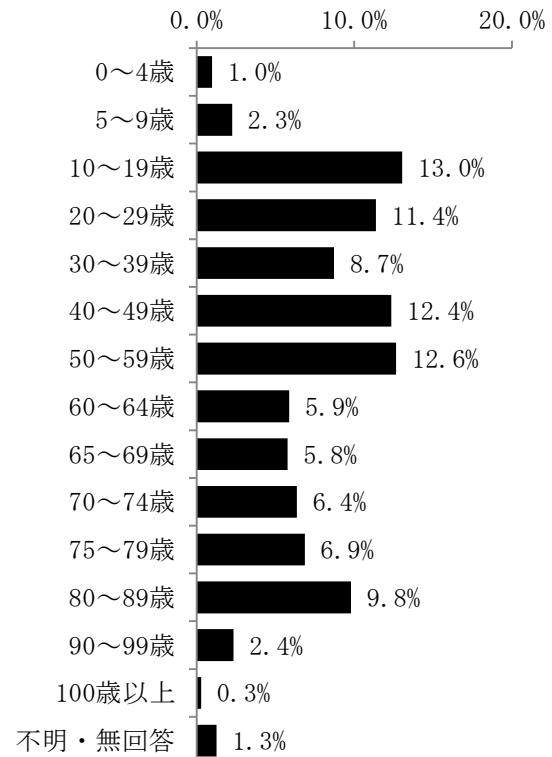


問2 あなた（調査の対象となる方）の年齢をお答えください。 （令和4年（2022年）12月1日時点の年齢）	単一回答
--	------

- ・「20歳未満」16.3%、「20歳代から50歳代」45.1%、「60歳以上」が37.4%となった。

問2 年齢

0～4歳	10	1.0%
5～9歳	23	2.3%
10～19歳	133	13.0%
20～29歳	116	11.4%
30～39歳	89	8.7%
40～49歳	126	12.4%
50～59歳	129	12.6%
60～64歳	60	5.9%
65～69歳	59	5.8%
70～74歳	65	6.4%
75～79歳	70	6.9%
80～89歳	100	9.8%
90～99歳	24	2.4%
100歳以上	3	0.3%
不明・無回答	13	1.3%
合計	1,020	100.0%

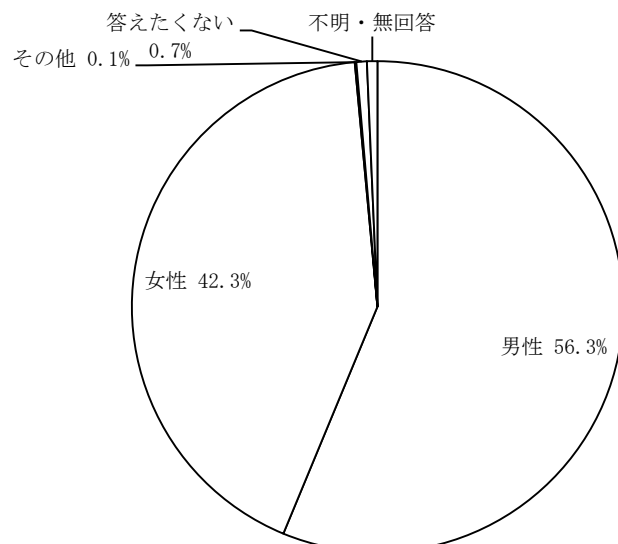


問3 あなた（調査の対象となる方）の性別について、 <u>当てはまるもの1つに○をつけてください。</u>	単一回答
---	------

- ・男女比率は、男性が約6割、女性が約4割となった。

問3 性別

男性	574	56.3%
女性	431	42.3%
その他	1	0.1%
答えたくない	7	0.7%
不明・無回答	7	0.7%
合計	1,020	100.0%

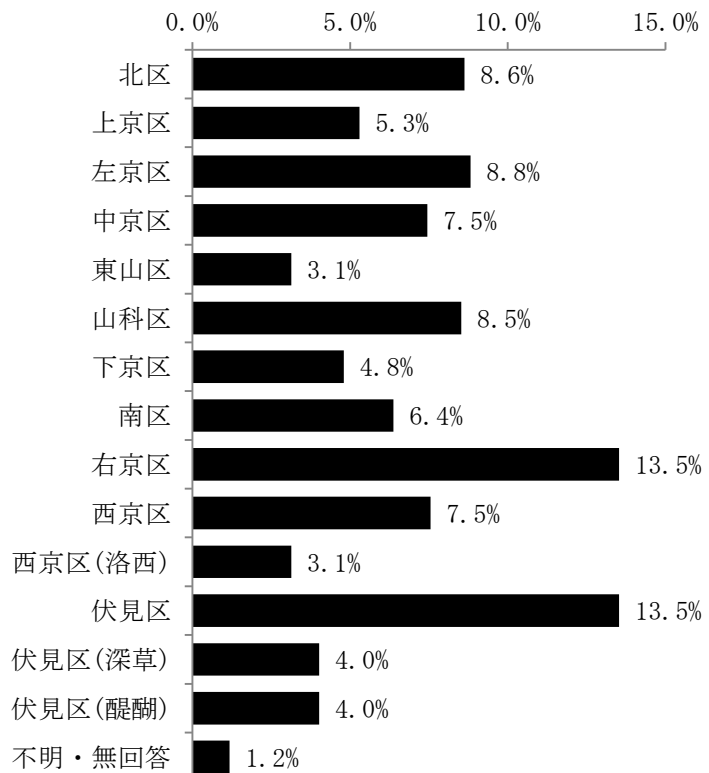


問4 ご本人（調査の対象となる方）の住まいについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
---	------

- ・「右京区」「左京区」が13.5%で最も多かった。次いで「左京区」が8.8%であった。

問4 居住地

北区	88	8.6%
上京区	54	5.3%
左京区	90	8.8%
中京区	76	7.5%
東山区	32	3.1%
山科区	87	8.5%
下京区	49	4.8%
南区	65	6.4%
右京区	138	13.5%
西京区	77	7.5%
西京区(洛西)	32	3.1%
伏見区	138	13.5%
伏見区(深草)	41	4.0%
伏見区(醍醐)	41	4.0%
不明・無回答	12	1.2%
合計	1,020	100.0%

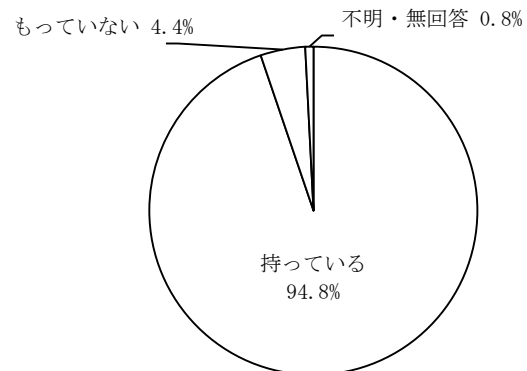


問5 障害者に関する手帳を持っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「障害者に関する手帳を持っていない」と答えた方】 障害者に関する手帳を持っていない理由は何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答

- ・いずれかの障害者に関する手帳を持っている方は、94.8%となった。
- ・いずれの障害者に関する手帳を持っていない方の理由は、「障害の種類や程度が手帳の基準に当てはまらないため」が62.2%であった。

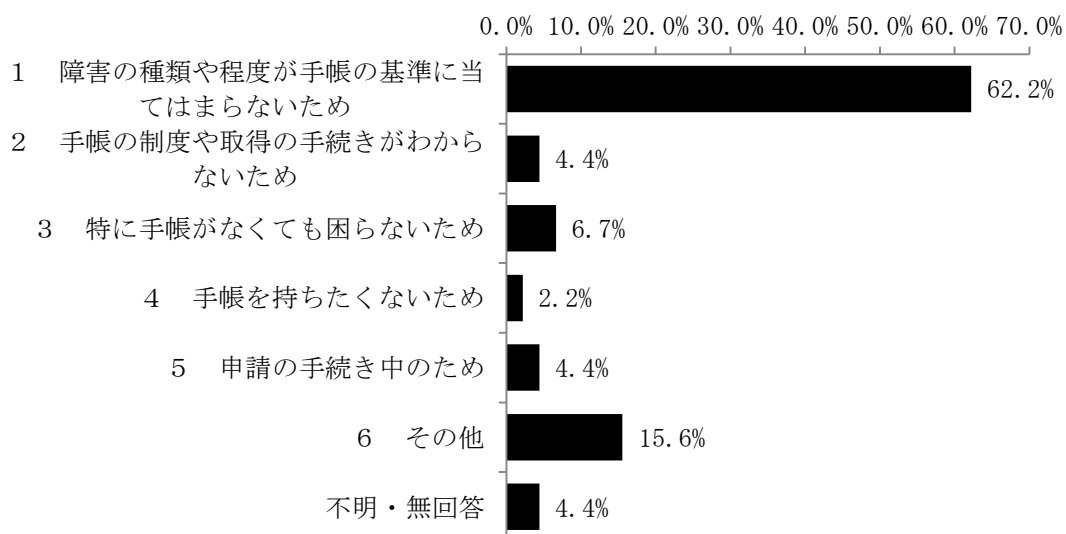
問5 手帳の有無

持っている	967	94.8%
もっていない	45	4.4%
不明・無回答	8	0.8%
合計	1,020	100.0%



問5 (ア) 手帳を持っていない理由

1 障害の種類や程度が手帳の基準に当てはまらないため	28	62.2%
2 手帳の制度や取得の手続きがわからないため	2	4.4%
3 特に手帳がなくても困らないため	3	6.7%
4 手帳を持ちたくないため	1	2.2%
5 申請の手続き中のため	2	4.4%
6 その他	7	15.6%
不明・無回答	2	4.4%
合計	45	100.0%

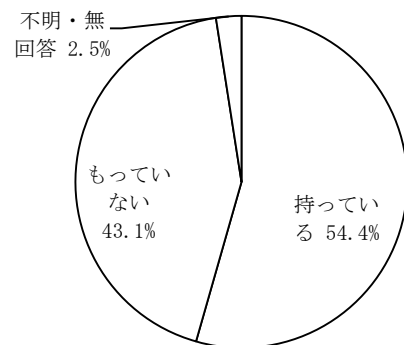


問6 身体障害者手帳を持っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「身体障害者手帳を持っている」と答えた方】 障害の原因について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(イ)【「身体障害者手帳を持っている」と答えた方】 身体障害の種類と等級はどのように認定されていますか。 身体障害者手帳に記載されている総合判定の等級と、障害の種類ごとに該当する等級について、当てはまるもの1つに○をつけてください。 また、当てはまる障害の種類ごとに、はじめて手帳が交付された年齢について、ア～エのうち、当てはまるもの1つに○をつけてください。	複数回答

- ・身体障害者手帳を持っていると答えた方は、54.4%となった。
- ・身体障害者手帳を持っていると答えた方の障害の原因で最も多かったのは、「病気」で51.2%であった。次いで多かったのは、「生まれたときから」が28.6%となった。

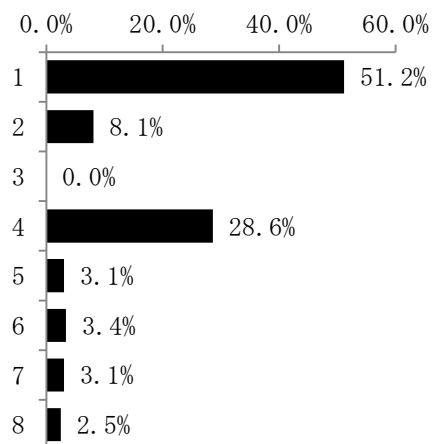
問6 身体障害者手帳の所持

持っている	555	54.4%
もっていない	440	43.1%
不明・無回答	25	2.5%
合計	1,020	100.0%



問6 (ア) 障害の原因

1 病気	284	51.2%
2 事故・けが	45	8.1%
3 災害	0	0.0%
4 生まれた時から（出生時の損傷を含む）	159	28.6%
5 加齢	17	3.1%
6 その他	19	3.4%
7 わからない	17	3.1%
8 不明・無回答	14	2.5%
合計	555	100.0%



- ・等級は、「1 級」の方が 22.5%、「2 級」が 15.5%であった。
- ・年齢は、18 歳未満が 19.3%となった。
- ・障害の種別の等級では、肢体不自由（下肢）、肢体不自由（上肢）、聴覚障害の順に人数が多かった。

問 6（イ） 身体障害者手帳の障害種別、等級、交付年齢

総合判定の等級

等級 \ 年齢	18 歳 未満	18 歳～ 39 歳	40 歳～ 64 歳	65 歳 以上	不明・ 無回答	合計	比率
1 級	57	13	18	27	10	125	22.5%
2 級	33	15	20	11	7	86	15.5%
3 級	7	1	19	16	2	45	8.1%
4 級	3	5	23	23	1	55	9.9%
5 級	5	3	4	5	1	18	3.2%
6 級	1	3	1	2	1	8	1.4%
不明・無回答	1	1	3	2	211	218	39.3%
合計	107	41	88	86	233	555	100.0%
比率	19.3%	7.4%	15.9%	15.5%	42.0%	100.0%	

障害の種別の等級

等級 \ 年齢	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	無回答	合計
視覚障害	15	13	0	2	4	3		0	37
聴覚障害	0	67	6	8	0	13		2	96
平衡機能障害			1		1	0		1	3
音声・言語障害			3	3				3	9
そしゃく機能障害			2	1				1	4
肢体不自由（上肢）	26	27	14	4	3	5	3	7	89
肢体不自由（下肢）	38	34	21	38	13	9	1	6	160
肢体不自由（体幹）	35	23	7	1	5	0		5	76
肢体不自由（脳原性運動 機能障害・上肢機能障害）	9	5	0	1	1	1	1	0	18
肢体不自由（脳原性運動 機能障害・移動機能障害）	10	8	0	2	1	0	1	2	24
心臓機能障害	35		11	17				2	65
呼吸器機能障害	4		3	1				0	8
ぼうこう機能障害	1		0	4				1	6
直腸機能障害	0		1	11				0	12
小腸機能障害	0		0	1				0	1
ヒト免疫不全ウイルスによる 免疫機能障害	0	0	0	0				0	0
肝臓機能障害	3	0	0	1				0	4

障害の種別の交付年齢

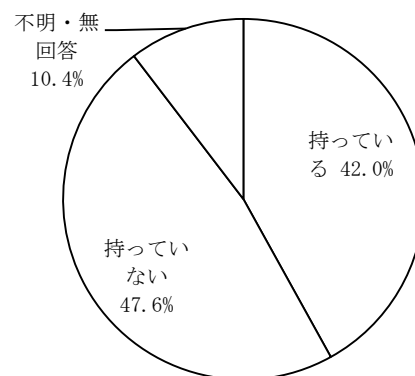
等級 \ 年齢	18 歳 未満	18～39 歳	40～64 歳	65 歳 以上	無回答	合計
視覚障害	10	7	8	8	4	37
聴覚障害	52	13	10	13	8	96
平衡機能障害	0	1	0	1	1	3
音声・言語障害	2	3	3	1	0	9
そしゃく機能障害	0	3	1	0	0	4
肢体不自由（上肢）	43	9	19	12	6	89
肢体不自由（下肢）	59	20	43	30	8	160
肢体不自由（体幹）	44	9	10	7	6	76
肢体不自由（脳原性運動機能障害・上肢機能障害）	9	5	1	3	0	18
肢体不自由（脳原性運動機能障害・移動機能障害）	10	7	2	4	1	24
心臓機能障害	9	1	16	36	3	65
呼吸器機能障害	1	0	0	6	1	8
ぼうこう機能障害	0	1	1	4	0	6
直腸機能障害	0	0	1	11	0	12
小腸機能障害	0	0	0	1	0	1
ヒト免疫不全ウイルスによる 免疫機能障害	0	0	0	0	0	0
肝臓機能障害	0	1	1	2	0	4

問7 療育手帳を持っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「療育手帳を持っている」と答えた方】 療育手帳に記載されている障害の程度について、当てはまるもの1つに○をつけてください。 また、はじめて手帳が交付された年齢について、ア～カのうち、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答

- ・療育手帳を持っていると回答した方は、42.0%であった。
- ・「6歳未満」の方が過半数となった。

問7 療育手帳の所持

持っている	428	42.0%
持っていない	486	47.6%
不明・無回答	106	10.4%
合計	1,020	100.0%



問7 療育手帳の障害の程度と交付年齢

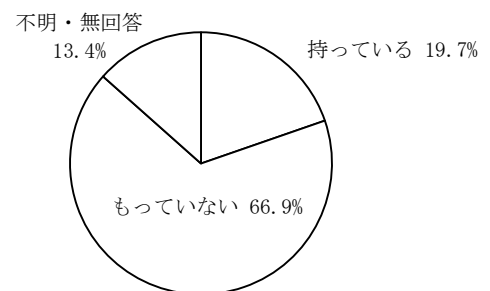
障害の程度 \ 交付年齢	6歳未満	6～11歳	12～17歳	18～39歳	40～64歳	65歳以上	無回答・無効	合計
1 重度	131	35	14	11	3	3	8	205
2 その他	72	45	39	24	8	3	12	203
3 無回答・無効	4	0	1	2	2	1	10	20
合計	207	80	54	37	13	7	30	428

問8 精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 (ア)【「精神障害者保健福祉手帳を持っている」と答えた方】 精神障害の種類と等級はどのように判定されていますか。 精神障害者保健福祉手帳に記載されている障害の種類と等級について、当てはまるもの1つに○をつけてください。 また、当てはまる障害の種類ごとに、はじめて手帳が交付された年齢について、ア～エのうち、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
	複数回答

- ・精神障害者保健福祉手帳を持っていると回答した方は、19.7%となった。
- ・障害の種別は、「統合失調症」が最も多く、次いで「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害等）」が多かった。
- ・障害の種別の交付年齢について、統合失調症の方は、「18歳から39歳」が最も多く、発達障害は、「18歳未満」が多かった。

問8 精神障害者保健福祉手帳の所持

持っている	201	19.7%
もっていない	682	66.9%
不明・無回答	137	13.4%
合計	1,020	100.0%



問8 精神障害者保健福祉手帳の障害種別、等級、交付年齢

障害の種別の等級

障害の種別 \ 等級	1級	2級	3級	無回答	合計
統合失調症	7	44	15	1	67
うつ病	2	20	17	2	41
躁うつ病（双極性障害）	0	14	4	0	18
発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害等）	20	26	10	3	59
高次脳機能障害	1	4	3	0	8
パニック障害・不安障害	1	7	1	2	11
強迫性障害	2	5	2	0	9
依存症（アルコール、ギャンブル、薬物等）	0	1	3	0	4
摂食障害	0	0	1	0	1
パーソナリティ障害	0	0	1	0	1
P T S D（心的外傷後ストレス障害）	0	0	0	1	1
認知症	1	2	0	0	3
非器質性睡眠障害	0	1	0	0	1
その他	2	8	5	2	17

障害の種別の交付年齢

障害の種別 \ 年齢	18 歳 未満	18～ 39 歳	40～ 64 歳	65 歳 以上	無回答	合計
統合失調症	3	33	22	4	3	65
うつ病	2	13	19	5	2	41
躁うつ病（双極性障害）	0	8	8	0	3	19
発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、 注意欠陥多動性障害等）	20	16	10	0	3	49
高次脳機能障害	0	2	4	1	1	8
パニック障害・不安障害	3	4	3	1	0	11
強迫性障害	2	2	3	0	1	8
依存症（アルコール、ギャンブル、薬物等）	0	0	3	0	1	4
摂食障害	0	1	0	0	0	1
パーソナリティ障害	0	1	0	0	0	1
P T S D（心的外傷後ストレス障害）	1	0	0	0	0	1
認知症	0	0	0	3	0	3
非器質性睡眠障害	0	0	1	0	0	1
その他	2	9	5	1	0	17

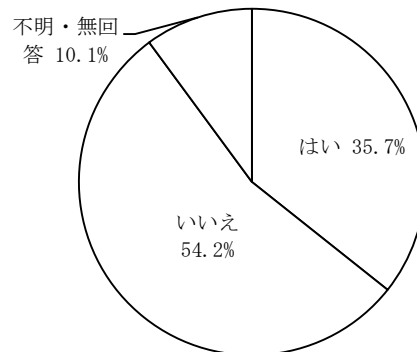
＜障害の診断等に関する質問＞

問9 これまで知的障害として判定・診断されたことはありますか。 <u>当てはまるもの1つに○をつけてください。</u>	単一回答
---	------

・これまでに知的障害として判定等されたことがある方は、であった 35.7%であった。

問9 知的障害として判定・診断の有無

はい	364	35.7%
いいえ	553	54.2%
不明・無回答	103	10.1%
合計	1,020	100.0%

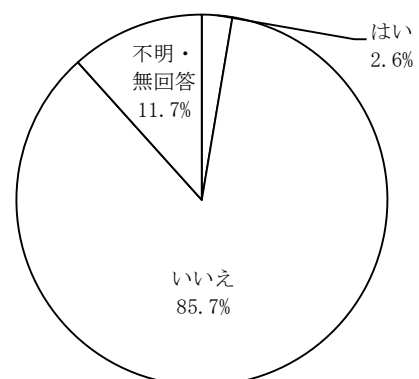


問10 これまで発達障害と診断されたことはありますか。<u>当てはまるもの1つに○をつけてください。</u>	単一回答
---	------

・これまでに発達障害と診断されたことがある方は、30.4%であった。

問10 発達障害と診断の有無

はい	310	30.4%
いいえ	601	58.9%
不明・無回答	109	10.7%
合計	1,020	100.0%

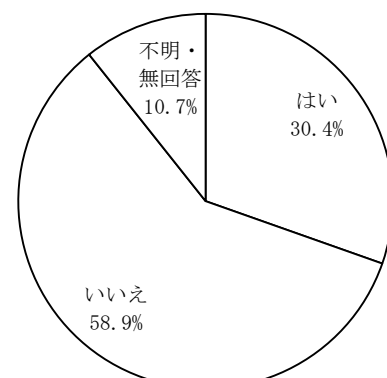


問11 これまで高次脳機能障害として診断されたことはありますか。<u>当てはまるもの1つに○をつけてください。</u>	単一回答
--	------

・これまでに高次脳機能障害として診断されたことがある方は、2.6%であった。

問11 高次脳機能障害として診断の有無

はい	27	2.6%
いいえ	874	85.7%
不明・無回答	119	11.7%
合計	1,020	100.0%



問 1 2 これまで難病と診断されたことはありますか。<u>当てはまるものの1つに○をつけてください。</u>	単一回答
(ア)【「2 指定難病と診断されたことがあり、指定難病の医療費受給者証をもっている」と答えた方】 医療費受給者証に記載されている病名をお答えください。	記述回答
(イ)【「3 指定難病と診断されたことはあるが、指定難病の医療費受給者証をもっていない」と答えた方】 病名をお答えください。	記述回答
(ウ)【「4 以下の＜別表＞にあるいずれかの疾病と診断されることがある。」と答えた方】 病名について、以下のア～ルのうち、<u>当てはまるものすべてに○をつけてください。</u>	複数回答

・ 指定難病と診断されたことがあり、指定難病の医療費受給者証を持っている方は6.5%、もっていない方は、2.8%であった。

・

問 1 2 難病として診断の有無

1 難病と診断されたことはない	663	65.0%
2 指定難病と診断されたことがあり、指定難病の医療費受給者証を持っている	66	6.5%
3 指定難病と診断されたことはあるが、指定難病の医療費受給者証を持っていない	29	2.8%
4 以下の＜別表＞にあるいずれかの疾病と診断されることがある。	42	4.1%
5 その他の難病と診断されたことがある	7	0.7%
不明・無回答	213	20.9%
合計	1,020	100.0%

問 1 2 (ア) 病名 (指定難病の医療費受給者証を持っている方)

Histlhle 症候群	1	1.5%
IgA 腎症	2	3.0%
後縦靱帯骨化症	2	3.0%
下垂体機能不全	1	1.5%
下垂体前葉機能低下症 (甲状腺刺激ホルモン (TSH) 分泌低下症)	1	1.5%
クローン病	2	3.0%
顕微鏡的多発血管炎	1	1.5%
サルコイドーシス	2	3.0%
下垂体性ゴナドトロピン分泌方進症	1	1.5%
重症筋無力症	1	1.5%
進行性核上性麻痺	1	1.5%
せきずい小脳変性症	1	1.5%
全身性エリテマトーデス	4	6.1%
先天性血液凝固因子障害等	1	1.5%
総動脈幹遺残症	1	1.5%
大脳皮質基底核変性症	2	3.0%
多発性硬化症	2	3.0%
潰瘍性大腸炎	3	4.5%
点頭てんかん	1	1.5%
天疱瘡	1	1.5%
パーキンソン病	6	9.1%
広範脊柱管狭窄症	1	1.5%
福山型先天性筋ジストロフィー	1	1.5%
ベーチェット病	3	4.5%
慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	1	1.5%
ミトコンドリア症、west 症候群	1	1.5%
もやもや病 (ウイルス動脈輪閉塞症)	1	1.5%
下垂体前葉機能低下症 (成人 GH 分泌不全症)	2	3.0%
拡張型心筋症	1	1.5%
結節性硬化症	1	1.5%
成人スチル病	1	1.5%
脊髄小脳変性症	1	1.5%
多発性のう胞腎	1	1.5%
特発性拡張型心筋症	1	1.5%
特発性大腿骨頭壊死症	1	1.5%
無回答	12	18.2%
合計	66	100.0%

問 1 2 (イ) 病名 (指定難病の医療費受給者証を持っていない方)

腎臓機能障害	1	3.4%
ジュベール症候群多発性のう胞腎網膜ジストロフィー	1	3.4%
脳梗塞	1	3.4%
筋ジストロフィー	1	3.4%
脊随性筋萎縮症	1	3.4%
(体幹)ジストニア	1	3.4%
難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	3.4%
関節リウマチ	1	3.4%
ウィリアムズ症候群 (179)	1	3.4%
5P 欠失症候群	1	3.4%
盲膜色素変性症	1	3.4%
側頭葉てんかん	1	3.4%
ベーチェット病	1	3.4%
結節性硬化症	1	3.4%
網膜色素変性症	2	6.9%
1P36 欠失症候群、ウエスト症候群	1	3.4%
プラダウィリー症候群	1	3.4%
コステロ症候群 (申請中)	1	3.4%
ブルーム症候群	1	3.4%
ウエスト症候群	1	3.4%
甲状腺機能亢進症	1	3.4%
筋強直性ジストロフィー	1	3.4%
潰瘍性大腸炎	1	3.4%
クローン症	1	3.4%
脳性小児麻痺による体幹機能障害	1	3.4%
持期障害	1	3.4%
無回答	2	6.9%
合計	29	100.0%

問 1 2 (ウ) 病名 (いずれかの疾病と診断を受けたことがある方)

ア	円錐角膜	0	0.0%
イ	加齢黄斑変性	0	0.0%
ウ	サイトメガロウイルス角膜内皮炎	0	0.0%
エ	急性網膜壊死	0	0.0%
オ	ペルーシド角膜辺縁変性症	0	0.0%
カ	突発性難聴	7	16.7%
キ	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴	0	0.0%
ク	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴	0	0.0%
ケ	両側性小耳症・外自動閉鎖症	1	2.4%
コ	突発性両側性感音難聴	9	21.4%
サ	関節リウマチ	8	19.0%
シ	多発性軟骨性外骨腫症	2	4.8%
ス	薬剤性過敏症症候群	0	0.0%
セ	原発性局所多汗症	0	0.0%
ソ	膿疱性乾癬	0	0.0%
タ	短腸症候群	0	0.0%
チ	顕微鏡的大腸炎	0	0.0%
ツ	慢性膵炎	0	0.0%
テ	びまん性半歳気管支炎	0	0.0%
ト	肥満低換気症候群	0	0.0%
ナ	若年性肺気腫	1	2.4%
ニ	アミロイドーシス	0	0.0%
ヌ	骨髄異形成症候群	0	0.0%
ネ	ランゲルハンス細胞組織球症	0	0.0%
ノ	骨髄線維症	0	0.0%
ハ	ヘパリン起因性血小板減少症	0	0.0%
ヒ	ヘモクロマトーシス	0	0.0%
フ	抗リン脂質抗体症候群	0	0.0%
ヘ	原発性高脂血症	1	2.4%
ホ	急性壊死性脳症	0	0.0%
マ	汎発性特発性骨増殖症	0	0.0%
ミ	スモン	0	0.0%
ム	ADH分泌異常症	0	0.0%
メ	PRL分泌亢進症 (高プロラクチン血症)	1	2.4%
モ	PSH分泌亢進症	0	0.0%
ヤ	ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0.0%
ユ	成長ホルモン分泌亢進症	0	0.0%
ヨ	ダウン症候群	12	28.6%
ラ	先天性風疹症候群	0	0.0%
リ	四肢形成不全	1	2.4%
ル	フォンタン術後症候群	0	0.0%
合計		43	102.4%

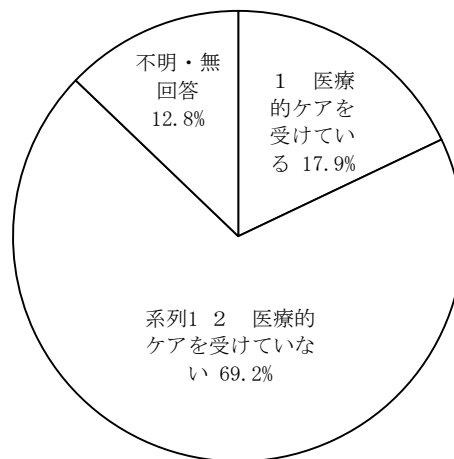
＜心身の状態に関する質問＞

問 1 3 医療的ケアについて、<u>当てはまるもの 1 つに○をつけてください。</u>	単一回答
(ア)【「1 医療的ケアを受けている」と答えた方】 どのような医療的ケアを受けていますか。<u>当てはまるもの 1 つに○をつけてください。</u>	単一回答

- ・医療的ケアを受けている方は、17.9%である。
- ・医療的ケアの内容は、「薬剤の持続投与などの特別な医療」15.8%、「呼吸器のケア」15.3%の順に多かった。

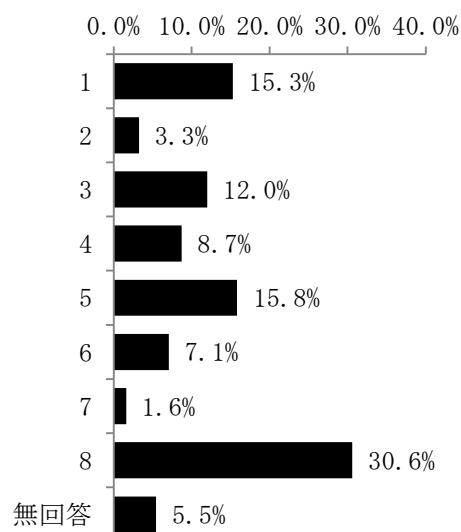
問 1 3 医療的ケアの有無

1 医療的ケアを受けている	183	17.9%
2 医療的ケアを受けていない	706	69.2%
不明・無回答	131	12.8%
合計	1,020	100.0%



問 1 3 (ア) 医療的ケアの内容

1 呼吸のケア	28	15.3%
2 摂食・嚥下のケア	6	3.3%
3 排泄のケア	22	12.0%
4 継続的な透析	16	8.7%
5 薬剤の持続投与などの特別な医療	29	15.8%
6 モニター測定	13	7.1%
7 じょくそうの処置	3	1.6%
8 その他	56	30.6%
不明・無回答	10	5.5%
合計	183	100.0%



にちじょうせいかつ かん しつもん
 <日常生活のしづらさに関する質問>

とい 問 1 4 さいきん 最近の日常生活を送る上での生活のしづらさはどのような ①～⑬の設問のそれぞれに、 <u>あ</u> てはまるもの1つ に <u>まる</u> をつけてください。	単一回答
--	------

・「食事の支度や後片付け」「買い物」「お金の管理」については、自分ではできない
 あるいは手助けが必要な方が多い。

問 1 4 生活のしづらさ

	1 一人で できる	2 時間を かけれ ば一人 ででき る	3 見守り や声か けがあ ればで きる	4 手伝っ てもら えばで きる	5 自分 では でき ない	6 経験が ない・ 機会が ない	不明・ 無 回 答	合計
① 食事をする	725	52	57	78	47	0	61	1,020
② 食事の支度や 後片付けをする	408	107	72	112	210	51	60	1,020
③ 衣服を着たり 脱いだりする	661	77	52	99	72	0	59	1,020
④ 排せつをする (トイレを使えるなど)	708	48	36	87	83	0	58	1,020
⑤ 入浴をする	615	66	51	107	124	0	57	1,020
⑥ 家の中を移動する	761	65	31	42	63	0	58	1,020
⑦ 身の回りの掃除、 整理整頓をする	364	143	88	143	187	38	57	1,020
⑧ 洗濯をする	382	87	44	89	184	176	58	1,020
⑨ 買い物をする	414	95	68	150	188	46	59	1,020
⑩ お金の管理をする	423	61	58	98	233	94	53	1,020
⑪ 薬の管理をする	474	36	93	81	193	86	57	1,020
⑫ 自分の意思を 伝える	525	111	118	132	78	0	56	1,020
⑬ 相手の意思を 理解する	464	132	129	147	93	0	55	1,020

問 15 あなた（調査の対象となる方）の障害や心身の不調による生活のしづらさを日常的に支えている（介護、医療的ケア、意思疎通の支援等）主な支援者は誰ですか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。	単一回答
（ア）【「1 家族・親戚」と答えた方】 家族・親戚の詳細について、①～③のそれぞれの設問について、お答えください。 ① 主な支援者について、当てはまるもの 1 つに○をつけてください。 ② 主な支援者の年齢について、当てはまるもの 1 つに○をつけてください。 ③ 主な支援者の方が万一急病、事故、出産などのため、一時的に支援ができなくなった場合、どうすることにしていますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。	単一回答

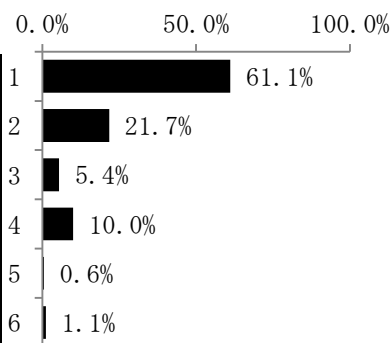
- ・主な支援者は、「家族・親戚」が 68.5%で最も多い。
- ・家族・親戚の詳細については、「親」が 61.1%と最も多く、次いで「配偶者」で 21.7%となった。
- ・主な支援者の年齢は、「50 歳以上」が 26.6%、「60 歳以上」が 20.2%、「70 歳以上」が 27.6%であり、合計すると 74.4%となった。
- ・主な支援者が一時的に支援できなくなった際の受け皿は、「同居している家族などに頼む」が 36.1%で最も多かった一方で、「決まっていない」が 18.5%となった。

問 15 主な支援者

					0.0%	50.0%	100.0%
1	家族・親戚	699	68.5%	1		68.5%	
2	知人、友人 (近所の人や職場の同僚等を含む)	16	1.6%	2		1.6%	
3	福祉サービス事業所や福祉施設の職員	132	12.9%	3		12.9%	
4	学校、幼稚園、保育園の先生	2	0.2%	4		0.2%	
5	障害者団体、患者会、家族会	4	0.4%	5		0.4%	
6	有償ボランティア	2	0.2%	6		0.2%	
7	その他	18	1.8%	7		1.8%	
8	日常的に支えている支援者は特にいない	90	8.8%	8		8.8%	
9	不明・無回答	57	5.6%	9		5.6%	
	合計	1,020	100.0%				

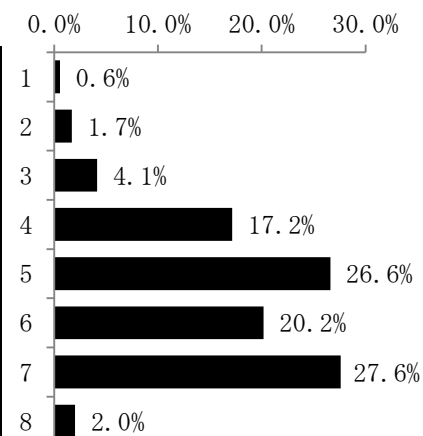
問 1 5 ア① 主な支援者の続柄

1	親	427	61.1%
2	配偶者	152	21.7%
3	兄弟・姉妹	38	5.4%
4	子	70	10.0%
5	その他（いとこ、孫など）	4	0.6%
6	不明・無回答	8	1.1%
合計		699	100.0%



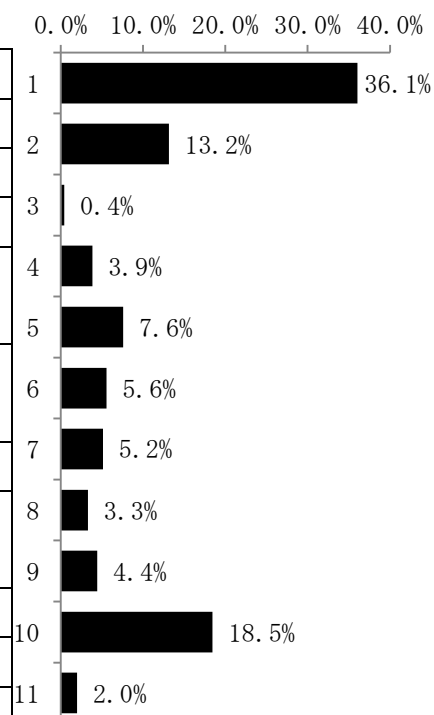
問 1 5 ア② 主な支援者の年齢

1	20歳未満	4	0.6%
2	20歳代	12	1.7%
3	30歳代	29	4.1%
4	40歳代	120	17.2%
5	50歳代	186	26.6%
6	60歳代	141	20.2%
7	70歳以上	193	27.6%
8	不明・無回答	14	2.0%
合計		699	100.0%



問 1 5 ア③ 主な支援者から一時的に支援が受けられない場合の受け皿

1	同居している家族などに頼む	252	36.1%
2	親戚・知り合いの人に頼む	92	13.2%
3	近所の人に頼む	3	0.4%
4	ホームヘルパーに頼む	27	3.9%
5	施設などに一時的に依頼する (ショートステイなど)	53	7.6%
6	障害者地域生活支援センターなどの 相談支援機関に相談する	39	5.6%
7	通所している施設に相談する	36	5.2%
8	区役所のケースワーカー・保健師等に 相談する	23	3.3%
9	その他	31	4.4%
10	考えていない・決まっていない	129	18.5%
11	不明・無回答	14	2.0%
合計		699	100.0%

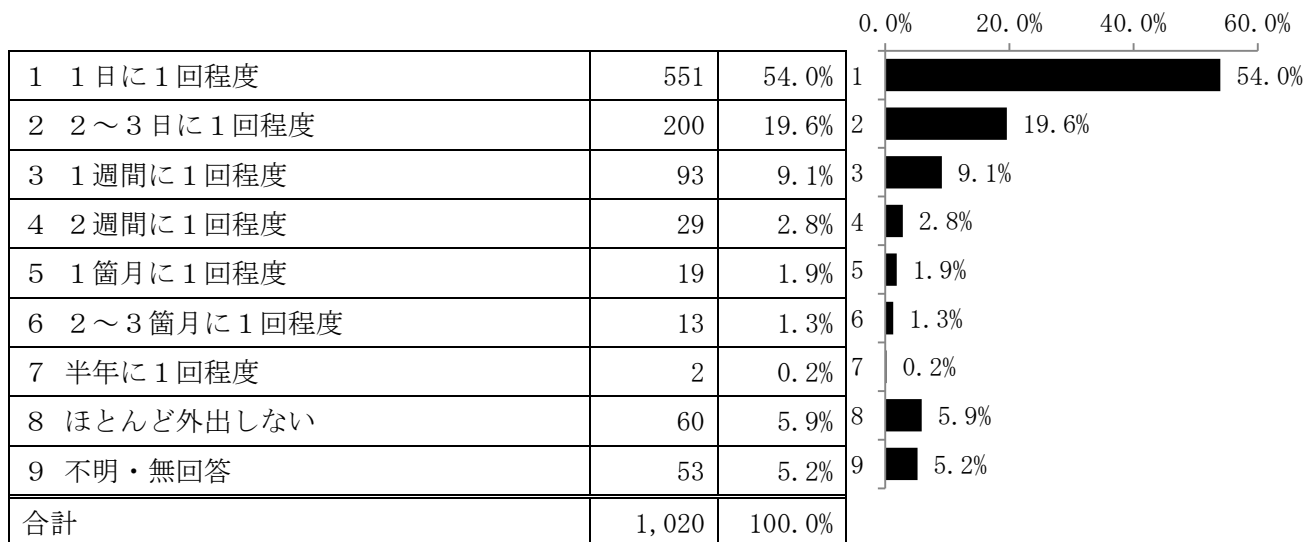


しゃかいせいかつ じょうきょう かん しつもん
 <社会生活の状況に関する質問>

問 1 6 さいきん がいしゅつ ひんど ていど あ 最近の外出の頻度はどの程度ですか。当てはまるもの1つに まる ○をつけてください。	単一回答
---	------

- ・「1日に1回程度」は、54.0%、「2～3日に1回程度」が19.6%であった。
- ・「ほとんど外出しない」は、5.9%であった、

問 1 6 外出頻度



問 1 7 にっちゅう す おお もっと あ 日中はどのように過ごしていることが多いですか。最も当 まる てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「1 しごと と 答えた方】 しごと しょうさい あ 仕事の詳細について、当てはまるもの1つに○をつけてくださ い。	単一回答
(イ)【「2 きょういく ほいく りょういく う と 答えた方】 きょういく ほいく りょういく しょうさい あ 教育・保育・療育の詳細について、当てはまるもの1つに○ をつけてください。	単一回答
(A)【「1 じどうはつたつし えんじぎょうしょ りょう と 答えた方】 じどうはつたつし えんじぎょうしょ りょうじょうきょう もっと ちか 児童発達支援事業所の利用状況について、最も近いもの1つ まる に○をつけてください。	単一回答
(B)【「3～6」 と 答えた方 (就学児の方)】 こた かた しゅうがくじ かた あなた (調査の対 象となる方) が他に利用している子育て関連 じぎょう あ の事業について、当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答
(ウ)【「3 しごと きょういく ほいく いがい かっどう と 答えた方】 す かた しょうさい あ 過ごし方の 詳細について、当てはまるもの1つに○をつけてく ださい。	単一回答

- ・「仕事をしている」は、34.7%となった。
- ・仕事の詳細は、「就労継続支援B型」が33.3%で最も多く、次いで「障害者雇用／正職員以外」が16.4%であった。

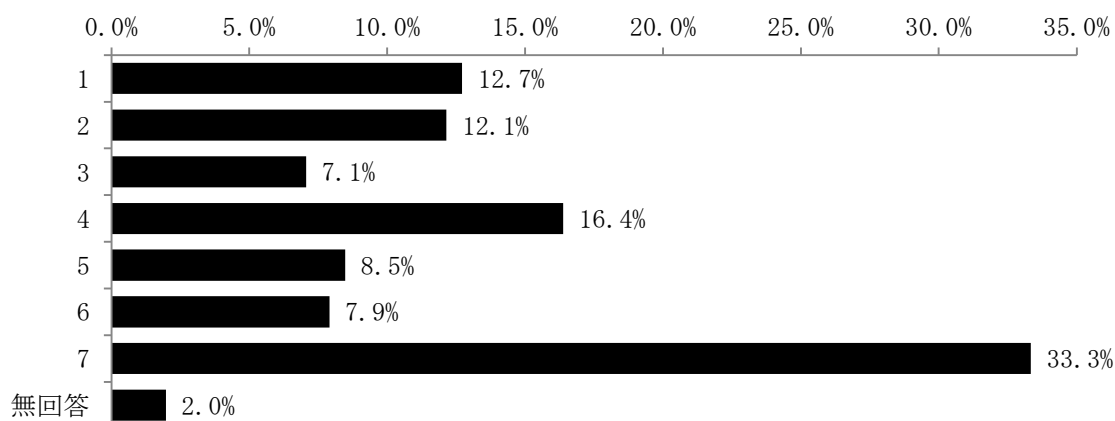
問 1 7 日中活動

1 仕事をしている	354	34.7%
2 教育・保育・療育を受けている	157	15.4%
3 仕事や教育・保育以外の活動をしている	317	31.1%
不明・無回答	192	18.8%
合計	1,020	100.0%



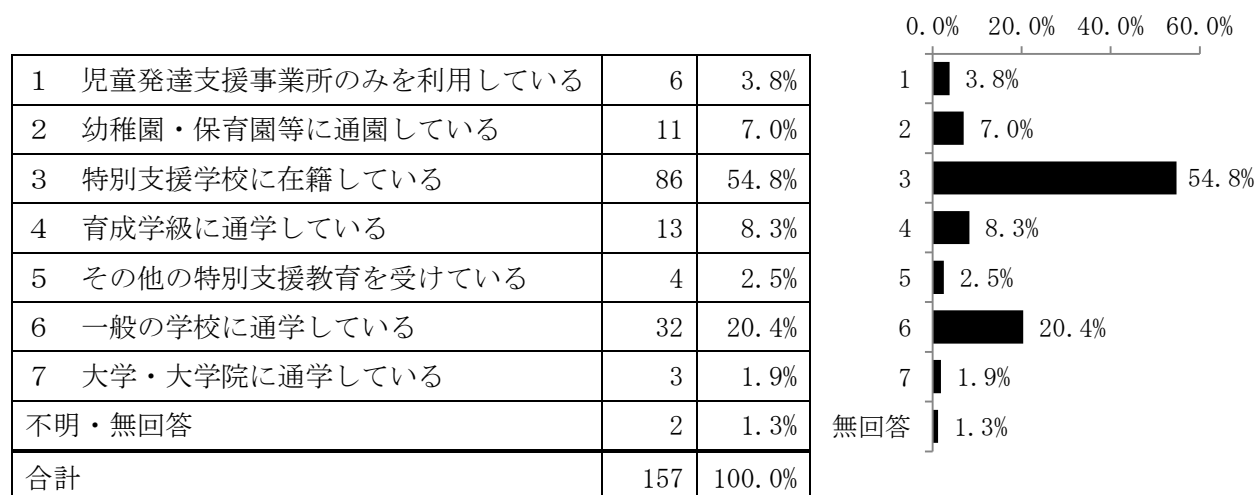
問 1 7 (ア) 仕事の詳細

1 一般雇用／正職員	45	12.7%
2 一般雇用／正職員以外	43	12.1%
3 障害者雇用／正職員	25	7.1%
4 障害者雇用／正職員以外	58	16.4%
5 自営業(家の仕事の手伝いを含む)	30	8.5%
6 就労継続支援A型	28	7.9%
7 就労継続支援B型	118	33.3%
不明・無回答	7	2.0%
合計	354	100.0%



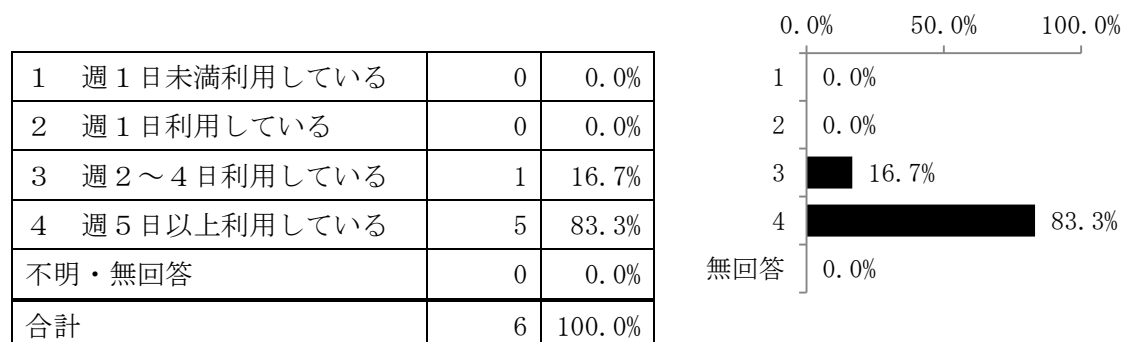
・教育・保育・療育を受けている方の詳細は、「特別支援学校に在籍している」が54.8%で最も多かった。

問17（イ）教育・保育・療育の詳細



・児童発達支援事業所の利用者の利用頻度については、ほとんどの方が週5日以上利用している。

問17（イ）A 児童発達支援事業所の利用状況



・「特に利用している子育て関連の事業はない」が45.2%で最も多かった。

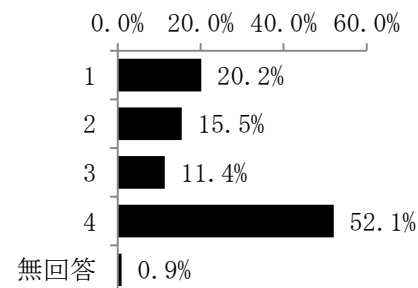
17（イ）B 利用している子育て支援事業



・仕事や教育・保育以外の活動をしている方の過ごし方は、「主に家で過ごしている」が52.1%で最も多かった。

問17（ウ） 仕事や教育・保育以外の活動をしている方の過ごし方

1	主に障害者・障害児向け施設の通所サービス	64	20.2%
2	主に病院・介護施設の通所サービス	49	15.5%
3	その他の活動	36	11.4%
4	主に家で過ごしている	165	52.1%
	不明・無回答	3	0.9%
	合計	317	100.0%



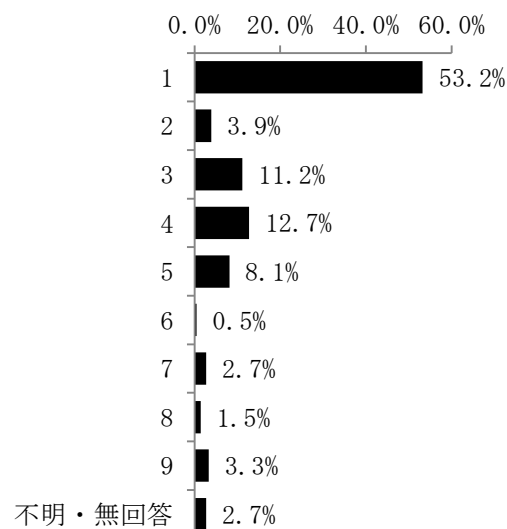
＜生活の基盤に関する質問＞

問18 あなた（調査の対象となる方）のお住まいの種類について、 <u>あ</u>当てはまるもの1つに<u>○</u>をつけてください。	単一回答
---	------

・「一戸建て／持ち家」が53.2%で最も多かった。

問18 住まいの種類

1	一戸建て／持ち家	543	53.2%
2	一戸建て／賃貸・給与住宅(社員寮等)	40	3.9%
3	共同住宅／持ち家	114	11.2%
4	共同住宅／賃貸・給与住宅(社員寮等)	130	12.7%
5	共同住宅／公営住宅	83	8.1%
6	借間（部屋を借りての下宿）	5	0.5%
7	障害者のグループホーム	28	2.7%
8	福祉サービス付きの住宅	15	1.5%
9	その他	34	3.3%
	不明・無回答	28	2.7%
	合計	1,020	100.0%

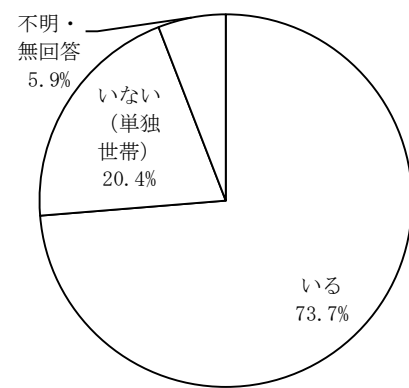


問 19 あなた（調査の対象となる方）と普段、住居と生計を共にしている方（同一世帯の方）はいますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
（ア）【「住居と生計を共にしている方（同一世帯の方）がいる」と答えた方】 同一世帯に含まれる方について、当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答

- ・同一世帯の方がいると回答された方が 73.7%であった。
- ・そのうち、「親」が 59.3%、「配偶者」が 30.9%、「兄弟・姉妹」が 25.5%となった。

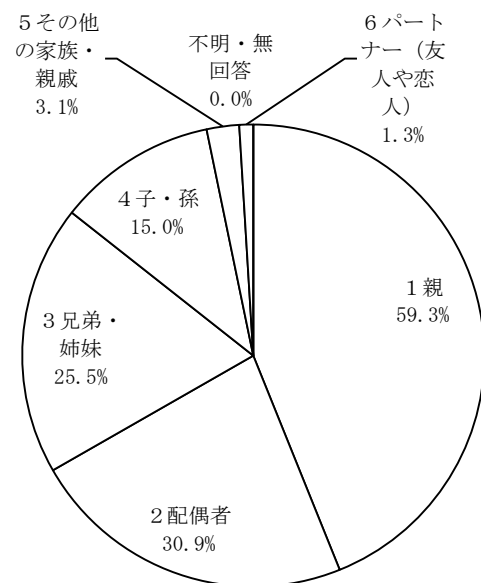
問 19 同一世帯員の有無

いる	752	73.7%
いない（単独世帯）	208	20.4%
不明・無回答	60	5.9%
合計	1,020	100.0%



問 19（ア） 同一世帯員の続柄

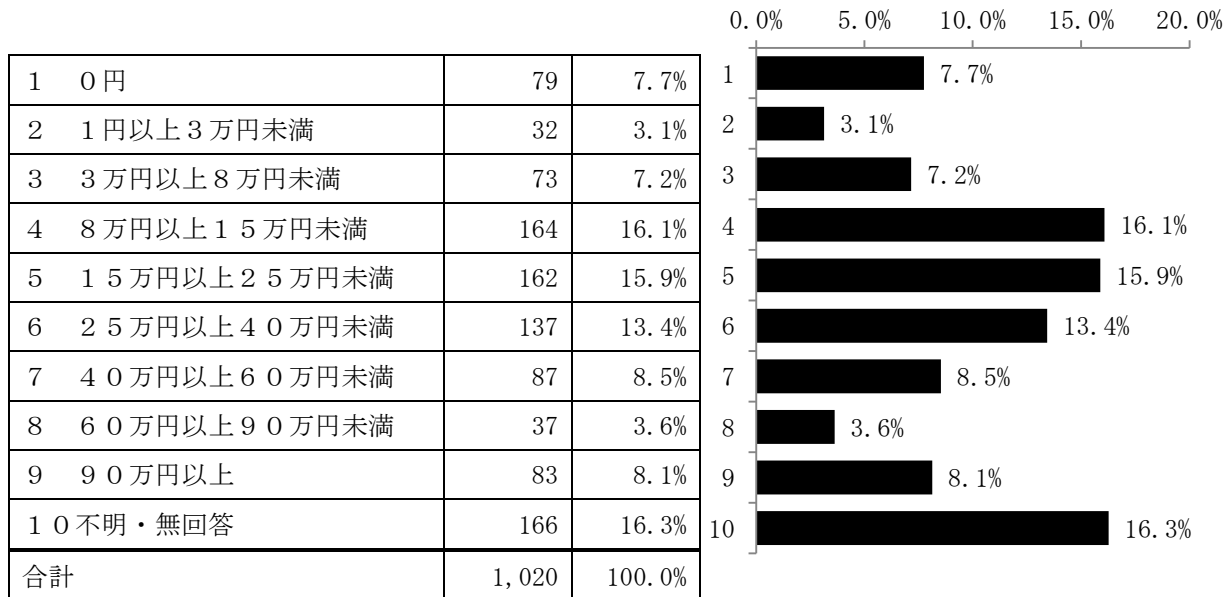
1 親	446	59.3%
2 配偶者	232	30.9%
3 兄弟・姉妹	192	25.5%
4 子・孫	113	15.0%
5 その他の家族・親戚	23	3.1%
6 パートナー（友人や恋人）	10	1.3%
不明・無回答	0	0.0%
合計	1,016	135.1%



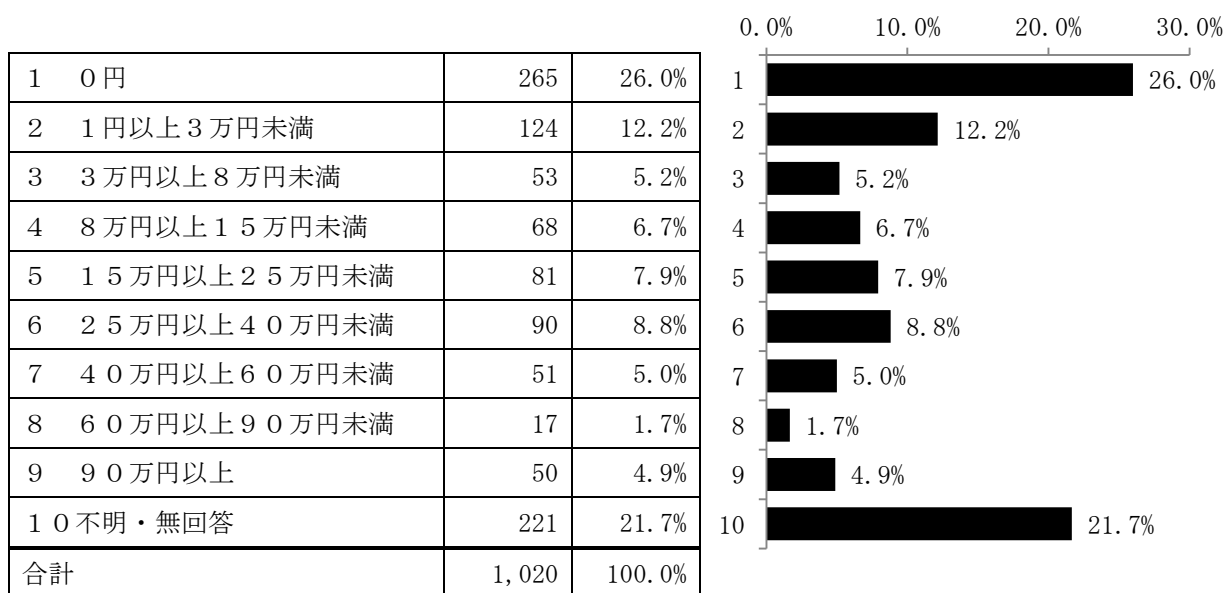
とい 問 2 0 ひとつき あ へいきんてき せ たいしゅうにゅう 一月当たりの平均的な世帯収入はいくらですか。①～⑤の せつもん あ まる 設問にそれぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
---	------

- ・一月当たりの平均的な世帯収入の総額は、「8万円以上15万円未満」が16.1%で最も多く、次いで「15万円以上25万円未満」の15.9%となった。
- ・働いて得た収入の総額は、「0円」が26.0%、「1円以上3万円未満」が12.2%となり、合わせて4割弱が3万円未満となった。

問 2 0-① 収入の総額



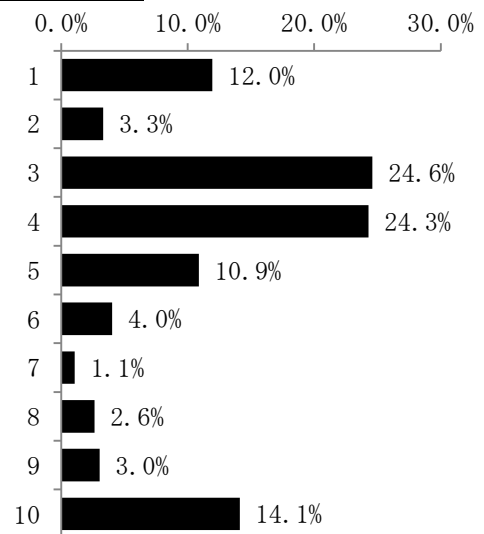
問 2 0-② 働いて得た収入



- ・ 社会保障給付金による収入は、「3 万円以上 8 万円未満」が 24.6%、「8 万円以上 15 万円未満」24.3%であった。
- ・ 仕送りによる収入は、「0 円」が 72.0%と最も多かった。

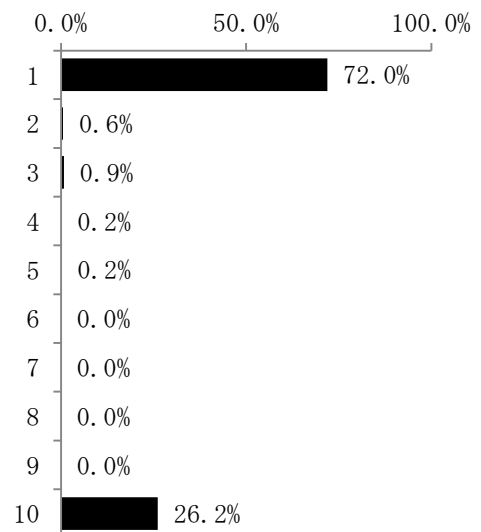
問 20-③ 社会保障給付金による収入

1	0 円	122	12.0%
2	1 円以上 3 万円未満	34	3.3%
3	3 万円以上 8 万円未満	251	24.6%
4	8 万円以上 15 万円未満	248	24.3%
5	15 万円以上 25 万円未満	111	10.9%
6	25 万円以上 40 万円未満	41	4.0%
7	40 万円以上 60 万円未満	11	1.1%
8	60 万円以上 90 万円未満	27	2.6%
9	90 万円以上	31	3.0%
10	不明・無回答	144	14.1%
合計		1,020	100.0%



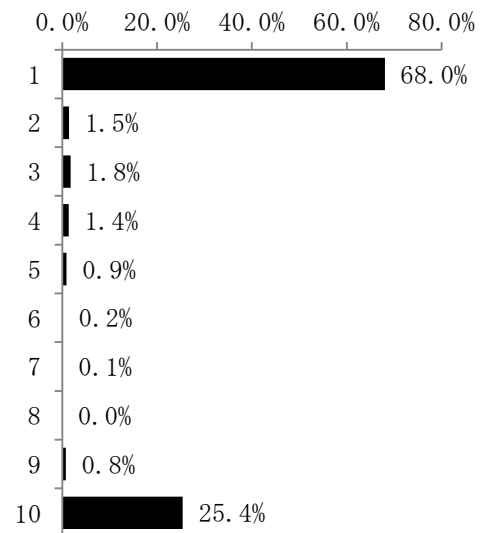
問 20-④ 仕送りによる収入

1	0 円	734	72.0%
2	1 円以上 3 万円未満	6	0.6%
3	3 万円以上 8 万円未満	9	0.9%
4	8 万円以上 15 万円未満	2	0.2%
5	15 万円以上 25 万円未満	2	0.2%
6	25 万円以上 40 万円未満	0	0.0%
7	40 万円以上 60 万円未満	0	0.0%
8	60 万円以上 90 万円未満	0	0.0%
9	90 万円以上	0	0.0%
10	不明・無回答	267	26.2%
合計		1,020	100.0%



問 2 0 - ⑤ その他の収入

1	0 円	694	68.0%
2	1 円以上 3 万円未満	15	1.5%
3	3 万円以上 8 万円未満	18	1.8%
4	8 万円以上 1 5 万円未満	14	1.4%
5	1 5 万円以上 2 5 万円未満	9	0.9%
6	2 5 万円以上 4 0 万円未満	2	0.2%
7	4 0 万円以上 6 0 万円未満	1	0.1%
8	6 0 万円以上 9 0 万円未満	0	0.0%
9	9 0 万円以上	8	0.8%
	1 0 不明・無回答	259	25.4%
	合計	1, 020	100.0%

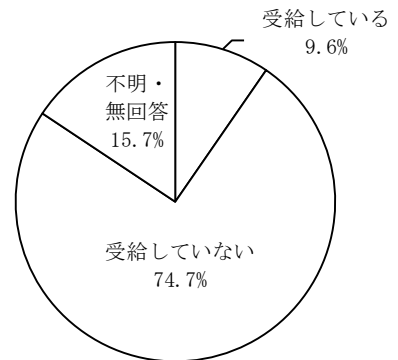


とい せいかつ ほ こ じゅきゅうじょうきょうおよ じゅうみんぜい しょとくぜい か ぜいじょうきょう 問 2 1 生活保護の受給状況及び住民税、所得税の課税状況について、①～③のそれぞれの設問について、<u>当てはまるもの 1 つに○をつけてください。</u>	単一回答
---	-------------

- ・生活保護を「受給している」が 9.6%、「受給していない」が 74.7%であった。
- ・住民税は、課税が 25.8%、非課税が 59.8%であった。
- ・所得税は、課税が 29.5%、非課税が 54.5%であった。

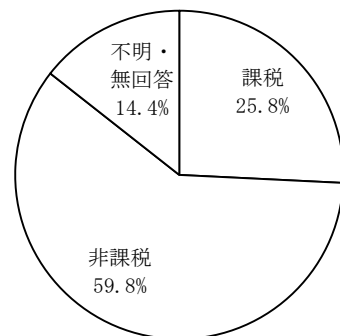
問 2 1 ①生活保護

受給している	98	9.6%
受給していない	762	74.7%
不明・無回答	160	15.7%
合計	1,020	100.0%



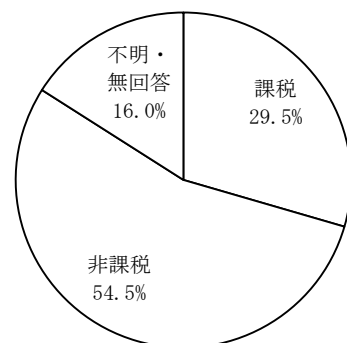
問 2 1 ②住民税

課税	263	25.8%
非課税	610	59.8%
不明・無回答	147	14.4%
合計	1,020	100.0%



問 2 1 ③所得税

課税	301	29.5%
非課税	556	54.5%
不明・無回答	163	16.0%
合計	1,020	100.0%



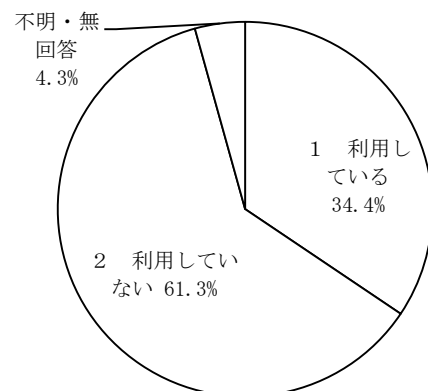
＜日常的に利用している用具等に関する質問＞

問 2 2 身体機能を補うための用具のうち、日常的に利用するものがあるか、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「1 利用している」と答えた方】 利用している用具の詳細について、当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答
(イ)【「2 利用していない」と答えた方】 利用していない理由について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答

- ・「利用している」が、34.4%「利用していない」が61.3%であった。
- ・「利用している」方のうち、「車いす・電動車いす・座位保持装置」が37.6%で最も多く、次いで「歩行器・歩行補助杖」が23.1%、「補聴器」が20.2%となった。

問 2 2 日常的に利用する身体機能を補う用具の利用の有無

1 利用している	351	34.4%
2 利用していない	625	61.3%
3 不明・無回答	44	4.3%
合計	1,020	100.0%



問 2 2 (ア) 日常的に利用する身体機能を補う用具の種類

1 補聴器	71	20.2%	1 補聴器	20.2%
2 人工内耳	8	2.3%	2 人工内耳	2.3%
3 重度障害者用意思伝達装置	3	0.9%	3 重度障害者用意思伝達装置	0.9%
4 白杖	21	6.0%	4 白杖	6.0%
5 遮光眼鏡・弱視用眼鏡	21	6.0%	5 遮光眼鏡・弱視用眼鏡	6.0%
6 義肢（義手・義足）・装具	49	14.0%	6 義肢（義手・義足）・装具	14.0%
7 歩行器・歩行補助杖	81	23.1%	7 歩行器・歩行補助杖	23.1%
8 車いす・電動車いす・座位保持装置	132	37.6%	8 車いす・電動車いす・座位保持装置	37.6%
9 その他	66	18.8%	9 その他	18.8%
10 不明・無回答	3	0.9%	10 不明・無回答	0.9%
合計	455	129.6%		

問 2 2 (イ) 日常的に利用する身体機能を補う用具を利用しない理由

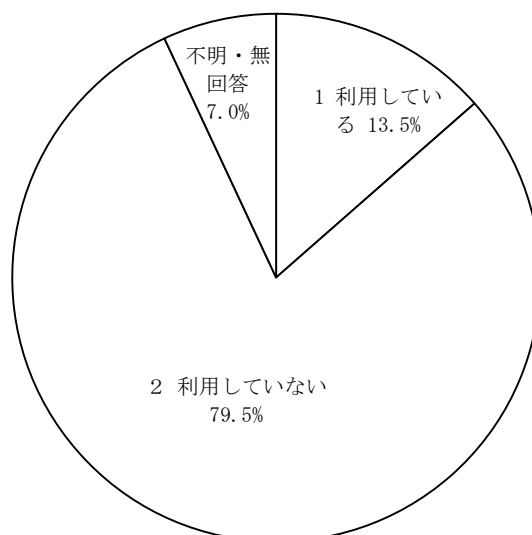


問 2 3 他人との意思疎通を支援するための手段・機器・サービス等のうち、日常的に利用するものがあるか、<u>当てはまるもの 1 つに○をつけてください。</u>	単一回答
(ア)【「1 利用している」と答えた方】 利用している手段・機器・サービス等の詳細について、①～③のそれぞれの設問について、<u>当てはまるものすべてに○をつけてください。</u>	複数回答
(イ)【「2 利用していない」と答えた方】 利用していない理由について、<u>当てはまるもの 1 つに○をつけてください。</u>	単一回答

- ・「利用している」は、13.5%であった。
- ・「利用している」と回答した方のうち、見えづらさがある方は、点字・点字タイプライター・点字ディスプレイ・点字盤「読上げ機能付き機器」の利用が多い。
- ・「利用している」と回答した方のうち、聞こえづらさがある方は、「手話・手話通訳」が 48.8%で最も多い。
- ・「利用している」と回答した方のうち、伝えづらさがある方は、「コミュニケーションボード」が 53.8%で最も多い。

問 2 3 意思疎通を支援するための手段・機器・サービスの利用の有無

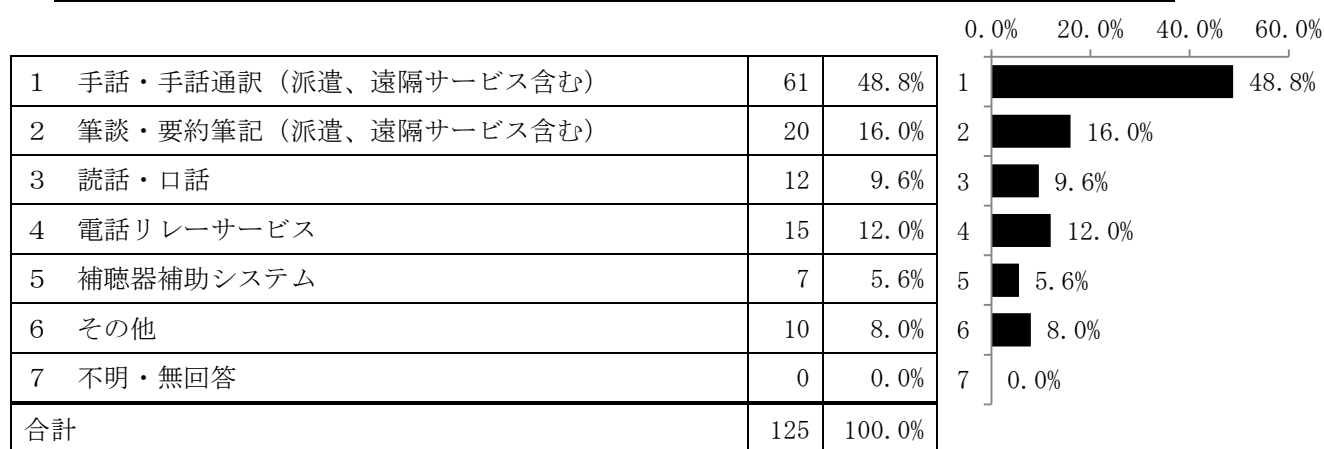
1 利用している	138	13.5%
2 利用していない	811	79.5%
不明・無回答	71	7.0%
合計	1,020	100.0%



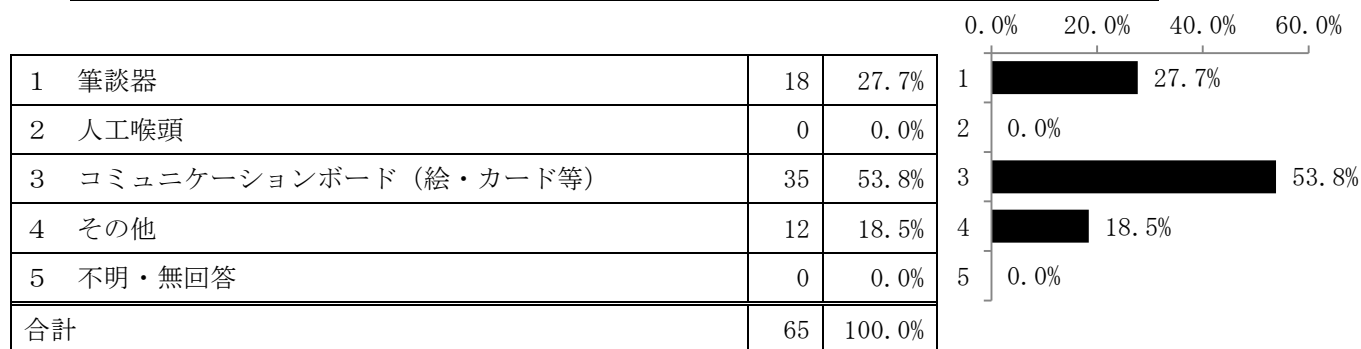
問23 (ア) ① 利用している手段・機器・サービス(見えづらさがある方)



問23 (ア) ② 利用している手段・機器・サービス(聞こえづらさがある方)



問23 (ア) ③ 利用している手段・機器・サービス(伝えづらさがある方)



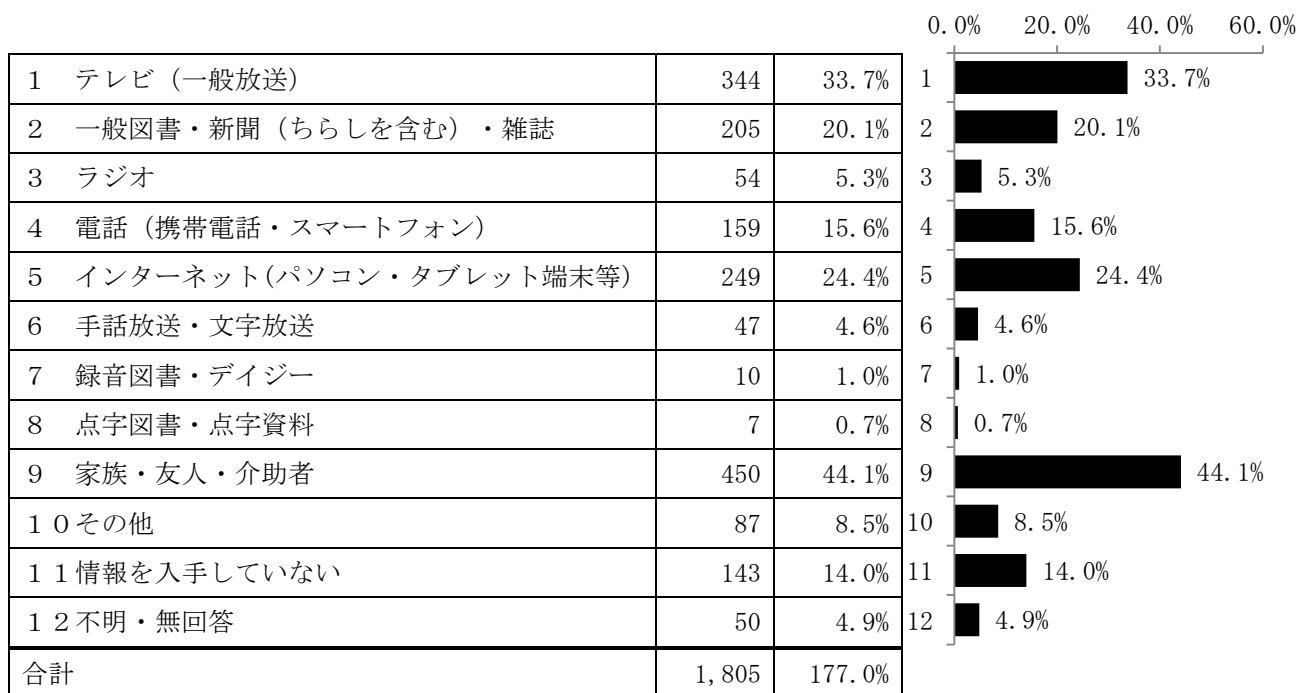
問23 (イ) 意思疎通を支援するための手段・機器・サービスを利用しない理由



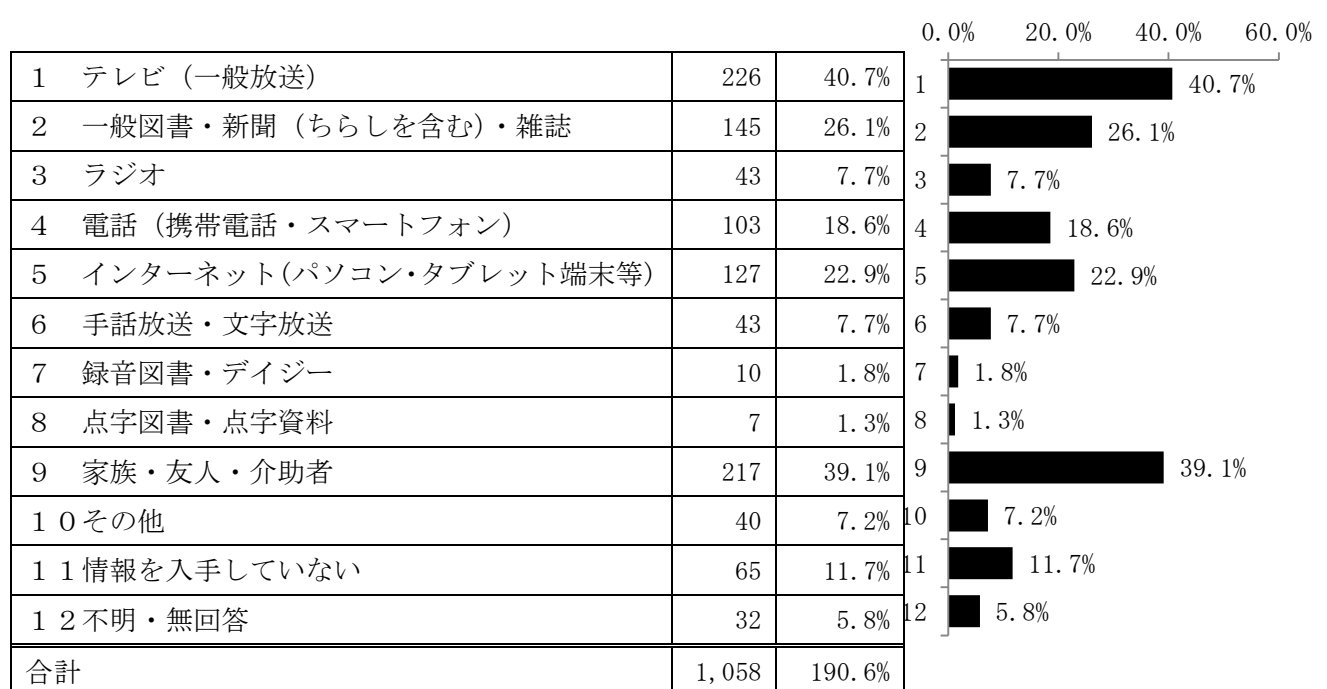
問 2 4 あなた（調査の対象となる方）は、日常的にどのような方法により福祉に関する情報を入手していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答
--	------

- ・身体障害者手帳所持者の方は、「テレビ」40.7%「家族・友人・介助者」39.1%「一般図書・新聞・雑誌」26.1%の順に多かった。
- ・療育手帳所持者の方は、「家族・友人・介助者」57.7%「テレビ」19.2%「インターネット」18.5%の順に多かった。
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者の方は、「家族・友人・介助者」40.3%「テレビ」32.8%「インターネット」29.9%の順に多かった。

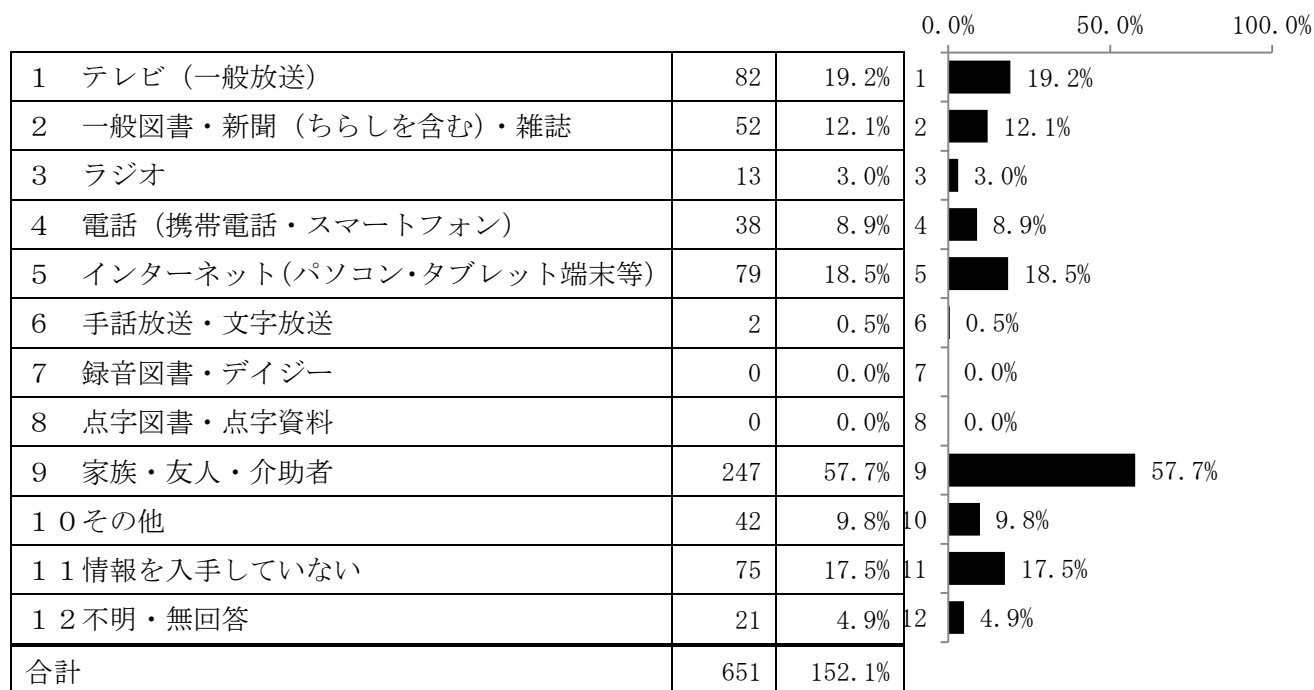
問 2 4 情報の入手方法



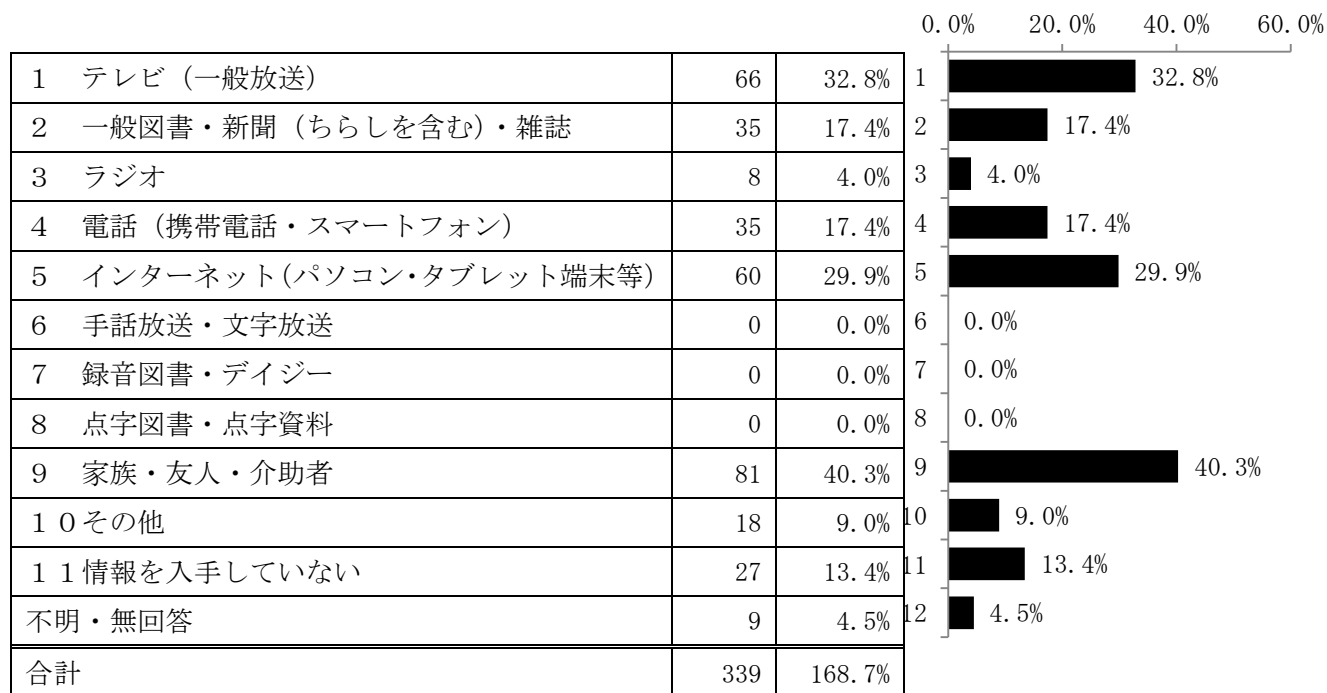
問 6 身体障害者手帳所持者×問 2 4 情報の入手方法



問 7 療育手帳所持者×問 2 4 情報の入手方法



問 8 精神障害者保健福祉手帳所持者×問 2 4 情報の入手方法



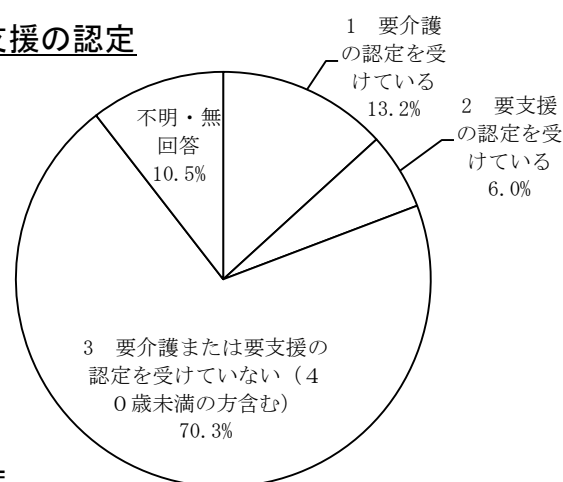
ふくしきサービスに関する質問

問 2 5 介護保険の要介護・要支援の認定を受けていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「1 要介護の認定を受けている」と答えた方】 要介護度について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(イ)【「2 要支援の認定を受けている」と答えた方】 要支援度について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答

- ・要介護認定を受けている方は、13.2%。認定を受けている方の要介護度は、要介護2が23.0%となり最も多かったが、他の要介護度も20%前後の数値となった。
- ・要支援認定を受けている方は、6.0%。認定を受けている方の要支援度は、要支援2が63.9%となった。

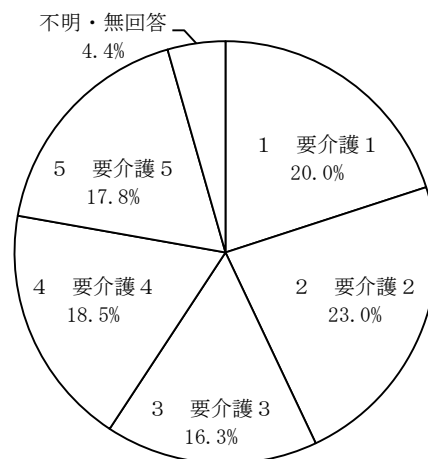
問 2 5 介護保険の要介護・要支援の認定

1 要介護の認定を受けている	135	13.2%
2 要支援の認定を受けている	61	6.0%
3 要介護または要支援の認定を受けていない（40歳未満の方含む）	717	70.3%
不明・無回答	107	10.5%
合計	1,020	100.0%



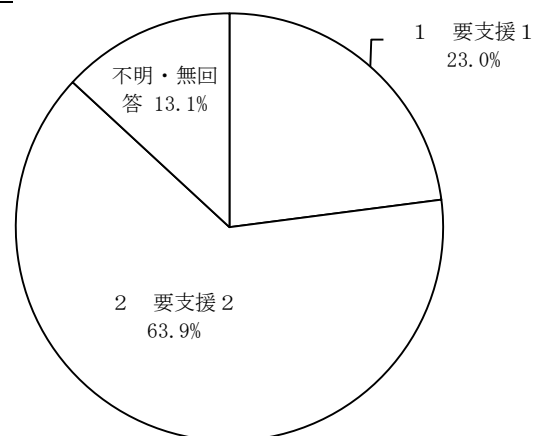
問 2 5 (ア) 要介護度

1 要介護1	27	20.0%
2 要介護2	31	23.0%
3 要介護3	22	16.3%
4 要介護4	25	18.5%
5 要介護5	24	17.8%
不明・無回答	6	4.4%
合計	135	100.0%



問 2 5 (イ) 要支援度

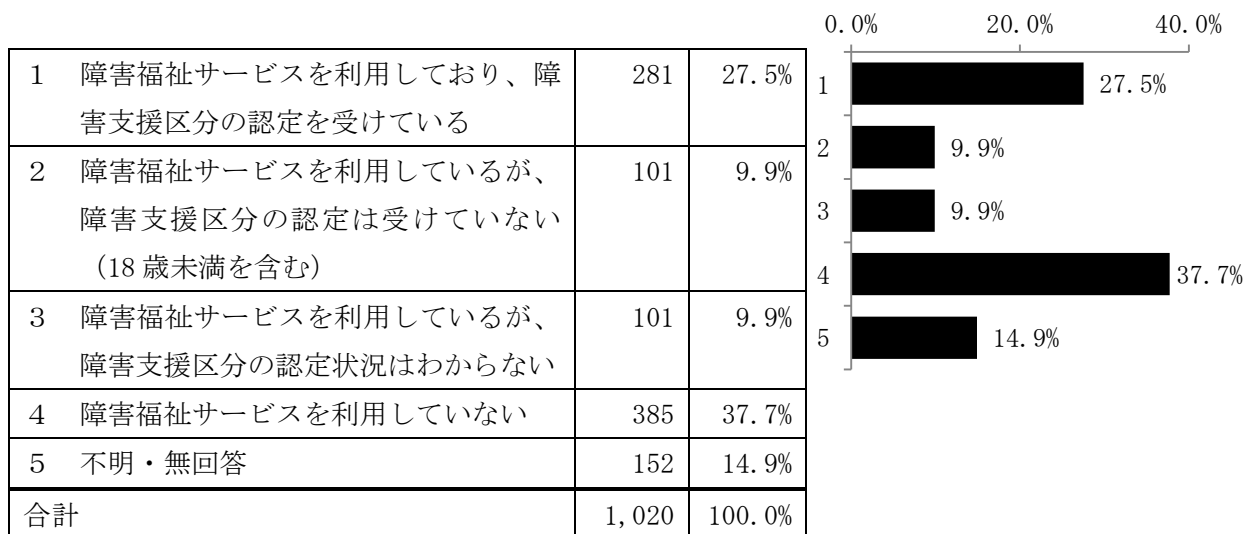
1 要支援1	14	23.0%
2 要支援2	39	63.9%
不明・無回答	8	13.1%
合計	61	100.0%



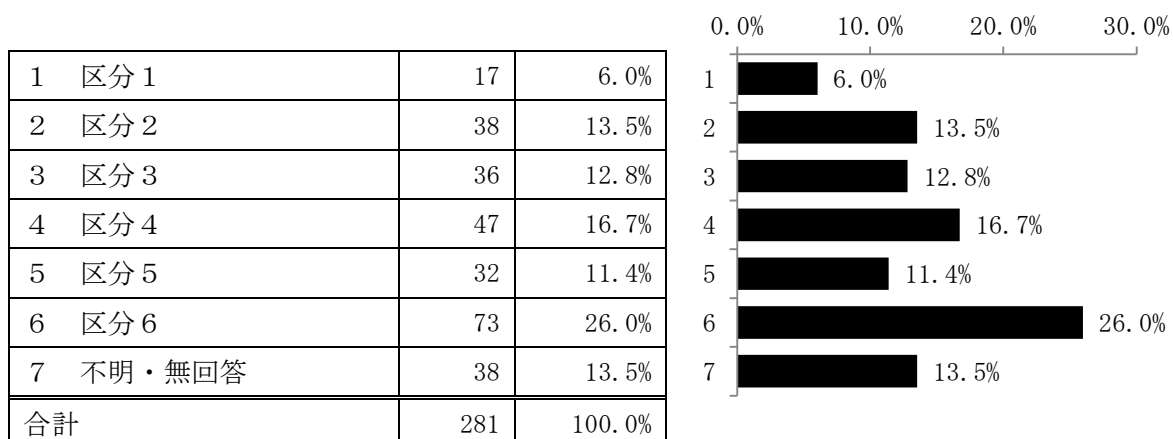
問 2 6 障害福祉サービスの利用状況について、 <u>当てはまるもの 1 つに○をつけてください。</u>	単一回答
(ア)【「1 障害福祉サービスを利用しており、 <u>障害支援区分の認定を受けている</u> 」と答えた方】 障害支援区分について、 <u>当てはまるもの 1 つに○をつけてください。</u>	単一回答
(イ)【障害福祉サービスを利用している方（1、2 または 3 と答えた方）】 利用している障害福祉サービスの種類について、 <u>当てはまるもののすべてに○をつけてください。</u>	複数回答
(ウ)【「4 障害福祉サービスを利用していない」と答えた方】 障害福祉サービスの利用の希望について、 <u>当てはまるもの 1 つに○をつけてください。</u>	単一回答

- ・障害福祉サービスを利用している方は、全体で 47.3%であった。
- ・支援区分は、「区分 6」が 26.0%で最も多かった。
- ・利用しているサービスは、「移動支援」31.3%「計画相談」24.6%「居宅介護」20.3%の順に多かった。

問 2 6 障害福祉サービスの利用状況



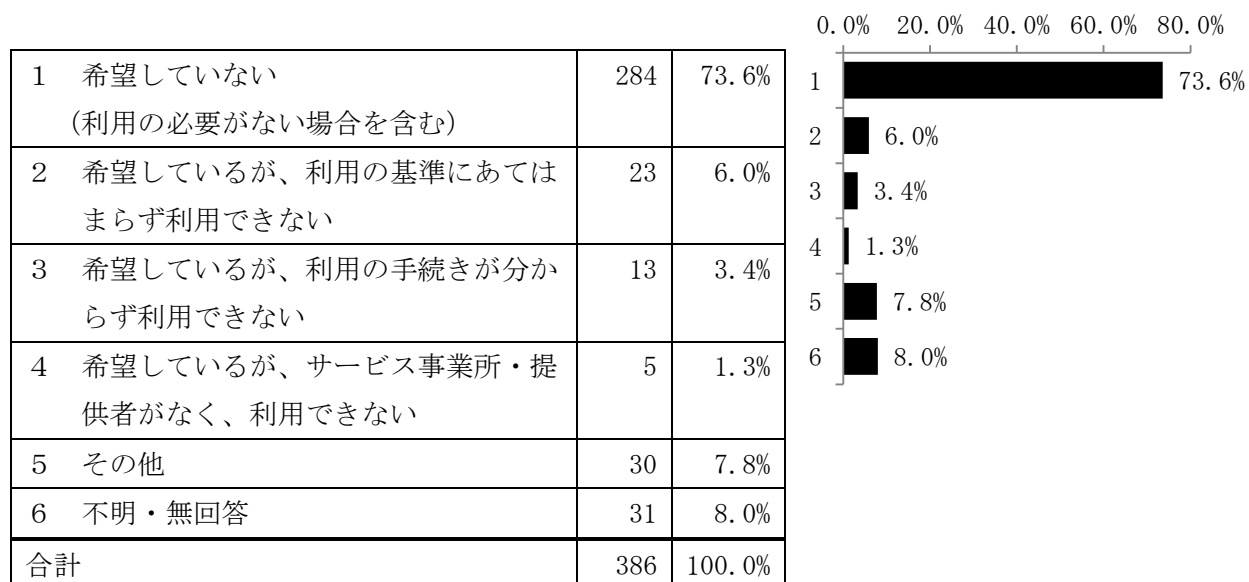
問 2 6 (ア) 障害支援区分



26 (イ) 利用している障害福祉サービス



問 2 6 (ウ) 障害福祉サービスの利用の希望



問 2 7 今後利用したい（又は利用回数を増やしたい）障害福祉サービスの種類について、<u>当てはまるものすべてに○をつけて</u>ください。	複数回答
--	------

- ・身体障害者手帳所持者の方は、「日常生活用具」13.2%「居宅介護」12.4%「補装具」11.4%の順に多い。
- ・療育手帳所持者の方は、「短期入所」21.7%「移動支援」21.7%「グループホーム」20.3%の順に多い。
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者の方は、「自立支援医療」22.9%「居宅介護」11.4%「就労継続支援B型」10.9%の順に多い。
- ・「同行援護」「行動援護」「移動支援」の移動介護サービスの数値を合計すると全体数値で2割強を占める。

問 2 7 今後利用したいサービス



問6 身体障害者手帳所持者×問27 今後利用したいサービス



問 7 療育手帳所持者×問 2 7 今後利用したいサービス



問 8 精神障害者保健福祉手帳所持者×問 2 7 今後利用したいサービス



問28 あなた（調査の対 象となる方）が、特に必要と感じている支援 はどのようなことですか。下記の1～36までのうち、<u>主なもの</u> <u>を7つまで○をつけてください。</u>	複数回答
--	-------------

・全体では、「手当・年金・助成金等の経済的援助の充実」が33.5%、「親亡き後の生活支援」が26.2%、「仕事につくこと・続けることを容易にする制度の充実」が19.9%、「身近な医療機関に通院して医療を受けること」が19.5%、「合理的配慮がなされた働く場または活動の場の確保」が19.5%の順に多い。

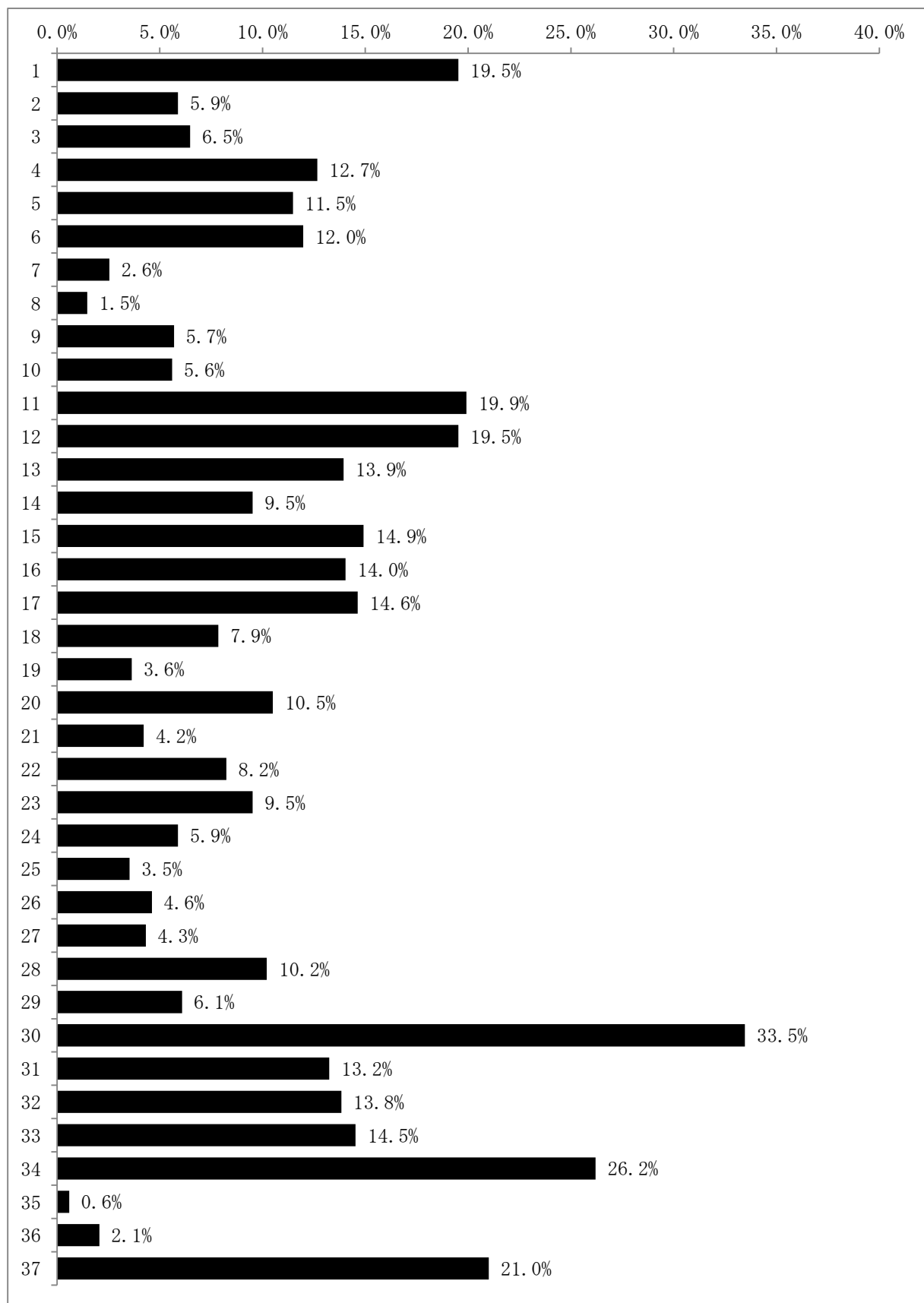
・身体障害者手帳所持者の方は、「手当・年金・助成金等の経済的援助の充実」が28.5%、「身近な医療機関に通院して医療を受けること」が21.1%、「リハビリ・自立訓練を受けること」が18.2%の順に多い。

・療育手帳所持者の方は、「親亡き後の生活支援」が50.0%、「手当・年金・助成金等の経済的援助の充実」が34.8%、「合理的配慮がなされた働く場または活動の場の確保」が27.6%の順に多い。

・精神障害者保健福祉手帳所持者の方は、「手当・年金・助成金等の経済的援助の充実」が44.8%、「仕事につくこと・続けることを容易にする制度の充実」が29.9%、「身近な医療機関に通院して医療を受けること」が26.9%の順に多い。

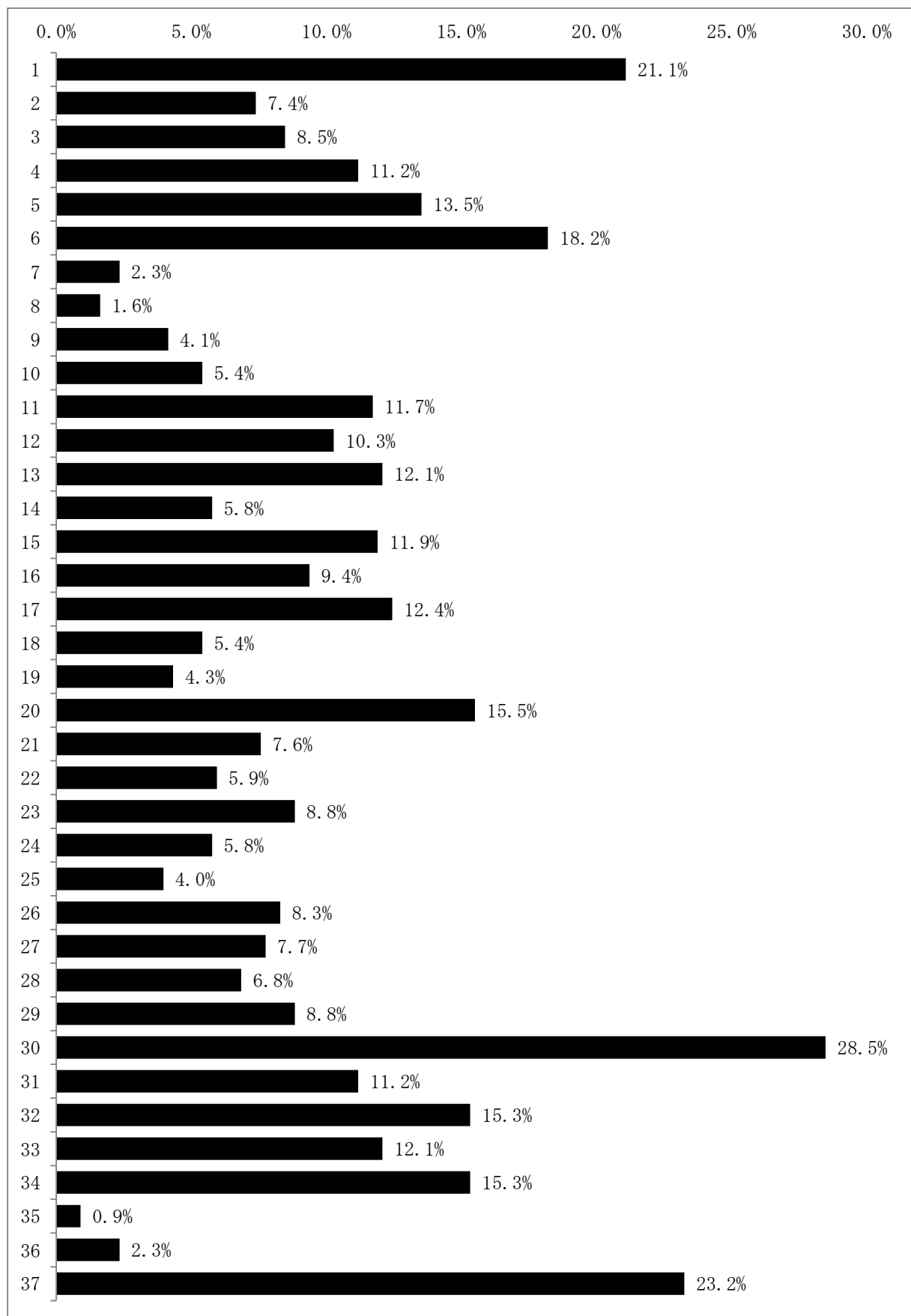
問 2 8 特に必要なと感じている支援

1 身近な医療機関に通院して医療を受けること	199	19.5%
2 在宅で訪問診療・訪問看護を受けること	60	5.9%
3 専門性の高い医療を受けること	66	6.5%
4 医療費の負担軽減	129	12.7%
5 障害の進行・二次障害を予防すること	117	11.5%
6 リハビリ・自立訓練を受けること	122	12.0%
7 障害の早期発見・早期療育のための支援の充実（啓発・広報活動を含む）	26	2.6%
8 保育施設の充実	15	1.5%
9 特別支援教育の充実	58	5.7%
10 合理的な配慮がなされた学業の場の確保	57	5.6%
11 仕事につくこと・続けることを容易にする制度の充実	203	19.9%
12 合理的配慮がなされた働く場または活動の場の確保	199	19.5%
13 障害がある人の家族に対する支援事業（休息のための一時入所（レスパイトケア）等）	142	13.9%
14 支援指導、相談等	97	9.5%
15 障害者への理解を深めるための教育・機会の充実	152	14.9%
16 障害のある人の権利や人権を守るための支援	143	14.0%
17 外出・移動の支援	149	14.6%
18 スポーツ、レクリエーション、文化活動に対する援助	80	7.9%
19 地域の人々との交流機会の拡大	37	3.6%
20 道路、交通機関、公共施設等を利用しやすくすること（バリアフリー等）	107	10.5%
21 障害に配慮した情報媒体の充実（点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送、ルビ、電子図書等）	43	4.2%
22 入所サービスの利用	84	8.2%
23 通所サービス（デイサービス等）の利用	97	9.5%
24 訪問サービス（ホームヘルプ等）の利用	60	5.9%
25 意思疎通支援サービスの利用	36	3.5%
26 質の高い補装具の装用	47	4.6%
27 日常生活用具を利用するための支援を受けること	44	4.3%
28 障害のある人に適した住宅の確保	104	10.2%
29 自宅の改修	62	6.1%
30 手当・年金・助成金等の経済的援助の充実	341	33.5%
31 障害福祉サービスの利用者負担の軽減	135	13.2%
32 災害時、緊急時の情報提供、通信体制、避難誘導対策の充実	141	13.8%
33 相談対応等の充実	148	14.5%
34 親亡き後の生活支援	267	26.2%
35 除雪・草刈り等の支援	6	0.6%
36 その他	21	2.1%
37 不明・無回答	214	21.0%
合計	4,008	393.3%



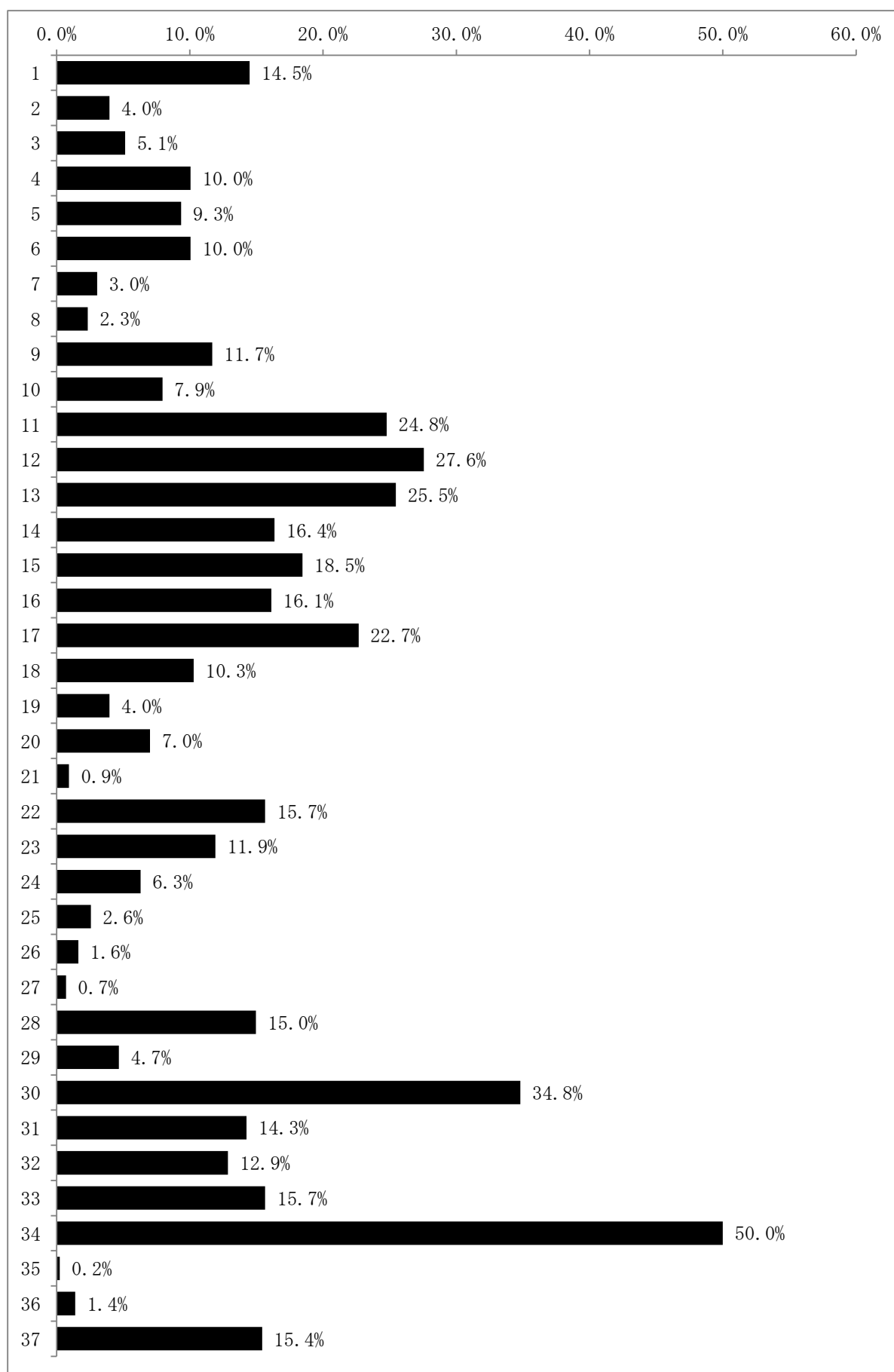
問6 身体障害者手帳所持者×問28 特に必要と感じている支援

1 身近な医療機関に通院して医療を受けること	117	21.1%
2 在宅で訪問診療・訪問看護を受けること	41	7.4%
3 専門性の高い医療を受けること	47	8.5%
4 医療費の負担軽減	62	11.2%
5 障害の進行・二次障害を予防すること	75	13.5%
6 リハビリ・自立訓練を受けること	101	18.2%
7 障害の早期発見・早期療育のための支援の充実（啓発・広報活動を含む）	13	2.3%
8 保育施設の充実	9	1.6%
9 特別支援教育の充実	23	4.1%
10 合理的な配慮がなされた学業の場の確保	30	5.4%
11 仕事につくこと・続けることを容易にする制度の充実	65	11.7%
12 合理的配慮がなされた働く場または活動の場の確保	57	10.3%
13 障害がある人の家族に対する支援事業（休息のための一時入所（レスパイトケア）等）	67	12.1%
14 支援指導、相談等	32	5.8%
15 障害者への理解を深めるための教育・機会の充実	66	11.9%
16 障害のある人の権利や人権を守るための支援	52	9.4%
17 外出・移動の支援	69	12.4%
18 スポーツ、レクリエーション、文化活動に対する援助	30	5.4%
19 地域の人々との交流機会の拡大	24	4.3%
20 道路、交通機関、公共施設等を利用しやすくすること（バリアフリー等）	86	15.5%
21 障害に配慮した情報媒体の充実（点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送、ルビ、電子図書等）	42	7.6%
22 入所サービスの利用	33	5.9%
23 通所サービス（デイサービス等）の利用	49	8.8%
24 訪問サービス（ホームヘルプ等）の利用	32	5.8%
25 意思疎通支援サービスの利用	22	4.0%
26 質の高い補装具の装用	46	8.3%
27 日常生活用具を利用するための支援を受けること	43	7.7%
28 障害のある人に適した住宅の確保	38	6.8%
29 自宅の改修	49	8.8%
30 手当・年金・助成金等の経済的援助の充実	158	28.5%
31 障害福祉サービスの利用者負担の軽減	62	11.2%
32 災害時、緊急時の情報提供、通信体制、避難誘導対策の充実	85	15.3%
33 相談対応等の充実	67	12.1%
34 親亡き後の生活支援	85	15.3%
35 除雪・草刈り等の支援	5	0.9%
36 その他	13	2.3%
37 不明・無回答	129	23.2%



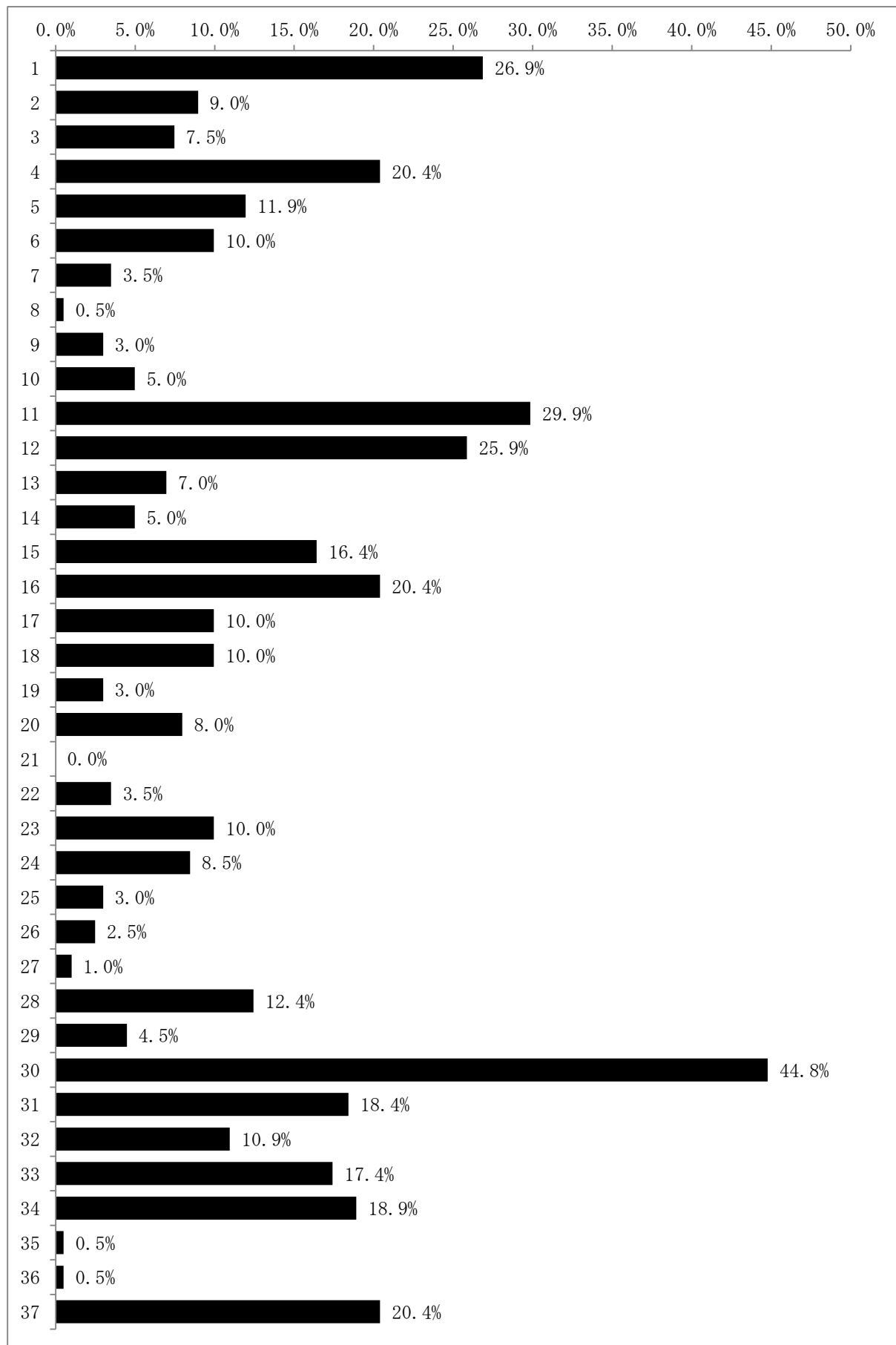
問 7 療育手帳所持者×問 2 8 特に必要と感じている支援

1 身近な医療機関に通院して医療を受けること	62	14.5%
2 在宅で訪問診療・訪問看護を受けること	17	4.0%
3 専門性の高い医療を受けること	22	5.1%
4 医療費の負担軽減	43	10.0%
5 障害の進行・二次障害を予防すること	40	9.3%
6 リハビリ・自立訓練を受けること	43	10.0%
7 障害の早期発見・早期療育のための支援の充実（啓発・広報活動を含む）	13	3.0%
8 保育施設の充実	10	2.3%
9 特別支援教育の充実	50	11.7%
10 合理的な配慮がなされた学業の場の確保	34	7.9%
11 仕事につくこと・続けることを容易にする制度の充実	106	24.8%
12 合理的配慮がなされた働く場または活動の場の確保	118	27.6%
13 障害がある人の家族に対する支援事業（休息のための一時入所（レスパイトケア）等）	109	25.5%
14 支援指導、相談等	70	16.4%
15 障害者への理解を深めるための教育・機会の充実	79	18.5%
16 障害のある人の権利や人権を守るための支援	69	16.1%
17 外出・移動の支援	97	22.7%
18 スポーツ、レクリエーション、文化活動に対する援助	44	10.3%
19 地域の人々との交流機会の拡大	17	4.0%
20 道路、交通機関、公共施設等を利用しやすくすること（バリアフリー等）	30	7.0%
21 障害に配慮した情報媒体の充実（点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送、ルビ、電子図書等）	4	0.9%
22 入所サービスの利用	67	15.7%
23 通所サービス（デイサービス等）の利用	51	11.9%
24 訪問サービス（ホームヘルプ等）の利用	27	6.3%
25 意思疎通支援サービスの利用	11	2.6%
26 質の高い補装具の装用	7	1.6%
27 日常生活用具を利用するための支援を受けること	3	0.7%
28 障害のある人に適した住宅の確保	64	15.0%
29 自宅の改修	20	4.7%
30 手当・年金・助成金等の経済的援助の充実	149	34.8%
31 障害福祉サービスの利用者負担の軽減	61	14.3%
32 災害時、緊急時の情報提供、通信体制、避難誘導対策の充実	55	12.9%
33 相談対応等の充実	67	15.7%
34 親亡き後の生活支援	214	50.0%
35 除雪・草刈り等の支援	1	0.2%
36 その他	6	1.4%
37 不明・無回答	66	15.4%



問 8 精神障害者保健福祉手帳所持者 × 問 2 8 特に必要と感じている支援

1 身近な医療機関に通院して医療を受けること	54	26.9%
2 在宅で訪問診療・訪問看護を受けること	18	9.0%
3 専門性の高い医療を受けること	15	7.5%
4 医療費の負担軽減	41	20.4%
5 障害の進行・二次障害を予防すること	24	11.9%
6 リハビリ・自立訓練を受けること	20	10.0%
7 障害の早期発見・早期療育のための支援の充実（啓発・広報活動を含む）	7	3.5%
8 保育施設の充実	1	0.5%
9 特別支援教育の充実	6	3.0%
10 合理的な配慮がなされた学業の場の確保	10	5.0%
11 仕事につくこと・続けることを容易にする制度の充実	60	29.9%
12 合理的配慮がなされた働く場または活動の場の確保	52	25.9%
13 障害がある人の家族に対する支援事業（休息のための一時入所（レスパイトケア）等）	14	7.0%
14 支援指導、相談等	10	5.0%
15 障害者への理解を深めるための教育・機会の充実	33	16.4%
16 障害のある人の権利や人権を守るための支援	41	20.4%
17 外出・移動の支援	20	10.0%
18 スポーツ、レクリエーション、文化活動に対する援助	20	10.0%
19 地域の人々との交流機会の拡大	6	3.0%
20 道路、交通機関、公共施設等を利用しやすくすること（バリアフリー等）	16	8.0%
21 障害に配慮した情報媒体の充実（点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送、ルビ、電子図書等）	0	0.0%
22 入所サービスの利用	7	3.5%
23 通所サービス（デイサービス等）の利用	20	10.0%
24 訪問サービス（ホームヘルプ等）の利用	17	8.5%
25 意思疎通支援サービスの利用	6	3.0%
26 質の高い補装具の装用	5	2.5%
27 日常生活用具を利用するための支援を受けること	2	1.0%
28 障害のある人に適した住宅の確保	25	12.4%
29 自宅の改修	9	4.5%
30 手当・年金・助成金等の経済的援助の充実	90	44.8%
31 障害福祉サービスの利用者負担の軽減	37	18.4%
32 災害時、緊急時の情報提供、通信体制、避難誘導対策の充実	22	10.9%
33 相談対応等の充実	35	17.4%
34 親亡き後の生活支援	38	18.9%
35 除雪・草刈り等の支援	1	0.5%
36 その他	1	0.5%
37 不明・無回答	41	20.4%



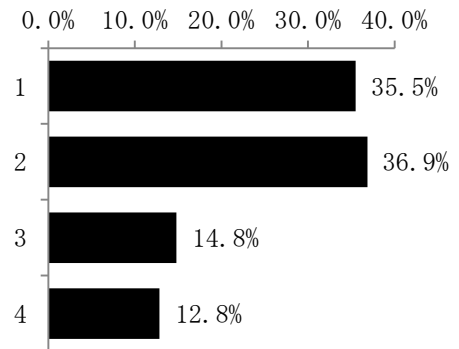
<就労に関する質問>

問29 現在、収入を得る仕事をしていますか。また、今後、収入を得る仕事につくことについてどのように考えていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「1 現在、収入を得る仕事をしています」と答えた方】 仕事の継続の希望について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(イ)【「2 現在、収入を得る仕事をしていない」と答えた方】 今後の希望について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ウ)【「3 現在、就学中または未就学児であり、収入を得る仕事をしていない」と答えた方】 今後の希望について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(A)【(イ)で「1 今後、収入を得る仕事をしたい」と答えた方】 どのような雇用形態等を希望していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答
(B)【(A)で「1 正職員」または、「2 正職員以外(アルバイト、パート、契約職員、日雇い等)」と答えた方】 障害者向け求人に応募したいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(C)【(イ)または(ウ)で「2 収入を得る仕事をしたくない」と答えた方】 理由について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答

- ・「現在、収入を得る仕事をしています」が35.5%、「現在、収入を得る仕事をしていない（就学中の場合を除く）」が36.9%であった。
- ・「現在、収入を得る仕事をしています」と回答した方のうち、「現在の仕事を継続したい」が85.1%となった。
- ・「現在、収入を得る仕事をしていない（就学中の場合を除く）」と回答した方、「今後、収入を得る仕事をしたくない」が37.5%、「今後のことはわからない」が41.0%であった。
- ・現在、就学中または未就学児であり、収入を得る仕事をしていない」と回答した方。「卒業後、収入を得る仕事をしたい」が66.9%となった。

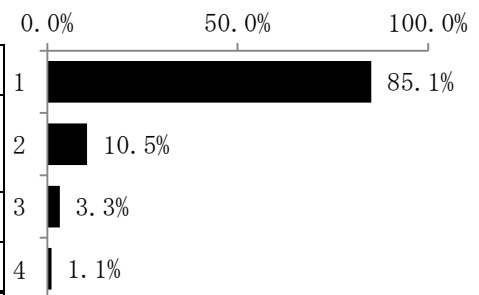
問 2 9 就労状況

1	現在、収入を得る仕事をしている	362	35.5%
2	現在、収入を得る仕事をしていない (就学中の場合を除く)	376	36.9%
3	現在、就学中または未就学児であり、 収入を得る仕事をしていない	151	14.8%
4	不明・無回答	131	12.8%
合計		1,020	100.0%



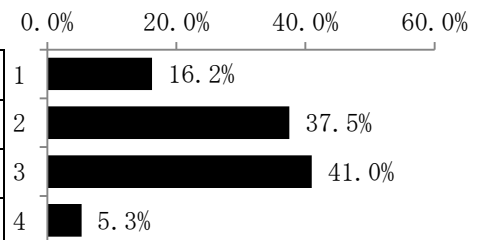
問 2 9 (ア) 就業中の方の仕事の継続の希望

1	現在の仕事を継続したい	308	85.1%
2	現在の仕事以外の収入を得る仕事を 継続したい	38	10.5%
3	仕事を継続したくない	12	3.3%
4	不明・無回答	4	1.1%
合計		362	100.0%



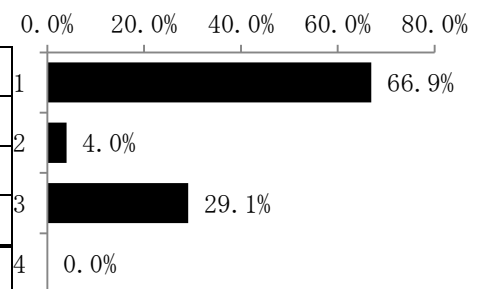
問 2 9 (イ) 現在未就労の方の今後の希望

1	今後、収入を得る仕事をしたい。	61	16.2%
2	今後、収入を得る仕事をしたくない	141	37.5%
3	今後のことはわからない	154	41.0%
4	不明・無回答	20	5.3%
合計		376	100.0%



問 2 9 (ウ) 現在就学中または未就学児の方の今後の希望

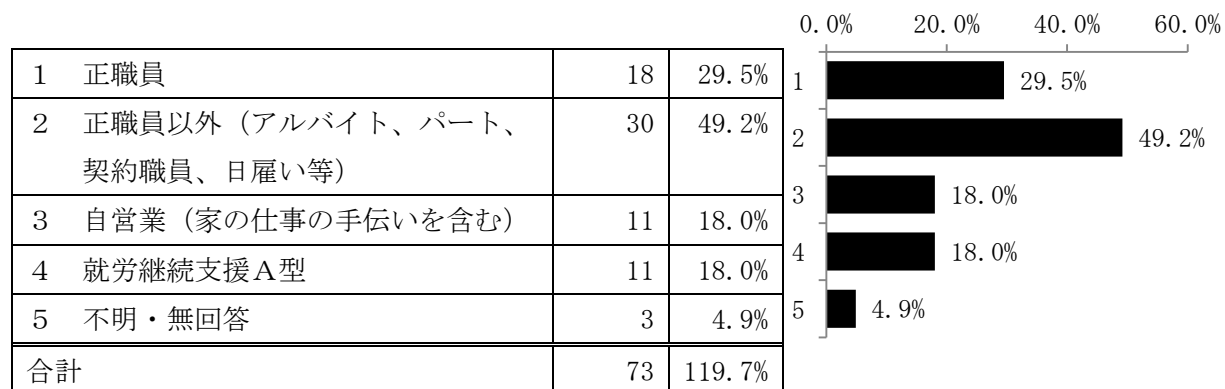
1	卒業後、収入を得る仕事をしたい	101	66.9%
2	卒業後、収入を得る仕事をしたくない	6	4.0%
3	今後のことはわからない	44	29.1%
4	不明・無回答	0	0.0%
合計		151	100.0%



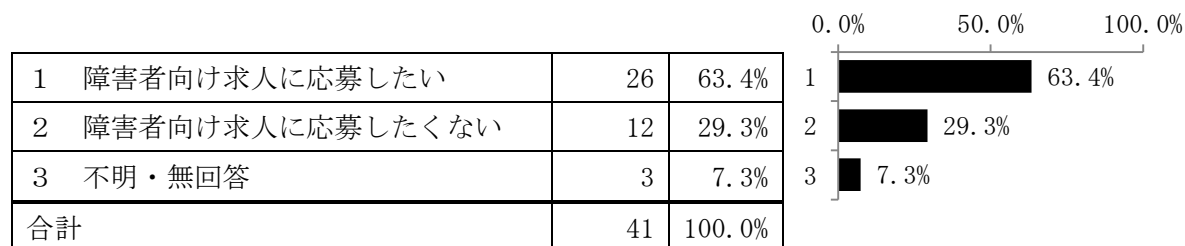
・今後、収入を得る仕事をしたい」と回答した方のうち、「正職員」が 29.5%、「正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、日雇い等）」が 49.2%であり、そのうち、「障害者向け求人に応募したい」が 63.4%、「障害者向け求人に応募したくない」が 29.3%となった。

・「収入を得る仕事をしたくない」と回答した方のうち、「体力の面で不安がある」が 40.1%で最も多い。

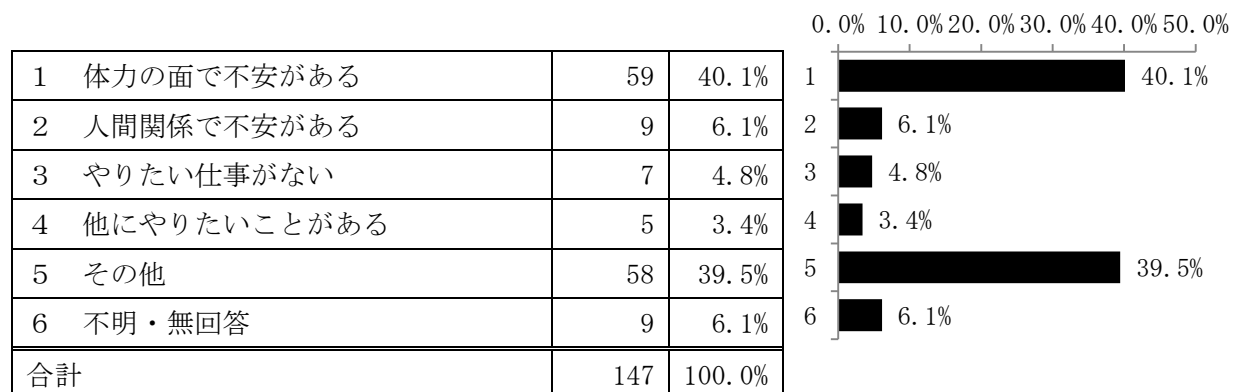
問 2 9 （ A ） 希望する雇用形態



問 2 9 （ B ） 障害者向け求人への希望



問 2 9 （ C ） 現在未就労の理由



問30 あなた（調査の対象となる方）が継続的に収入を得る仕事をするために必要と感じていることは何ですか。最も当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
---	------

- ・「職場に障害に対する理解があること」が20.8%で最も多い。

問30 仕事をするために必要と感じていること



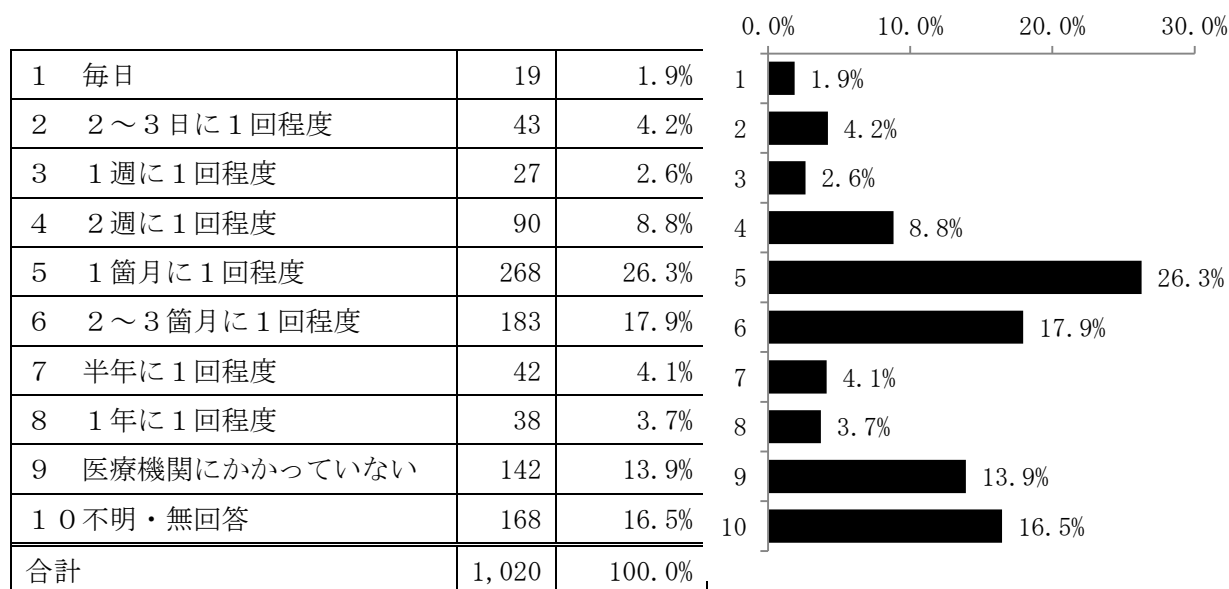
＜その他の質問＞

問3 1 あなた（調査の対象となる方）が医療（通院、在宅医療、定期入院等）を受ける頻度は、平均するとどれくらいになりますか。 ①と②の設問それぞれについて、<u>当てはまるもの1つに○をつけてください。</u>	単一回答
---	------

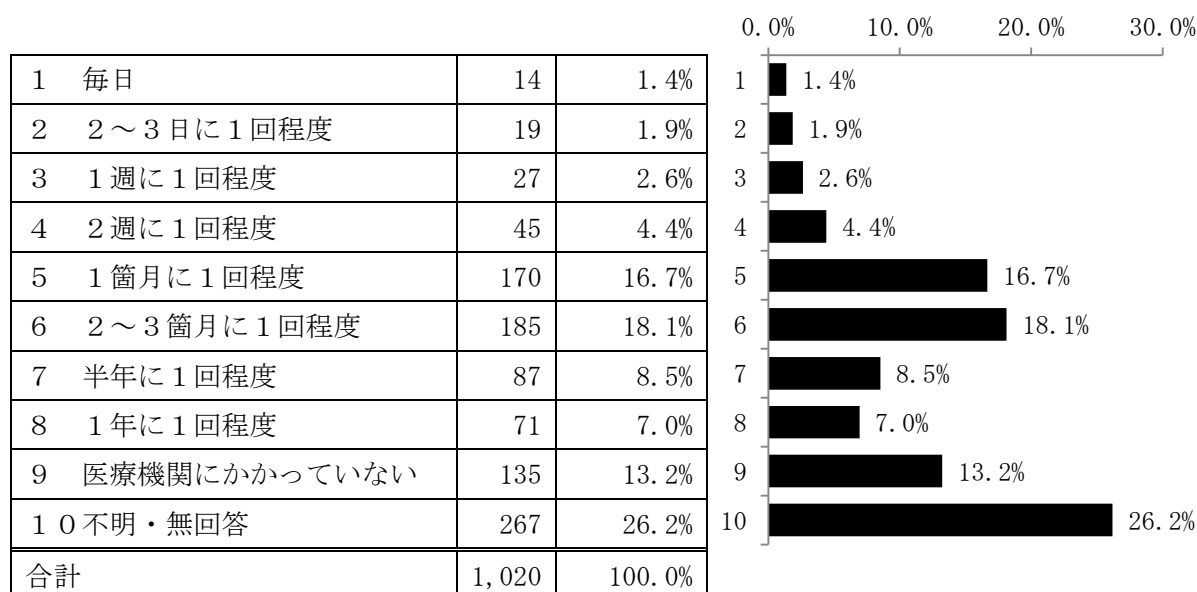
・生活のしづらさの直接の原因となっている障害、病気、けが等のための通院や在宅医療の頻度は、「1箇月に1回程度」が26.3%、「2～3箇月に1回程度」が17.9%となった。

・生活のしづらさと直接的に関連のない通院頻度は、「2～3箇月に1回程度」が18.1%、「1箇月に1回程度」が16.7%であった。

問3 1 ① 医療を受ける頻度（生活のしづらさの直接の原因の障害等のための通院）



問3 1 ② 医療を受ける頻度（生活のしづらさと直接的に関連のない通院）



問32 1箇月当たりの医療費の自己負担は、平均するとどれくらいになりますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
---	-------------

- ・自己負担額「0円」と回答された方が、36.6%で最も多い。

問32 1箇月当たりの医療費の自己負担額

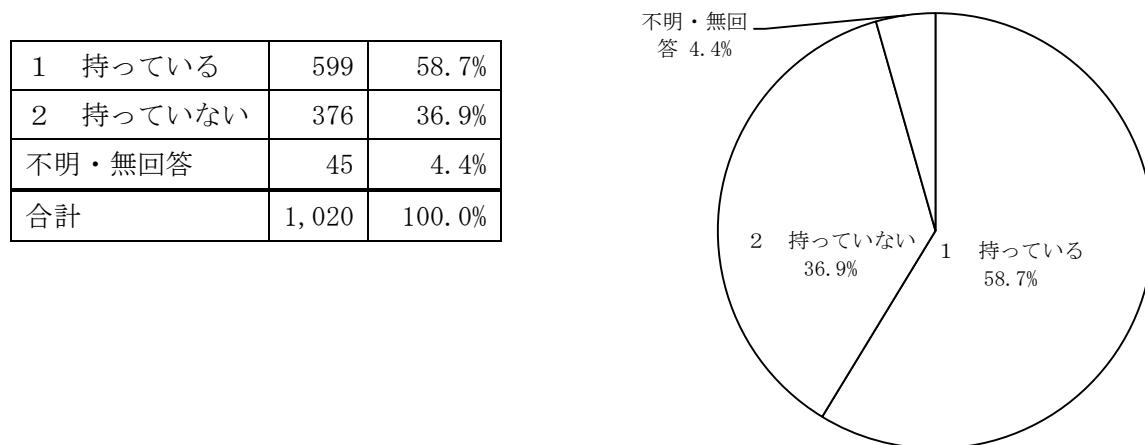
1	0円※	373	36.6%	1 36.6%
2	1円以上3千円未満	186	18.2%	2 18.2%
3	3千円以上1万円未満	215	21.1%	3 21.1%
4	1万円以上3万円未満	68	6.7%	4 6.7%
5	3万円以上6万円未満	13	1.3%	5 1.3%
6	6万円以上	16	1.6%	6 1.6%
7	不明・無回答	149	14.6%	7 14.6%
合計		1,020	100.0%	

(※生活保護の医療扶助等で自己負担が全額免除されている場合等)

問33 マイナンバーカードを持っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
---	-------------

- ・「持っている」が58.7%、「持っていない」が36.9%であった。

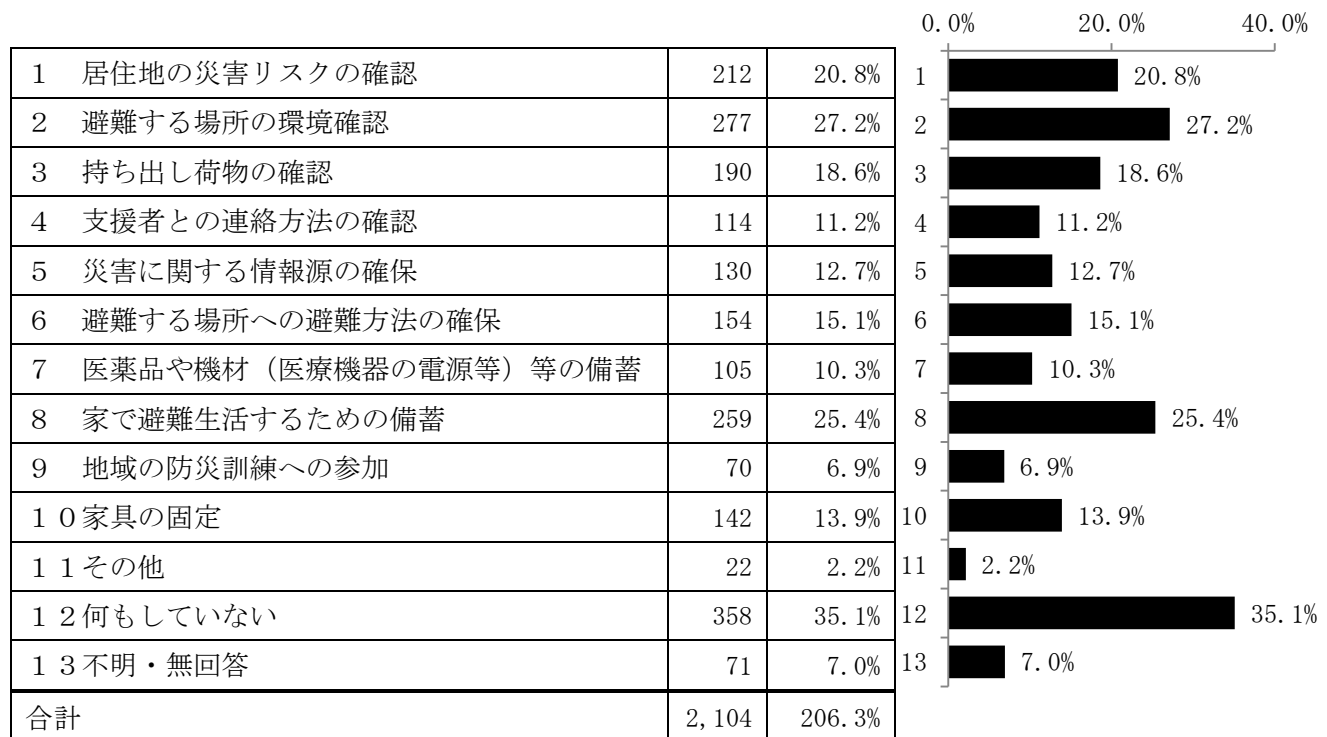
問33 マイナンバーカードの有無



問 3 4 地震や水害等の災害発生時に向けた準備に取り組んでいる ことはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてくださ い。	複数回答
--	------

・「何もしていない」が35.1%と最も多く、次いで「避難する場所の環境確認」が27.2%「家で避難生活するための備蓄」が25.4%であった。

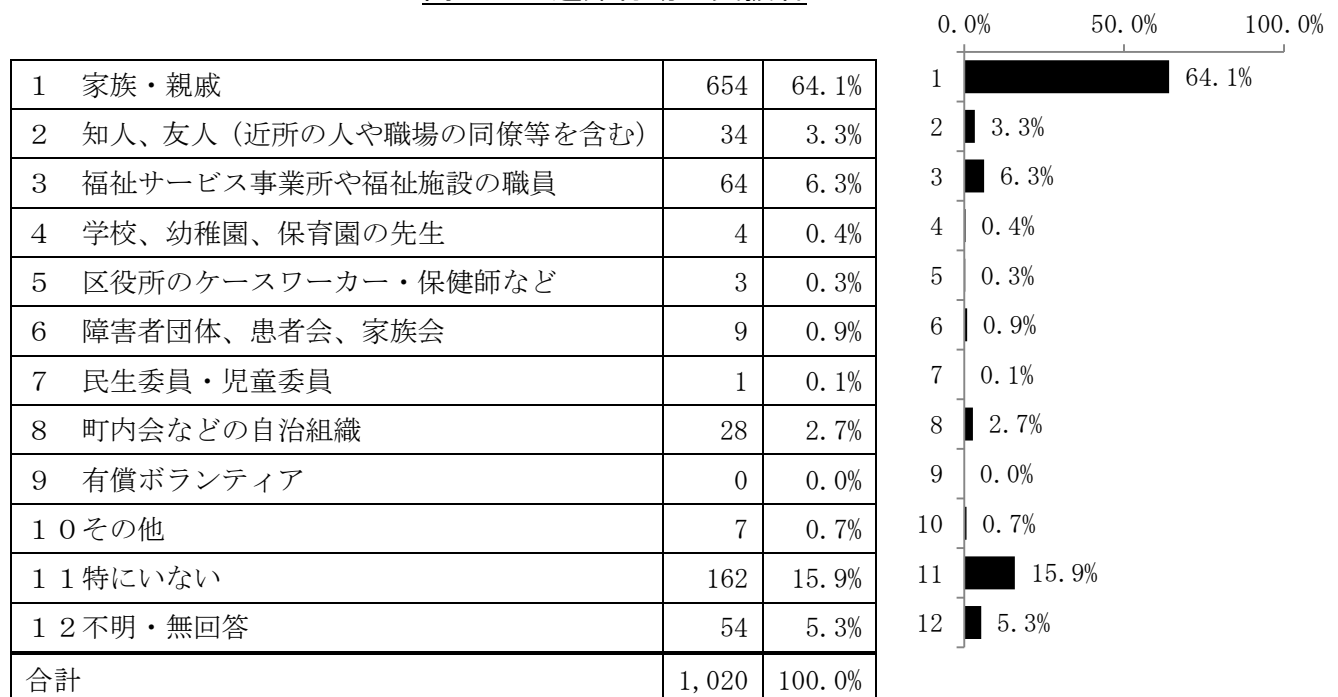
問 3 4 災害時に向けた準備



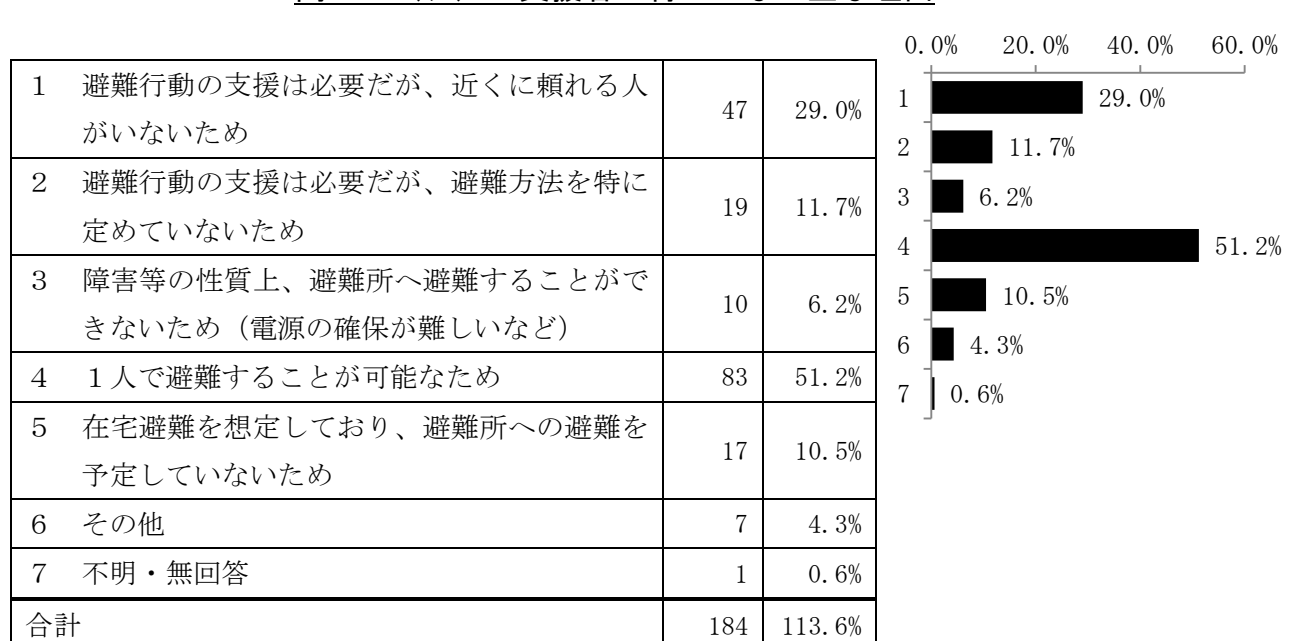
問 3 5 災害が発生した際、主に避難所までの避難行動を支援する方は誰ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「1 1 特にない」と答えた方】 主な理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答

- ・「家族・親戚」が64.1%で最も多い。「特にない」が15.9%であった。
- ・避難行動を支援者が特にないと回答された方の理由は、「1人で避難することが可能なため」が51.2%であった一方、「避難行動の支援は必要だが、近くに頼れる人がいないため」が29.0%となった。

問 3 5 避難行動の支援者



問 3 5 (ア) 支援者が特にない主な理由

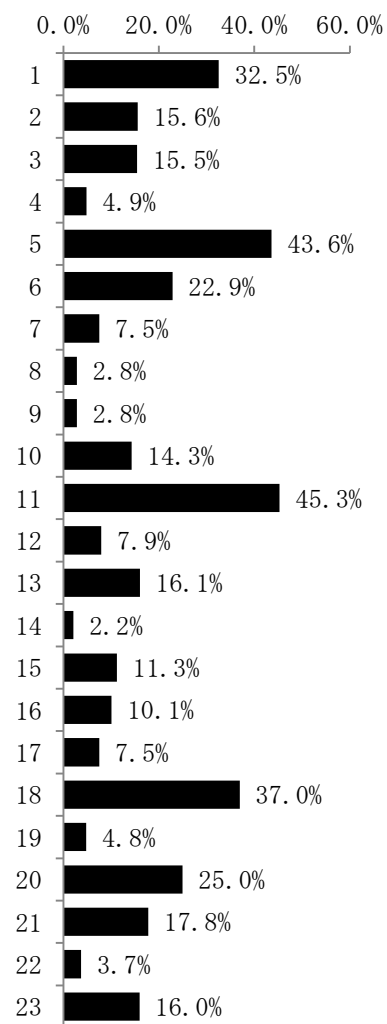


問36 令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の流行に関連して、起きたことや困ったことはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答
---	------

- ・全体としては、「外出の頻度が少なくなった」が45.3%、「感染予防対策に苦労した」が43.6%、「家族・親戚・友人などに会う機会が減った」が37.0%の順に多い。
- ・身体障害者手帳所持者の方は、「外出の頻度が少なくなった」が43.8%、「感染予防対策に苦労した」が43.6%、「家族・親戚・友人などに会う機会が減った」が38.9%の順に多い。
- ・療育手帳所持者の方は、「外出の頻度が少なくなった」が36.4%、「感染予防対策に苦労した」が33.9%、「家族・親戚・友人などに会う機会が減った」が29.4%の順に多い。
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者の方は、「外出の頻度が少なくなった」が45.3%、「不安を強く感じた」が44.3%、「感染予防対策に苦労した」が43.8%の順に多い。

問36 新型コロナウイルス感染症による困りごと等

1 不安を強く感じた	332	32.5%
2 落ち着かない感じがしたり、いらいらしたりした	159	15.6%
3 気分が落ち込んだ	158	15.5%
4 眠ることができず睡眠時間が減った	50	4.9%
5 感染予防対策（マスクの着用や入手、手洗い、消毒、検温、換気、距離をとる等）に苦労した	445	43.6%
6 検査やワクチンを受けるのに苦労した	234	22.9%
7 新型コロナウイルス感染症の情報を得るのに苦労した	77	7.5%
8 仕事を見つけるのに苦労した	29	2.8%
9 テレワークをしたいが、テレワークに適さない仕事に就いている、あるいはテレワークが認められない	29	2.8%
10 日中を過ごす場所に困った（通所先が閉所された等）	146	14.3%
11 外出の頻度が少なくなった	462	45.3%
12 治療やリハビリが中止や延期になった	81	7.9%
13 福祉サービスの利用ができなかった／しづらくなった	164	16.1%
14 補助金申請等の行政手続きが難しくて苦労した	22	2.2%
15 オンライン化（インターネットでの会議、オンライン面会、オンラインショッピング、電子決済、オンラインによる行政手続き等）が普及して戸惑うことが増え苦労した	115	11.3%
16 障害に配慮してもらえないと感じることが増えた	103	10.1%
17 家族が介護の負担が増える等により仕事に行けなくなった	77	7.5%
18 家族・親戚・友人などに会う機会が減った	377	37.0%
19 家族とのいさかが増えたり、居場所がないと感じたりすることが増えた	49	4.8%
20 他者がマスクをしていると顔や会話がわかりにくく苦労した	255	25.0%
21 経済的に苦しくなった	182	17.8%
22 その他	38	3.7%
23 不明・無回答	163	16.0%
合計	3,747	367.4%



問6 身体障害者手帳所持者×問36 新型コロナウイルス感染症による困りごと等



問7 療育手帳所持者×問36 新型コロナウイルス感染症による困りごと等



問8 精神障害者保健福祉手帳所持者×問3 6 新型コロナウイルス感染症による困りごと等



問37 あなた（調査の対象となる方）は、障害のことなどの悩みや心配ごと、また福祉サービスに関する情報を知りたいとき、どのようなところに相談されますか。下記の1～14までのうち、<u>主なものを3つまで○をつけてください。</u>	複数回答
（ア）【「13 相談したいができない」と答えた方】 相談できない理由は何ですか。<u>当てはまるもの1つに○をつけてください。</u>	単一回答

・全体として主な相談先は、「家族・知り合いの人」が39.6%、「医療機関」が29.1%、「保健福祉センター、更生相談所、発達相談所など市の相談窓口」が26.3%の順に多い。

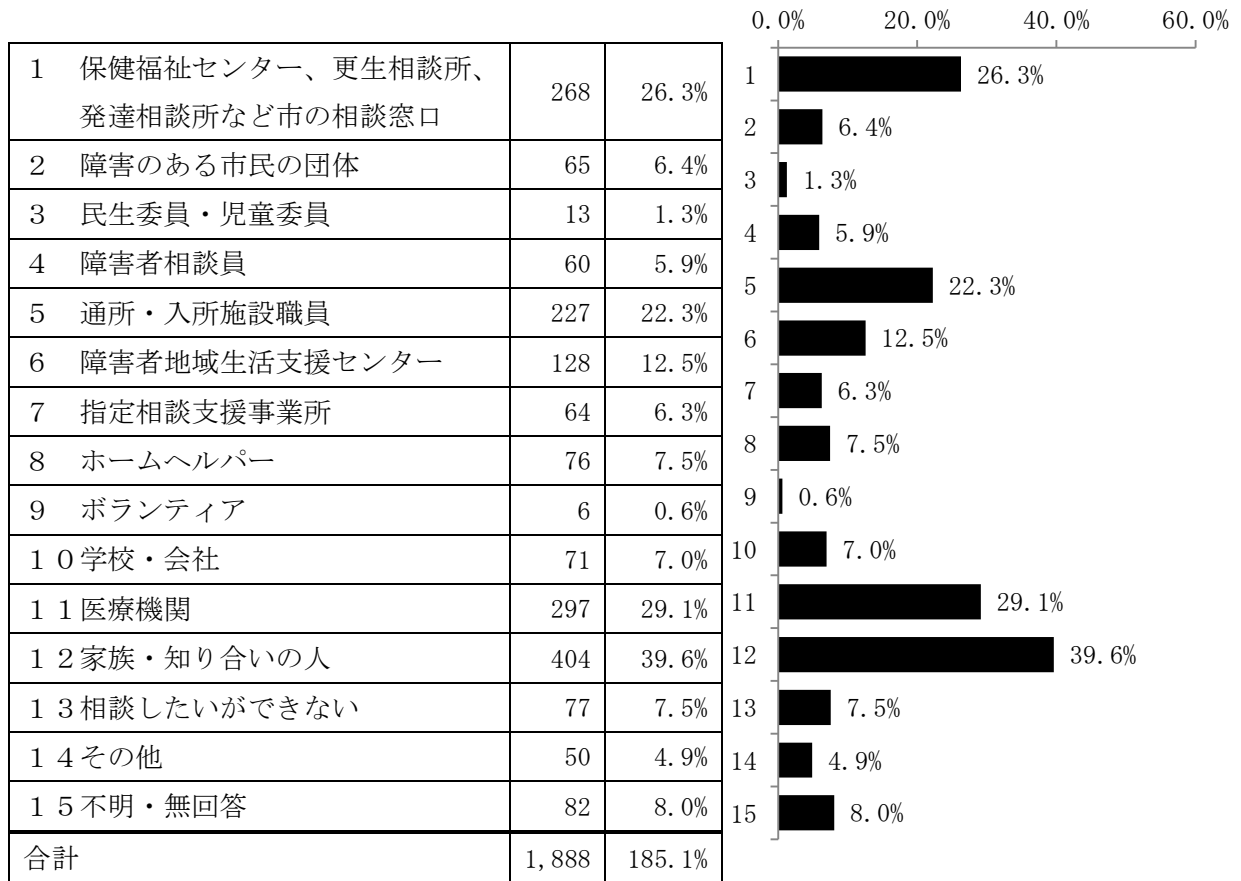
・身体障害者手帳所持者の方は、「家族・知り合いの人」が43.8%、「医療機関」が43.6%、「保健福祉センター、更生相談所、発達相談所など市の相談窓口」が23.8%の順に多い。

・療育手帳所持者の方は、「家族・知り合いの人」が47.2%、「通所・入所施設職員」が40.0%、「保健福祉センター、更生相談所、発達相談所など市の相談窓口」が29.2%の順に多い。

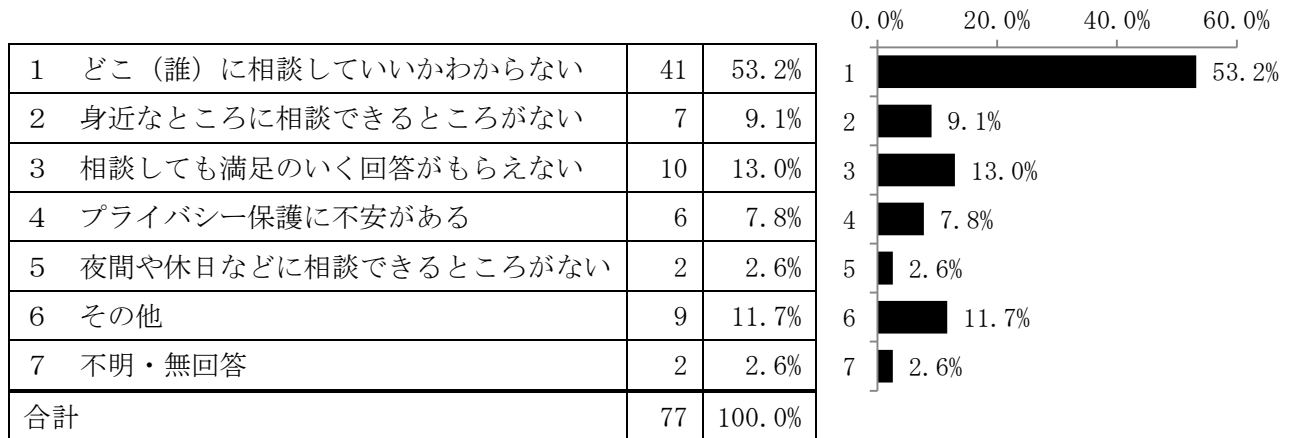
・精神障害者保健福祉手帳所持者の方は、「外出の頻度が少なくなった」が45.3%、「不安を強く感じた」が44.3%、「感染予防対策に苦勞した」が43.8%の順に多い。

・相談したいができないと回答された方のうち、「どこ（誰）に相談していいかわからない」がいずれの手帳をお持ちの方でも最も多かった。

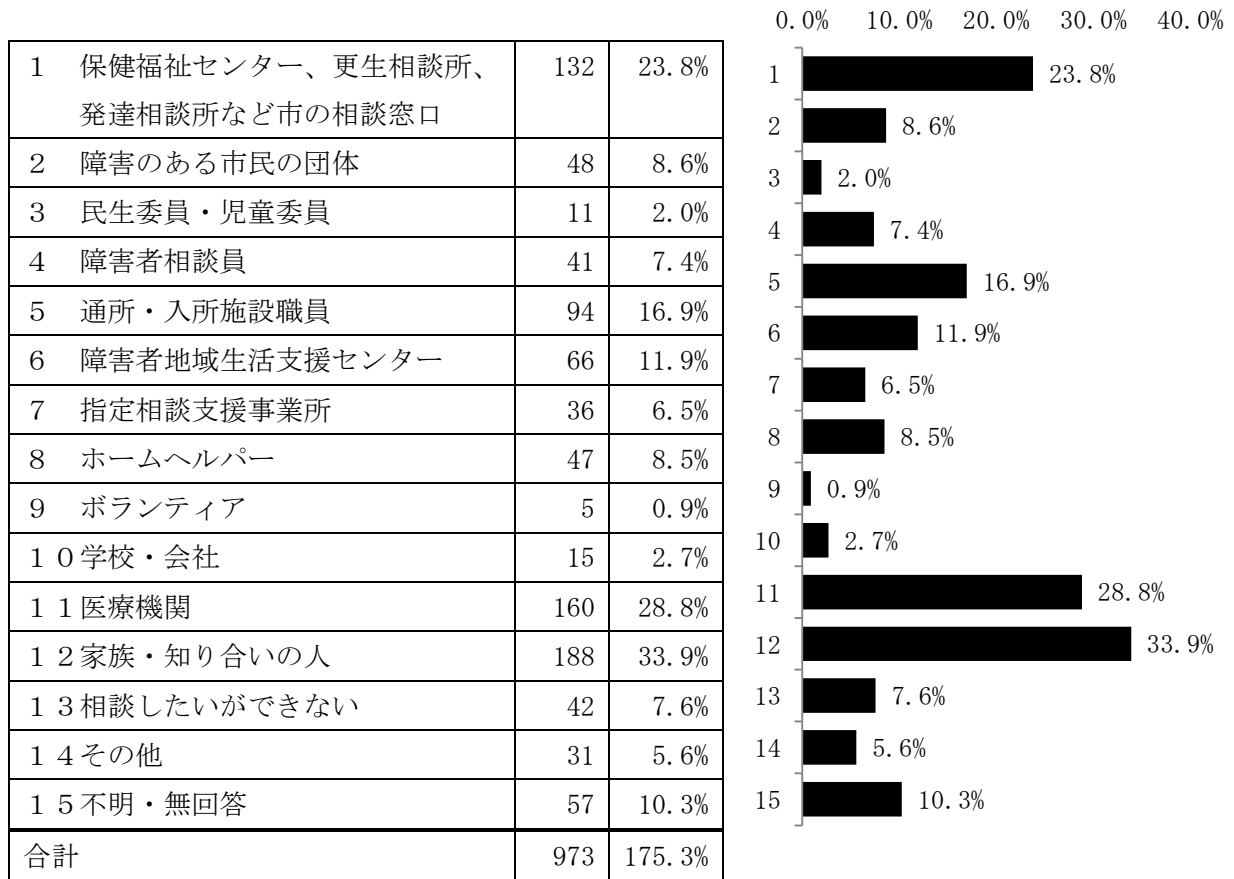
問 3 7 主な相談先



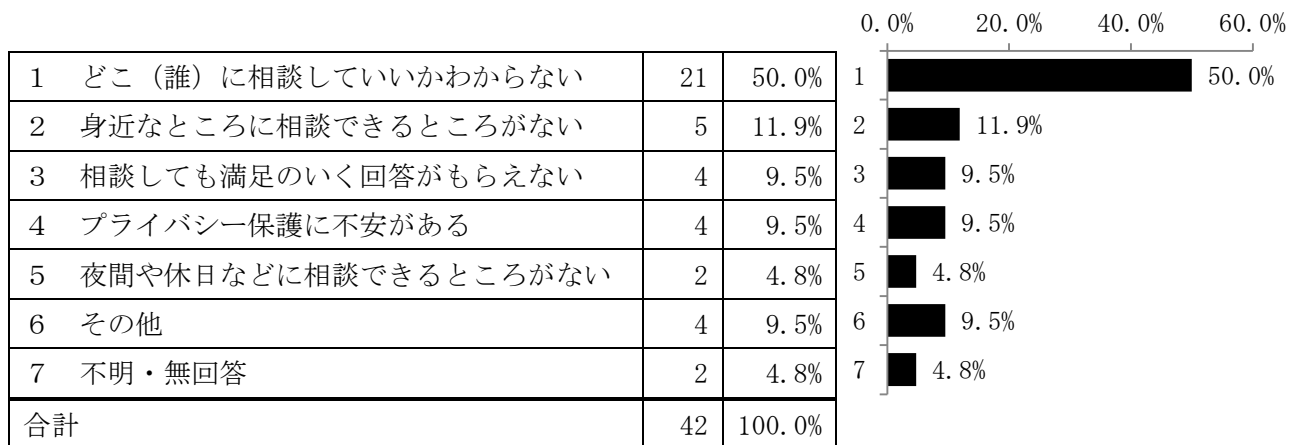
問 3 7 (ア) 相談したいができない理由



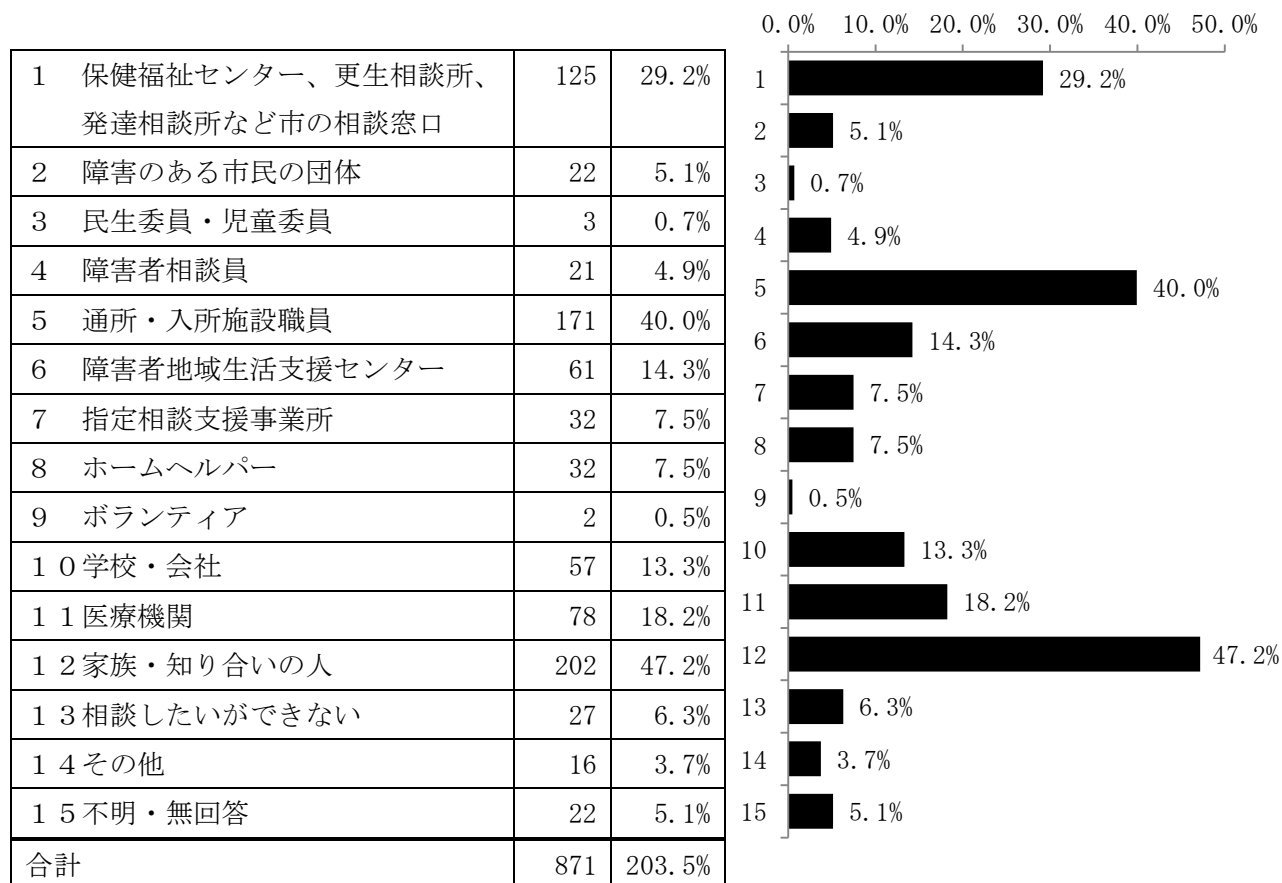
問6 身体障害者手帳所持者×問37 主な相談先



問6 身体障害者手帳所持者×問37 (ア) 相談したいができない理由



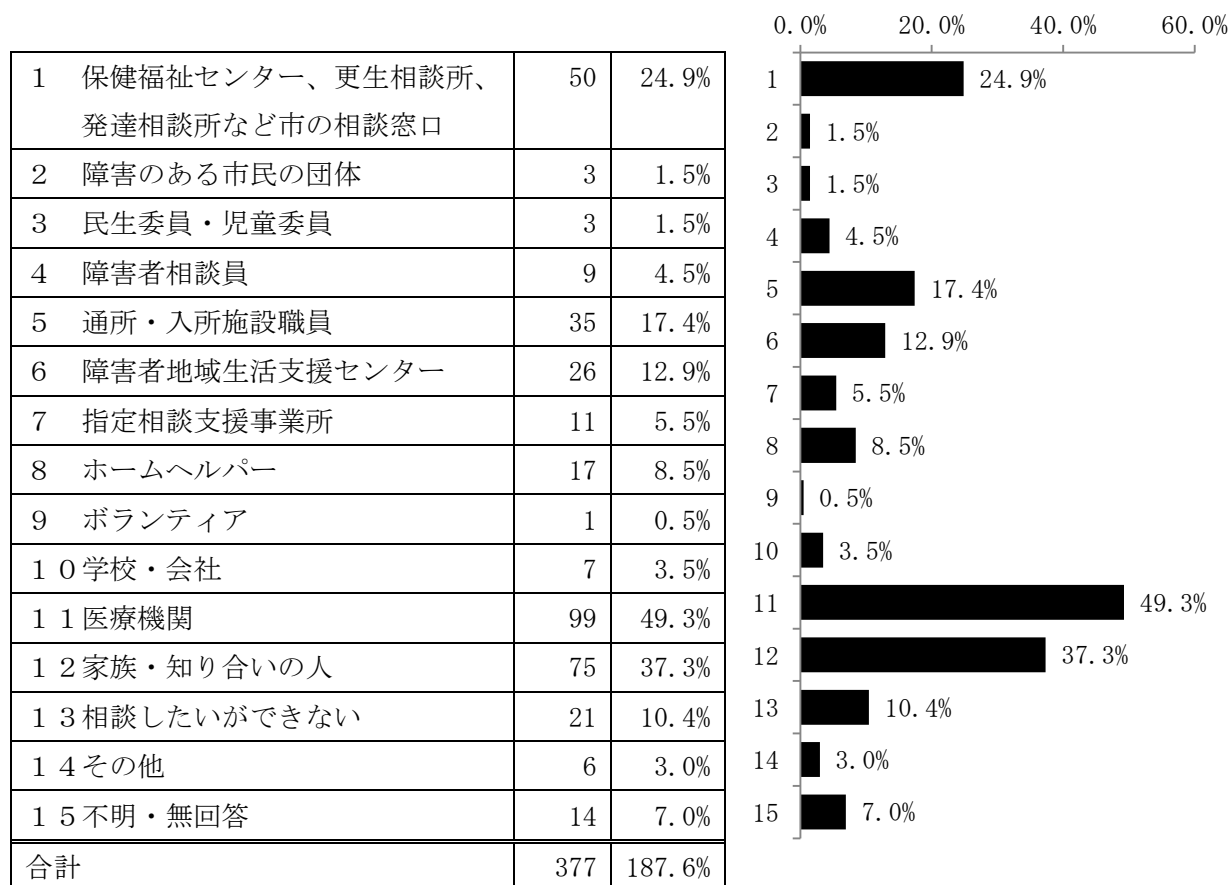
問7 療育手帳所持者×問37 主な相談先



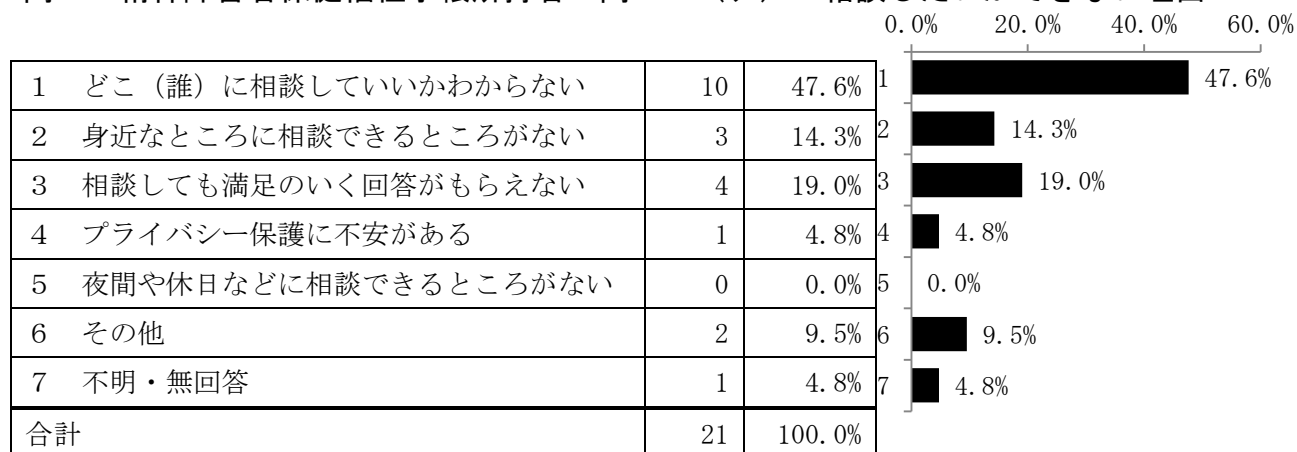
問7 療育手帳所持者×問37 (ア) 相談したいができない理由



問 8 精神障害者保健福祉手帳所持者 × 問 3 7 主な相談先



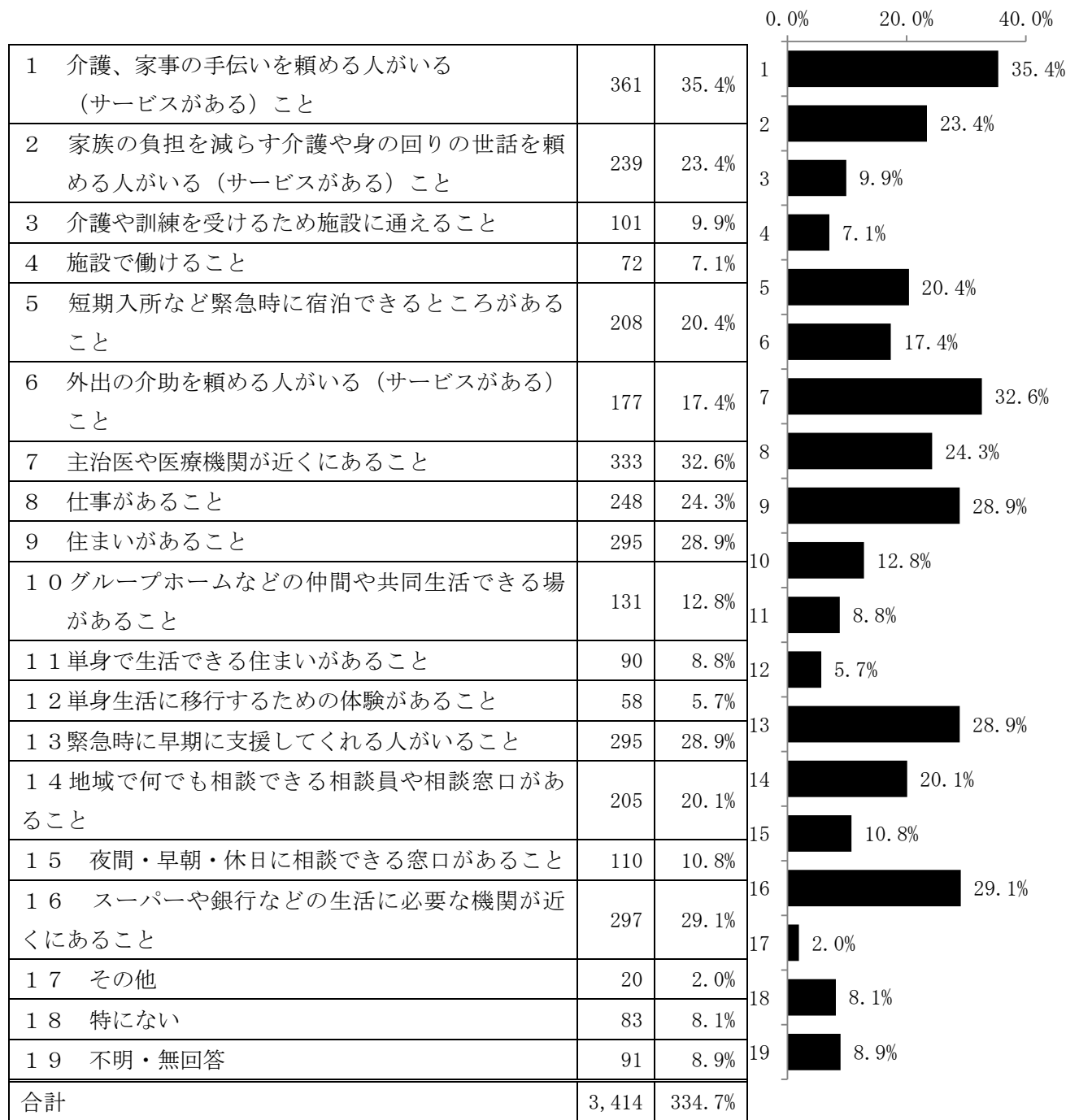
問 8 精神障害者保健福祉手帳所持者 × 問 3 7 (ア) 相談したいができない理由



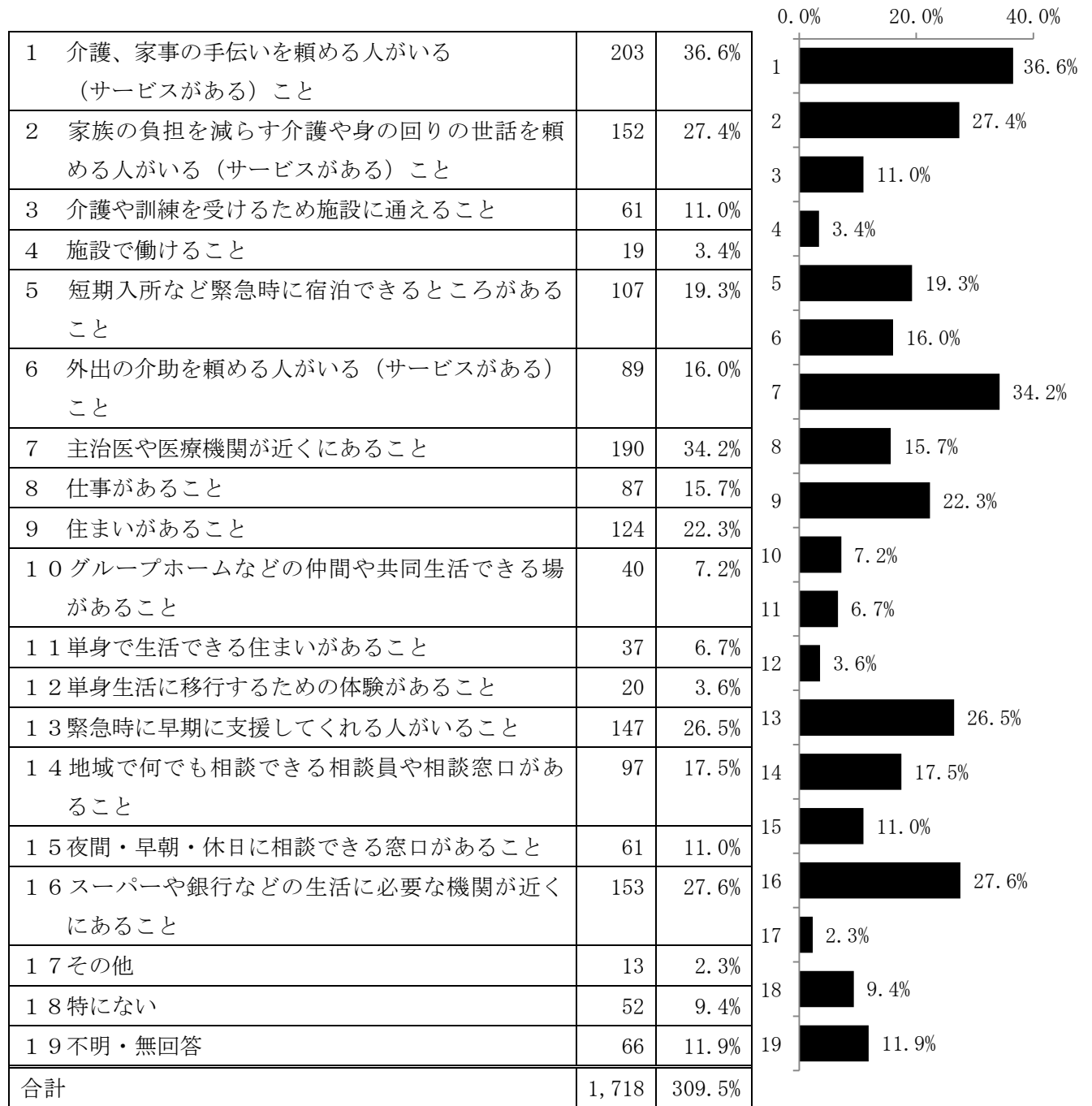
問38 あなた（調査の対象となる方）は、自宅や地域で生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。下記の1～14までのうち、<u>主なものを5つまで○をつけてください。</u>	複数回答
---	-------------

- ・全体として自宅や地域で生活するための条件は、「介護、家事の手伝いを頼める人がいること」が 35.4%、「主治医や医療機関が近くにあること」が 32.6%、「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」が 29.1%の順に多い。
- ・身体障害者手帳所持者の方は、「介護、家事の手伝いを頼める人がいること」が 36.6%、「主治医や医療機関が近くにあること」が 34.2%、「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」が 27.6%の順に多い。
- ・療育手帳所持者の方は、「介護、家事の手伝いを頼める人がいること」が 40.0%、「緊急時に早期に支援してくれる人がいること」が 34.8%、「短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること」が 33.2%の順に多い。
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者の方は、「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」が 44.3%、「主治医や医療機関が近くにあること」が 38.8%、「住まいがあること」が 38.8%の順に多い。

問 3 8 自宅や地域で生活するための条件

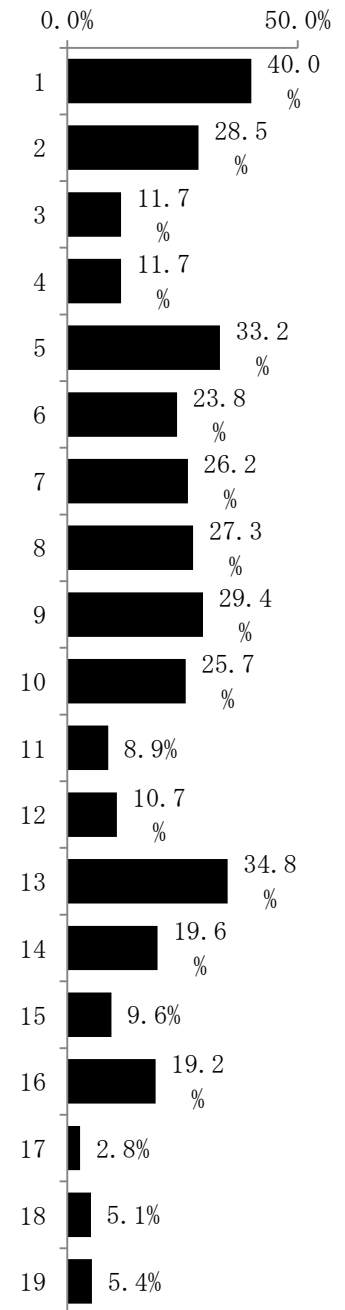


問6 身体障害者手帳所持者×問38 自宅や地域で生活するための条件



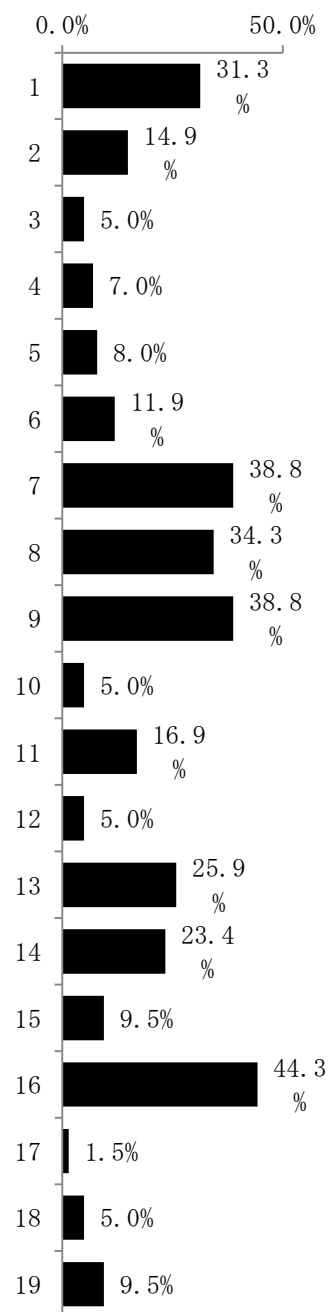
問 7 療育手帳所持者×問 3 8 自宅や地域で生活するための条件

1 介護、家事の手伝いを頼める人がいる (サービスがある) こと	171	40.0%
2 家族の負担を減らす介護や身の回りの世話を頼 める人がいる (サービスがある) こと	122	28.5%
3 介護や訓練を受けるため施設に通えること	50	11.7%
4 施設で働けること	50	11.7%
5 短期入所など緊急時に宿泊できるところがある こと	142	33.2%
6 外出の介助を頼める人がいる (サービスがある) こと	102	23.8%
7 主治医や医療機関が近くにあること	112	26.2%
8 仕事があること	117	27.3%
9 住まいがあること	126	29.4%
10 グループホームなどの仲間や共同生活できる場 があること	110	25.7%
11 単身で生活できる住まいがあること	38	8.9%
12 単身生活に移行するための体験があること	46	10.7%
13 緊急時に早期に支援してくれる人がいること	149	34.8%
14 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があ ること	84	19.6%
15 夜間・早朝・休日に相談できる窓口があること	41	9.6%
16 スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近く にあること	82	19.2%
17 その他	12	2.8%
18 特にない	22	5.1%
19 不明・無回答	23	5.4%
合計	1,599	373.6%



問 8 精神障害者保健福祉手帳所持者×問 3 8 自宅や地域で生活するための条件

1 介護、家事の手伝いを頼める人がいる (サービスがある) こと	63	31.3%
2 家族の負担を減らす介護や身の回りの世話を頼 める人がいる (サービスがある) こと	30	14.9%
3 介護や訓練を受けるため施設に通えること	10	5.0%
4 施設で働けること	14	7.0%
5 短期入所など緊急時に宿泊できるところがある こと	16	8.0%
6 外出の介助を頼める人がいる (サービスがある) こと	24	11.9%
7 主治医や医療機関が近くにあること	78	38.8%
8 仕事があること	69	34.3%
9 住まいがあること	78	38.8%
10 グループホームなどの仲間や共同生活できる場 があること	10	5.0%
11 単身で生活できる住まいがあること	34	16.9%
12 単身生活に移行するための体験があること	10	5.0%
13 緊急時に早期に支援してくれる人がいること	52	25.9%
14 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があ ること	47	23.4%
15 夜間・早朝・休日に相談できる窓口があること	19	9.5%
16 スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近く にあること	89	44.3%
17 その他	3	1.5%
18 特にない	10	5.0%
19 不明・無回答	19	9.5%
合計	675	335.8%

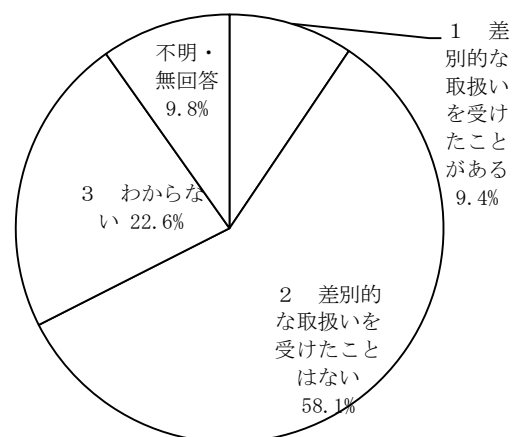


問 3 9 あなた（調査の対象となる方）は、店で物を購入したりサービスを受けたりしたときなどに、障害を理由とした差別的な取扱いを受けたことがありますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。	単一回答
（ア）【「1 差別的な取扱いを受けたことがある」と答えた方】 具体的にどのような取扱いを受けたか記入してください。	記述回答

- ・「差別的な取扱いを受けたことがある」が 9.4%、「差別的な取扱いを受けたことはない」が 58.1%、「わからない」が 22.6%であった。
- ・「差別的な取扱いを受けたことがある」と回答された方の具体的な体験として、公共交通機関での対応や飲食店等での入店拒否が多い。

問 3 9 差別的な取扱い

1 差別的な取扱いを受けたことがある	96	9.4%
2 差別的な取扱いを受けたことはない	593	58.1%
3 わからない	231	22.6%
不明・無回答	100	9.8%
合計	1,020	100.0%



問 3 9（ア） 差別的な取扱いを受けたことがある方の具体的な体験

通所介護施設訪問時に、介護施設の車を利用できない。
娯楽施設麻雀の利用することを断られた。
独り言を言っていると、変な顔で見られ、ためいきをつかれ、ヘルパーさんが助けてくれました。
等級で線を引かれる。まるで元気みたい。
町の診療所。
駅で、手帳を見せて改札を通る際、他の人にはあいさつするが手帳を見せているのに無視をする。
タクシーの乗り降り、歩道など。
お店などは1人で重いものを持つ、移動が困難であるためにありませんが、幼稚園入園の際に障害のある子供を受け入れることにより、他の子のお世話がおろそかになると言われたり、障害があるとわかると上の人をつれて来て「今は募集していません」と言われた。
スイミングスクールへの入会を断れた。
漢字、字が読めないから。
バスの乗り降り。
医療機関を受診すると必ず親が呼ばれる。（内科、皮膚科など。）
バスの運転手に手帳をみせたら、無視もしくは態度が悪い。他の人には「ありがとうございます」

ます」という。タクシーの運転手に手帳を見せたら、態度が悪い。まだ下りてないのに発進され、怖かった。
スーパー銭湯で入場を拒否されたことが2回ある。
おつりを少なく渡された。料金を多く取られた。福祉乗車証で市バスを利用した時、嫌な顔されたり、自分にだけ挨拶されなかったりした。
差別とは言えないが中途難聴者のため手話は使えないが、耳が聞こえない＝手話だと思われ、ずっと手話を使われたことがある。
店の人が忙しくて邪魔くさくて対応してくれない。
車椅子のスペースを確保できるまで、入店できなかった。
飲食店で大きいバギーは無理だと言われた。座敷ならと言われたが無理で帰りました。
30代の頃、優先座席に座っていたところ元気な高齢者に立つよう言われた。
スイミングスクールに入会できなかった。
車イスでの場所がない病院、人間、色々。
バスの運転手に舌打ちされた。重障の方が怒鳴られているのを見た。
契約書に代筆できないことが多い。自筆が必要と言われること。
万引きをしたと言われ警察を呼ばれたこと。(ヘルパーさんと出かけている最中に)コンビニのイトインスペース近くの本をさわっている映像をお店の人が見ていて勘違いしてのこと。
他の子には配慮するのに私にはしてくれなかった。
区役所の障害福祉課で自立支援でデイにいけると聞いて手続きに行ったのに、何を考えてるの？こんな実費やって障害の所の人にムチャクチャ言われた。なぜこんな人が障害の所にいるのか。後で看護師の人が行ってもらったら、簡単に書類をもらってきてくださった。看護師の言う事は聞いて障害者の言うことは馬鹿にする。こんなことはいいのでしょうか！！
中学校の時の教員（育成学級以外）に差別的な発言を繰り返し受けた。
視覚障害であることの差別。案内できないので入店断られ。
自身の思いの問題なのかもしれませんが、役所の方の対応に心痛むことがあり相談することを戸惑ってしまいます。
入店拒否。
車椅子での入店を断られた。タクシーに乗車拒否された。障害児との利用を理由に飲食店の予約を拒否された。
携帯電話を使う時に何度も聞くので嫌がられたり、他へ行って下さいと断られる
お金のごまかし。
障害があることを相手側（サービスを受ける）に伝えたと、相手の目の色が変わった。
言葉が通じにくく伝わらなかった。
飲食店で子供用車いすをベビーカーと認識され、たたむよう要求された。車いすであること、これがないと座れないこと、そもそもたためないことを伝えたが、納得してもらえず、利用をあきらめた。
聞いても店で、シカトされる。声が小さくはっきりしない。
公共交通機関に乗る際、時間がかかる（手間がかかる）為、乗降出来ない事が時々あります。差別的な取扱いに相当しますか？
商品選択の支援は、たとえこちらが店員の手が空くまで待つなどの配慮をしても行えない、と言われた。
自宅改築の際、仮住まいのためアパートを借りることが困難だった。

説明がめんどうとの理由で適切な商品の紹介がされなかった。
付き添っている大人がいるので何も悪いことはしていないがとても奇異な目で見られることがある。いらっしやいませなどの好意的な目ではない。何かするんじゃないかと見はられている様。
銀行や郵便局で彼らが「意思の確認ができない」と判断したら定期の解約ができず、お金が出せない、生活が苦しい。子供が何を言ってもお金を握ってしまっってはなさない。身体障害はタクシーなどお金がかかるのに困る。
一流料亭で嫌そうな顔をされた事が一回。デパート等レストランではトイレ等も美しく使い易いし、店の人も目立たないように席をセットしてくれる。よく馴れた感じ。こちら調整しマナーを教えてやれる。
薬局で本人が入ると犬を押し出すようにシッシといった薬局員がいた
目がわるいので、「あなたは見えないのでは？」と言われたことがあった
店で物を購入した時に、店員の対応がバカにした様な態度をとられた。
散髪屋でヒゲそりなどできるのに「あかんあかん」と差別的にあしらわれた。見下したしゃべり方でヘルパーさんにもあしらった。
電動車いすで飲食店に入店しようとした際、店員に気づかれないフリをされ入店をあきらめた。
コンビニなどのセルフレジでもたついていると他の客から「早くしろ」と言われたり、店員も手助けしてくれない
CDショップで選ぼうとしても「触らないでくださいと言われたり、手でハエを払うようにされた。
デイサービス内でいけずされた。守って行こうと思う気持が少ない。良い人もおられますが！難しい問題です。
言葉で言われる(おちょくり)、 階段で困っていると笑われた。
タクシーに乗るとき、面倒くさそうにされた。
本来必要な治療を医師の判断という名のもとで行ってもらえなかった。
仕方のないことですが、宿泊施設(旅館・ホテル)でミキサーを用意出来ないのではと断られたことがあります。
タクシーに乗る時に手帳を見せて割引してもらう時に「チッ！」と言われた。
大宮交通公園でゴーカートに乗ってダメと言われた。
銭湯の利用を拒否された。どうも不潔に思われた様子。非常に傷ついた。
おやつを買いに行った時お金を持ってレジに行った時に対応してもらえなかった
そんなのいっぱいある。いちいち考えるのがムダ。学校でひどいことを普通の子が言った。(殺されかけたとか) 特にひどいのでなければ。
今はない。昔はひどい差別を受けた。貧乏人の障害者とは結婚させないと言われた。
タクシーで車椅子をトランクに入れてもらうよう頼んだら「荷物運びちゃうぞ」と怒鳴られた。タクシーが止まってくれない。
なんとなく邪魔くさい感じで接客対応された気がする
女性と一緒に電車に同乗した時、女性専用車で空いていたシートに座ったが、車両移動させられた。乗務員の融通が利かないのに閉口した。
差別的視線で見つめられた。
自分の行動に対して変人に見られた。

焼肉屋で入店拒否。
店員さんが何を言っているのか分からない。
情報提供（筆談等）が不十分であったり、飲食店等の予約で用に困る人の同行を求められたりする。
情報保障に関すること。（映画館に字幕付与を問い合わせたが断られた。）
聞こえない、話せない事から従業員が変な考えや思いをする顔や行動がみられる。
習い事をしたいとき、聞こえないことで断られる。
ランチ予約時、コース（料理名）の説明が出来ないと入店を断れました。
筆談を嫌がられた。問い合わせの連絡時に FAX はできないと拒否された。
筆談お願いしたとき「チッ」とか「ハァー」とため息をつかれた。（めんどくさがられる）シッシッと払われたこともある。
言葉が通じない時、面倒くさいみたいです。
文章の読み力が弱いため意味が分らない、筆談を嫌がる。
文ができないところが理解しないと困ります。
耳が聞こえないと言って遠慮して帰った（逃げる）ことが悲しいです。
マンションの契約時、精神疾患があると契約許可が下りないかもしれないと言われた。最終的には「聞かなかったことにします」と言われ契約できた。

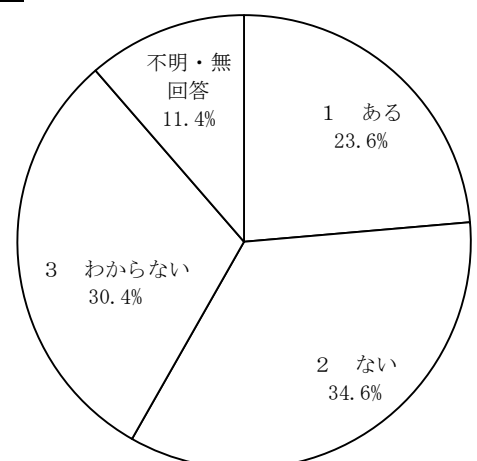
問 4 0 店や公共機関、金融機関、病院、行政機関の窓口などで受けた手助けや配慮等で、助かった、うれしかった手助け、配慮等がありますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。	単一回答
（ア）【「1 ある」と答えた方】 具体的にどのような手助けや配慮を受けたか記入してください。	記述回答

・「ある」と回答した方が 23.6%、「ない」と回答した方が 34.6%、「わからない」が 30.4%であった。

・具体的な体験としては、公共交通機関で席を譲られる等の配慮、手話や筆談でのコミュニケーション、来店した店での障害特性に応じた配慮等が多い。

問 4 0 手助けや配慮の経験有無

1 ある	241	23.6%
2 ない	353	34.6%
3 わからない	310	30.4%
不明・無回答	116	11.4%
合計	1,020	100.0%



問40（ア） 助かった、うれしかった手助け、配慮の具体的体験

病院通院日・診察時に、インフルエンザの注射を同時にしてくれた。（午後からの注射を診察時にしてくれた。）
公共交通機関で言葉掛けをもらった。席を空けてくれた。 病院で説明を丁寧にわかりやすくしてくれる。 混んでいるレストランで車椅子対応を優しく笑顔でしてくれた等々たくさん!! 外出は楽しく嫌じ!!と感じたり、つらいと思ったことはない。
障害者割引の適応。
バスに乗る時、手を引いてくれた。
運賃の支払い方を教えてくれた。 運賃箱へ支払うのに長い時間待ってくださった。
目的地までの誘導。
障害があることを前もって伝えておいたため、視覚での支援やわかりやすく説明してくれたりした。
住所を書くのを待ってもらいました。
迷子になった時警察で。
脳梗塞で入院した時5日間24時間看護してくれたこと一生嬉しかった
車（タクシー）に乗る時。
店。夕方配達してくれたこと。 行政機関の窓口での配慮で助かったこと。
入院の時。
親知らずの抜歯手術の時、検査や入院時に配慮を受けた。検査では親が見本を見せることが出来ました。入院時は親の付き添いが出来た。
医療機関で、本当に息子の成長や学びを伸ばすための助言や配慮を頂くこと。
説明とか教えてもらう時、ゆっくりわかりやすく親切にしてもらいました。理解できるまで。
言葉かけあり。
自宅入口で車椅子よりちょっとした事で身体が地面に落ち、私81才では主人を抱き上げる事が出来なくて困り、外で歩いている学生に大きな声で（助けて…）と言って抱き上げていただいた。
他と変わらず普通に接してもらえるとそれで嬉しいです。
病院では個室に入院させてくれたりすること、待合室が個室だったりすること。
まだ歩けていたときに電車に乗っていたら席を譲ってもらえた。
病院の受付、書き方。
バスから降りる時に手を貸してもらえる。声をかけてもらえる。
乗り物の中で席を譲ってもらえた。案内係がいる役所での配りようが良い。
病院や患者会などで顔見知りの方が、心配や気遣いの声かけをして下さいます。公共交通機関などで、ヘルプマークに気づき座席を譲って下さいます。体力的にはしんどいですが。感謝で気持ちは和らぎます。
エレベーターの前に階段があるホテルでバックヤードのエレベーターを使わせてもらった。
マスクをはずしてゆっくりとお話してくれたり、分りやすく執談してくれたこと。

車いすを押してもらっていた時、「お手伝いしましょうか」と声をかけていただいた
保険事務所で、丁寧にこちらのペースに合わせてくださった。銀行で、理解しやすい言葉で説明してくれた。
役所などでは、丁寧な説明を受けた。
「障害をもっています(知的障害を伴う自閉症)おだやかにはっきりと声かけいただくと助かります。大きい音声が苦手です」と書いた名札をつけて、外出しています。お店の方は、それを見て、お会計がゆっくりでも笑顔で待って下さいます。やさしい方が多いです。
平易な言葉づかいで口調もゆっくり聞き取りやすかった。
新幹線でトイレに近い楽な席にして下さった。優先座席などでヘルプマークを見てゆずって頂くことが増えました。行政の窓口(区役所など)では分かりやすく易しい言葉などで伝えて頂き、理解がしやすくなりました。
いっぱいあります。皆様とても親切です。
テーマパークなどの公共施設で車いす用の移動スペースを利用できた。
筆談などの対応。
区役所のケースワーカーが親身になって支援してくれた。
挨拶を返してくれる。※逆にこれだけでしか「嬉しい」と思えることがありません。「手助け」を受けたことがありません。
店で調子が悪くなった時に親切にしてもらった。
席を譲ってもらった
健康診断の際カルテに耳マークがついており、呼び出しの時毎回看護師さんが呼びに来てくれた。基本的に耳が悪いというと大きな声で話されるが、感音難聴なので聞き取れない。その時すぐ筆談してくれる人は助かる。
役所・病院で用紙に記入しなければいけない時、文字が見づらいのというのと、代わりに記入していただけることが助かります。
ドアの開け閉め。
車椅子を貸して頂きました。
筆談が完璧だった。
座席を譲ってもらえる。
交通機関の座席に配慮。
病院の支払い手続きレーンは優先レーンがあり、早く対応いただける。
支払いが遅いのを待って下さった。
交通機関、バス無料。
母が亡くなった時に手助けしてもらえた。お葬式の人も手助けしてくれた。
身体に安定がない時、手を差し伸べて支えてくださるとき助かります。感謝です。
手続きがわかりにくく、一緒に手続きしてくれた。
分かりやすい言葉で対応していただいた
公共交通機関の割引。
周期性嘔吐で入院が必要となった時、コミュニケーション支援のためのヘルパー介入を認めていただけた。大きくなってからも、小児科で受け入れていただけた。
病院での配慮です。バスで、お客さんに5000円札を両替していただきました。
筆談。

A T Mの振り込みの手伝いをしてもらって助かった。
聴こえないので筆談やパソコンに文字を打ったりして話してくれた。スマホの文字変換アプリを見せるとそこに話してくれた。
市バスで福祉乗車証を使えた。
バスでは席を譲っていただけます。子供のカバンにヘルプマークを着けているとよく見てもらえていると思います。
声を掛けてくれたこと。(セルフレジの使い方や品物の場所など。)
スーパーのレジで思いカゴを移動してくれた、近くでもタクシーが嫌がらずに乗せてくれた。
病院で別室待機など、かかりつけ医ではいつも配慮して頂いている。
とにかくバギーが大きいので病院でも端の席でないと立ちっぱなしになることが多いのですが、席をゆずって下さったり、エレベーター等、開くボタンを押していただけると、本当に助かります。
市バス、車イスユーザーなので運転士さんに助けられた。
バスで席を譲ってもらえる。
道案内をもらった。
買物へのこだわりがあるためいつも行くコンビニに協力してもらっている。
本人の対応に困っていると暖かく声をかけて下さった。交通機関で席を譲ってもらった。パニックを起こした時、声をかけて下さり、車イス等を持ってきて下さった。
大阪北部地震があった時電車の中に手話通訳ができる人がいた。
歩行補助をしていただいたり、いすを用意して下さったりしました。大きな声でゆっくり話して頂きました
声かけや支援について。
郵便局で癈癪を起こし、展示してあったチラシ等を投げてちらかしてしまった時に嫌な顔ひとつせず「大丈夫ですよ」とお声掛けして下さいましたこと。
座席をゆずってもらったり、重いものを運ぶのを手つだってもらったり、ドアの開閉などのこまかい気づかい。
車イスに目線を合わせるようにしゃがんで話しをきいてくれる。段差のある道を手伝って下さる民間の人
マスクを外して口元を見せて話してくれました。
理解を示してくださった時。前向きなことをアドバイスしてくれた時。
手引きしてもらったり、ドコモで代筆してもらったりしたこと。
車椅子で動いたり、止めたりするときに、医療機関によっては配慮してくれたので、気持ち安らいだ。
バスの座席を譲ってもらったこと。
療育手帳でバスや地下鉄を利用させていただいているが、他の方と同様にありがとうございますっていただけること。
駅の階段を下りる際に、近くにいる方が私の荷物を持って一緒に歩行速度も合わせて、私の少し前を歩いてくださいました。
バスの種類などの声かけ。(何系統が来ました。)
電車で席を譲ってもらった。
乗車時に市バスの運転手さんがややこしい動きをしても笑顔で待っていて下さいま

す。
バスで席を譲ってもらえた。エレベーターに優先して乗せてもらえた。ディズニーランドで並ぶ時間を短縮してアトラクションに乗れた。
歯科の先生が障害に理解して下さった。
個室での対応。
飲食店で、車椅子での移動に気を使ってもらった。タクシーで親切な対応をしてもらった。電車で荷物を持ってもらった。店に入るとき、自転車を移動してもらった。店に入る時、扉を開けてもらった。
銀行の窓口で名刺をもらい、1 から説明しなくても良いように、前回と同じ人が担当してくれたこと。
近所の郵便局での対応はとても親切で何度も教えてくれる。
紙に書いて説明していた。
採血やワクチン接種では安全のため横になって処置いただいている。
早く代筆して下さること。(自助具を持ち忘れていた時に。) あたたかい声掛け。(暗くなってきたし気をつけて帰って等。)
感染症になった時に看護師さんにていねいにしていただいて良かった。
商品選択の支援、バス・列車での座席誘導、到着バスの系統番号をマイクで案内。
いつも行くスーパーでは、サービスカウンターに言えば、気持ちよく買い物のサポートをして下さる。
随所で声掛けや手引きを受けた。
役所の窓口で代筆してもらった。薬局で薬を1回分ずつ分封してもらった。
食事を取り分けたり、食べやすい大きさに切り分けたりしてもらえた。
新幹線の多目的室の利用。
手帳を持っていることで受けられる割引(映画館など)助かっている。
セルフレジをお店のかたが代行してくださる。 レジで紛らわしい商品を「ゴミ袋は101用でよかったですか」等声をかけてくださる。 今春まで毎朝利用していたとき、改札からの誘導と電車の空席案内をしていただきました。 先日乗車した市バスの運転手さんは、「一歩進んだ乗車口側の横向きの席が空いています」と大変わかりやすく空席を案内してくださり着席することができました。 近隣道路のぼろぼろになった白線の引き直しを依頼したところひと月ほどで実施していただきとても助かっています。 伝統産業ミュージアムに企画展を見に行った際、とても丁寧に展示物をご案内いただきました。
車椅子で地下鉄を利用したときにエレベーターを優先利用させてくれた。
声かけ、病院での手伝い。
訪問介護での相談。
ヘルプマークをつけていると気軽に席を変わりましょうかと声をかけられたことがあり、つきそいの親もとなりに座ってあげてとって下さいます。店では同じ物を購入するのでいつもと変わりなく対応してくれる。
病院で先生が自ら出て来て下さって手をかして下さった。・
飛行機航空会社、入国手続き、スムーズにできた。
スーパーで袋詰めを店員さんが快くしてくれる事。

タクシーで外出先で便を失敗した。帰宅する時、タクシーの運転手さんがシートを用意してくれた。チップをはづんだ「いいよ、々」と言っていたが前に断られて困った事があって今回嬉しかったというと言うと受け取られた。
皮膚科の地域にある医院で、本人が待ち時間が苦手なので前日に電話をすると1番に診療してもらえる。人気の皮膚科なので本当にありがたいです。
施設から在宅復帰の際環境整備やサービス調整の手伝いを受けた。
病院など静かに待つことが難しいので別の場所で待たせてもらった。
優しいお言葉、ドアの開け閉め、駐車場の使用、色々あると思います。思いだせない。
ベビーカー・バギーの乗せ降ろしを手伝って頂けた。(バス・電車)
病院の待つ時間を早くしてもらったなど配慮してもらった時。
ヘルプマークをつけているので席をゆずっていただけることがありうれしかった。
スーパーで買ったものふくろに入れてくださってわすれものがないので。
バスや電車が無料な事。
ヘルパーさんには当時大変お世話になりました。
車両の乗り降りの介助 階段で車イスを運んでくれた
看護婦の方が親切にしてくれた
リフトの乗り降りでリフトのスピードを私の申し出なしにゆっくりしていただいた。
ちょっとした事。
整形外科に受診した時に、立てなくなり周りのスタッフに助けられた。精神科に受診した時に、無料でタクシーを呼んでもらえた。
管内を走行する鉄道や、乗車する時、降車する時、空港で乗降する時等車椅子を使用して下さる。
説明を丁寧にしてもらえた。(区役所、ハローワーク、病院など)
体調不良時に別室で休ませてくれた(電車、デパート、病院)
聴覚過敏なのでテレビの音を消してもらった。飲食店、どうしても食べられない食材を除去してもらった。
病院(個別病院)で自閉であることで待ち時間を考慮して頂けた。
仕事で色々大変やって休職して、復職してから障害者職業センターのジョブコーチに仕事 がしやすくなるように助けてもらいました。 自立支援医療は金銭的に助かった。 療育手帳で市バス、地下鉄がタダになって助かった。
じっと座って待てない時、外に出ていってしまうから私も付き添わないとで、事務の方が「行っていていいですよ」と言ってくださり、理解して下さって、手続きが終わったら呼んでくれた。
パニックを起こした時、休ませてもらえた。
バス・地下鉄が無料。
駐車場のサービス バス タクシーの値引き。
病院で長く待たなくていい配慮や人の少ない時間帯に診療してもらおうなどの配慮をうけた。
病院での分かりやすく丁寧な説明。お店で支払いの際、せかされる事なく「ゆっくりで大丈夫ですよ」と声をかけてもらえた。
車いすで目線や手の位置が低い事に腰をおとして目線を合わせて対応してくれた。「何かお

手伝いできる事があれば遠慮なく言ってくださいね」という言葉かけ。
病院で毎日検査をしてもらえて安心する。
満員電車で座席をあけて頂いた。
行き付けの病院では、いつも優しく接してもらえる。
そば見る介助してもらっている。(全ての行動に見なり介助が必要。)
担当者の方々が親身になって対応してくださいました。
ワクチン接種の時障害があることを察してくれて声をかけてくれて、エレベーター等にながしてくれた。
障害者マークを見ての対応。例えば座席。
階段を手伝ってくださった方がいます
財布にお金を入れてくれた事等
区役所で発達障害の特性を理解した対応をしてくれている。
飲食店で個室を用意してくれ落ち着いて食事ができた。
周りの刺激に弱いので個室を用意してもらえた。
市バスに乗った時、療育手帳を忘れお金もなく困っていたら、運転手さんが手帳を忘れた事を伝えると、やさしく、”今回はいいですよ”と降ろしてくれた。
支援学校の時、JRの駅員さんに乗り継ぎの誘導してもらった。大阪駅でした。レストランでミキサー食を用意してもらったこともあります。旅館で貸切風にしてもらったり、車椅子で移動しやすい部屋に変えてもらったりし増しました。
転倒時(発作など)助けてもらった。今は親がいるのでこまっていないが将来は不安です。
筆談してくれた。
区役所で担当の人がわかりやすく教えてもらえるようになった。銀行などでも聞いたら教えてもらえたり、駅なども場所が分らない時は教えてもらえた。
電車の乗降時に車イスを乗客に動かしてもらった。
バス会社に電話したら、いつも同じ人が出てくれる。
主治医の先生、看護師さんと仲良くなった。私の話をよく聞いてくれた。
スーパーの店でわかりやすい言葉で話かけてもらった。嬉しかった。
わからないことを教えてくれた。(銀行の方)
耳が不自由で伝えると筆談で対応してもらった事。
料金免除。
バスの定期券を購入する際、窓口の人が申請書の記入を代筆してくれた。
胃カメラをした時、担当ドクターが親を安心させるため詳しい説明を何回も本人と親の前に来てくれました。(安心できる説明をわかりやすくしてくれました。)
行政窓口、病院窓口は本人自分で受付するようにしている。親にはついてもらってるだけ。1人でも何しに来たかわかってもらうためと1人で行った時でも処理してもらうために。本人も更新手続きが必要とか、困った時の訪ねる場所を分るために対応して下さっている。ありがたいと思っています。
療育手帳で乗車したバス運転手さんに降りる時このバス乗れないから市バスにしてくださいと言われた。
電車で席を譲ってもらった。
交通費無料。

福祉事務所で納税していた分を免除されると申請できました。
買い物の時ゆっくりと時間をとって相談にのってくれた。
よく通うお店の人が声をかけてくださったり、定期的に通う病院の先生や看護師さんや受付の方などが、優しく声をかけて下さったり、検査で大変な時救ってくださってすごく救われています。
病院などでどこに行けばいいかわからない時に相談していただいた。
手話通訳者。
病院へ行く前に電話で障害があり待つことが苦手で多動と伝えたら、待合室でなく車内や院内の別のスペースで待たせてもらえて嬉しかった。診察もベッドの上だったので触りたくなるような物も周りになく安心した。
病院内での移動介助。
車椅子を助けてくれた。
親切に声をかけてもらっている
やりにくいことをお声掛けていただき、手伝っていただいた。言葉づかいも丁寧でした。
市バスの乗り降り、運転手さんに助けてもらえる事
手の届かない手助け、エレベーター・レジのボタンを押すこと、エレベーター室の鏡が必要、下の方が見えない（車イスのため）他の人の足を踏む。
座席すぐにゆずって頂いた事
わからない事を何度聞いても対応してくれた。
行動を手伝ってくださる、分からない事をおしえてくださる。
私の話を真剣に聞いてくれる。
バスの運転手さんが1段で乗れるようによせてくれた時。
書談ボードやメモを書いて頂ける。
様々な場所で声をかけてもらえること。
筆談。
身振りで対応していただいた。
マンションの向かいの部屋がボヤで避難した時、救急隊の人が少し手話が出来て良かった。
電話リレーサービスや筆談などによる意思疎通の配慮。
初対面時につめたくされた事がありましたが、何回か会えることによって手助けするようになりました。
きこえないとわかったらすぐ筆談してくれる。手話のできる方がいたら呼んでくれる。
筆談してくれる人がいた。又、手話ができる人がいた。
電話でしか対応できない時に、個人情報に対する手続きを一部代行して頂きました。
筆談、同行。
手話ができる人がいた。
自然な手話を表現された時。
筆談で丁寧に対応して下さいました。
手話が出来なくても筆談してくれました。
自然体でマスクを外してゆっくり口話してくれた事。筆談で時間をかけて対応してくれた事。
手話のできる職員がいた時スムーズだった。目で見てわかりやすい表示板はすごく助かる。

手話通訳、同行支援で安心した。外出ができる。
銀行の手続き方法を教えてくれた。(何回か。)
ありがとうと手話でしてくれた。積極的に筆談をしてくれた。(前に耳が聞こえない事を伝えて。)
耳が聞こえないと伝えたと、筆談する身振りするなどの伝え方をする人が増えました。
「ありがとうございます」「お大事に」等の簡単な手話で話してもらえたこと。
障害者割引が使えて嬉しかった。
親切に対応して下さったこと。
店で荷物運搬手助けしてもらった。
テーマパークで療育手帳を見せたら待ち時間を考慮してくれたり、何より大変なことを理解し楽しめるように配慮してくれたことが嬉しかった。いつも周りに迷惑をかけないようにと気を使ってしまうので理解ある上でのサービスとてもありがたい。
いつも利用するスーパーで店員が顔を覚えてくれた。本人の質問にわかりやすく答えてくれる。
振込カードを作る手伝いを助けてもらった。
バスの中で立っている時、若い人に席を譲ってもらった。
やさしく接して下さった。
市バスで高校生が席を譲ってくれようとした事。

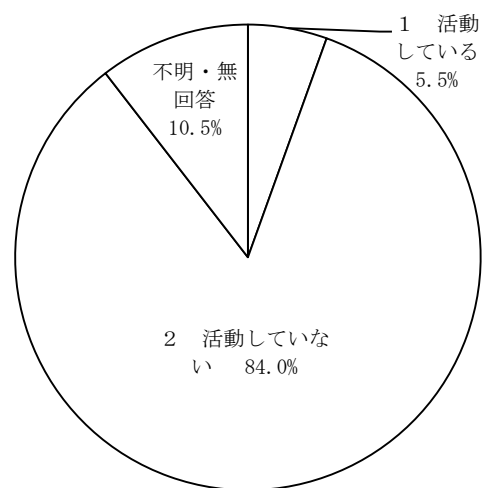
問 4 1 あなた（調査の対象となる方）は、障害者としての経験を 活かしながら、他の障害や疾病のある障害者のための支援を 行う「ピアサポーター」としての活動をしていますか。当ては まるもの1つに○をつけてください。	単一回答
（ア）【「2 活動していない」と答えた方】 今後、ピアサポーターとして活動したいと思いますか。当てはま るもの1つに○をつけてください。	単一回答

・ピアサポーターとして「活動している」は、5.5%、「活動していない」が84.0%であった。

・「活動していない」と回答した方のうち、今後活動したいと思う方は、20.4%であった。

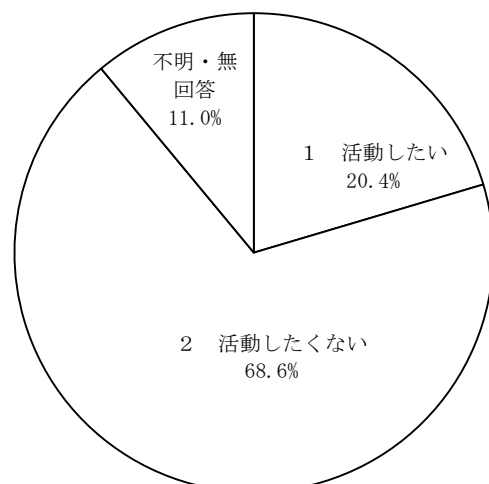
問 4 1 ピアサポーターとしての活動の有無

1 活動している	56	5.5%
2 活動していない	857	84.0%
3 不明・無回答	107	10.5%
合計	1,020	100.0%



問 4 1（ア） 今後ピアサポーターとして活動したいかどうか

1 活動したい	174	20.4%
2 活動したくない	585	68.6%
3 不明・無回答	94	11.0%
合計	853	100.0%

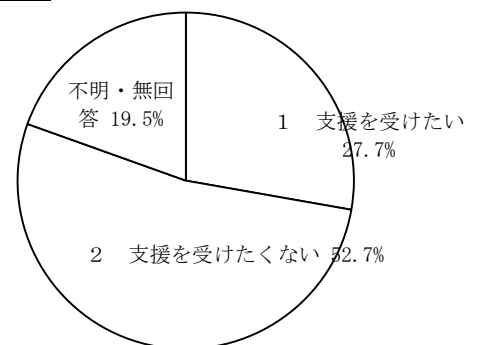


問42 あなた（調査の対象となる方）は、今後、ピアサポーターからの支援を受けたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
問42（ア）【「1 支援を受けたい」と答えた方】 どのような活動にピアサポーターが必要だと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答

- ・ピアサポーターから「支援を受けたい」方は、27.7%、「支援を受けたくない方」は、52.7%となった。
- ・どのような活動にピアサポーターが必要かについては、「生活上の相談や就労に関する相談を受ける活動（ピアカウンセリング）」が56.9%、「障害福祉サービス事業所等で利用者を指導する指導員など、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関などで働く職員（ピアスタッフ）」が44.2%となった。

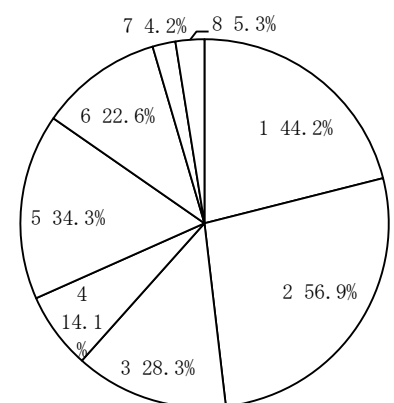
問42 ピアサポーターからの支援

1 支援を受けたい	283	27.7%
2 支援を受けたくない	538	52.7%
3 不明・無回答	199	19.5%
合計	1,020	100.0%



問42（ア） どのような活動にピアサポーターが必要か

1 障害福祉サービス事業所等で利用者を指導する指導員など、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関などで働く職員（ピアスタッフ）	125	44.2%
2 生活上の相談や就労に関する相談を受ける活動（ピアカウンセリング）	161	56.9%
3 自宅を訪問し支援を行う活動（ピアヘルパー）	80	28.3%
4 病院を訪問し退院支援を行う活動（地域移行推進員）	40	14.1%
5 自助グループなど、グループで相談をしたり、相互理解や支援をし合う、自主的なグループ活動	97	34.3%
6 学校や学会、勉強会などで自身の体験を語る講演活動	64	22.6%
7 その他	12	4.2%
8 不明・無回答	15	5.3%
合計	594	209.9%



問43 あなた(調査の対象となる方)が感じている生活のしづらさ、 困っていること等がありましたら、ご自由に記入してください。	記述回答
---	------

- ・親亡き後の生活についての不安に関する記載が多い。
- ・障害福祉サービスの更なる充実に関する記載も多い。

問43 生活のしづらさ、困っていること

高齢化が進む世の中、毎日の生活は何とか障害者として生活自立して、暮らしている。が、今一番悩ましいのが、自治会の問題で、住人に負担を強いられている。障害者だと訴えても、会長等の使役が回ってくる。今の状況では、自治会そのものが消滅してしまう。この調査では関係ないかもしれないが。精神的にかなりの%で負担を感じている。 自治会なしで運営できる、それに変わるもの、行政が示してほしい。
自宅2階で生活しており、外出するのに必ずヘルパーを必要とする。
自分の代わりに、掃除や洗濯など身の回りの世話をしたい
グループホームが終いの家になるのか？と不安になる。 重度重複障害のある人への支援職員の確保が難しい。 何故か？制度の一層の充足化が欲しい。 特にコロナ禍の中での職員（支援者）の頑張り・努力に対してあまりにも過酷な日々への報酬が少なすぎると思います。 また、加齢や病気で障害の重度化が進む中での GH 生活には今後必ず医療がより多く必要となると思いますが、医療との連携がスムーズに充実する方法を一緒に考えて下さい。
鬱で苦しい時、死ぬほどしんどい。 苦しくて何もできず寝たきりになる。働けたり、働けなかったり、障害のせいで18才の頃から苦しんでる。何とかならないものか？ これ、読んでどーするん？何かしてくれるの？
よろしくお願い致します。
コミュニケーションに問題があるので、10年後、20年後は心配がいっぱいあります。 一人暮らしができて、サポートしてもらうところが近くにあって、そんな都合の良いところがほしいとぼんやり考えています。 身につける事・お金・料理・生活・いろいろ少しずつできるようにしていきたいけど、親がさっさとやってしまうのが現実です。
コロナ感染が不安でバスに乗れない。 マスクをしてない人が増えてつらい。 店や病院で人とやりとりするのが怖い。 働ききっかけや社会参加がしたいけどわからない。きっかけがなくてつらい。 毎日生活するのがしんどい。つらい。
支援学校での友達からのトラブルがきっかけで自閉症スペクトラムの症状が悪化し、自傷など自分の感情がコントロールできなくなり薬を常用しなければならなくなる。 不登校になり放デイも嫌がるが、障害のある子供が行けるフリースクール的な所もなく居場所が見つけられない。 このままだと障害者のひきこもりになってしまう。
交通の便利が悪いのでタクシー代が掛かり、困ります。
支援学校を卒業後、就労B型を希望しています。

送迎サービスのある事業所が少なく困っています。 また、10 時からの勤務が多く、親としては、もう少し早めの時間からの希望をお願いしたいです。（8 時 30 分や 9 時から） 賃金も安く、不安です。良心的な所は 1 ヶ月 15000 円前後で、ボーナスも 1 年に 2 回程度出るところもありますが、ひどい所は 1 日 90 円という所もありました。 さすがにそれだとやる気も出ないと思います。 1 人 1 人能力も違うでしょうが、賃金を上げてほしいです。 2～3 万あれば、嬉しいです。 親亡き後のことを考えると、少しでも多くの賃金を希望します。
目が見づらい（緑内障）のに、手書きのアンケートは大変で困る。
年齢を重ねるごとに体がうまく動かなくなり、つらいことが増してきました。 簡単な体操が出来たらいいと思っていますが、1 人ではなかなか持続がうまくいきません。
本人が記入するのは難しすぎます。問いの内容が理解できません。親でも考える所がたくさんありました。 現在、支援学校に通っていますが、支援学校では障害の子と一緒にいるため、地域の学校（育成学級）から高校に上がった時、今までの学力が全く維持できません。職業訓練校と支援学校の中間のような支援を望みます。障害があるから学生生活もなく、高校を卒業したらすぐ仕事に就くというのも納得がいきません。障害のある子でも同じような楽しみを持ちながら人生を歩めるような社会を築いてほしいです。
親が高齢になり、自分で生きていくことが意外と困難だった
今後、親が死んだ後のこと
特に有りません。
卒後の生活介護事業所に医療的ケアをサポートしてもらえる所がない（少ない）。 医療的ケア児者のショートステイできる医療機関、事業所が市内に全くない。
私は、双極性感情障害です。30 歳で発病してから、この 30 年間、障害を持ちながら働いてきましたが、うつが発病してどの仕事もあり長くは続きませんでした。それでもまた、次々と仕事を見つけてきては働きました。この夏まで資格を生かし、幼稚園教諭として働きましたが、60 を区切りに仕事を辞め、デイケアに通うことにしました。 私が困っていることは、やはり生活費のことです。働いても生保にたくさんとられました。何のために働いているのかよくわかりませんでした。働くのを辞めても苦しい生活です。去年は冷蔵庫がつぶれたり、電動自転車のメンテナンスをしなければなりません。そういう時のお金が湧いてこないのです。ぎりぎりの生活だから。お釜がつぶれたらどうしようとかハラハラ生活です。時々、給付金があれば助かります。基本は生保代を上げてほしいです。元々ぐんと下げられたのだから。よろしくお願いします。
親亡き後、1 人で生活していけるサポートがほしい。 1 人ではできないことも少しの声かけや、一緒に手伝ってもらえることでできることがたくさんある。 障害者と大きくひとくくりにするのではなく、1 人 1 人に合ったサポートをしてもらえるシステムを確立してほしい。 「人」としての生活を守ってほしい。親以外に守ってあげられる人がいない現状が、つらい。
障害があるために新卒就職に苦労した。 学生の頃知識がなかった。

特に無い。
膝が悪くて手術したら杖だけでは階段の乗り降りできないで困っている。買い物も杖だけでは歩行が困難な時があったこと。 目も緑内障で病院に通って困っていること。目が見えなくなると点字を覚えなくてはいけないなど困る。足腰、目が悪いと先が見えないほどどうしていいか悩んでしまう始末。
障害者なので、仕事が見つからない。採用されない。
思っていることが上手く伝わらない、言われたことの理解が乏しいなどの理由で、トラブル（職場で）が起こりやすい。 相談員の人が間に入ってくれるが、イライラすることが多い。
コンサート等が好きですが、声を出してしまうので参加できる所が少ない。音楽や習い事、ジムなど、定期的に通える所が少ない。もっと楽しめる場所がほしい。
緊急時に何日間か預かって頂ける施設が絶対に必要です。 ショートステイは利用していますが、1ヶ月以上前から利用申し込みが必要で急遽の利用は無理です。 年齢的に支援者（母親）が親の介護、最期、看取りの時にも思い通りに行動できずに苦しい思いをしました。 是非とも緊急時の制度を整えてほしいと思います。
学校での学びを続け、小、中、高、大学と進学を考えているが、小、中は育成学級があるが高校での学びが不安。（移動支援も使えない上、介助が生活面で必要であり、今のままでは選択の自由も学びの支援も覚束ない） 通学の将来的な移動支援は考慮頂きたいです。（肢体不自由に加えててんかんもありますので、1人で電動車椅子での移動は考えにくいので） 筋力が弱いためにディスレクシア、ディスグラフィアと同じ学習面での困難さを抱えている。京都府の学習支援が優れているのに対して、京都市は支援の遅れがあることを耳にし、実際に感じている。letを利用できる環境にありながら、学校での学びの中での活用しきれていない。京都府や進んだ自治体の方法をもっと学び、意欲的に取り入れてほしい。コロナで1人1台のPCがある環境下、活用や配慮にそれほど予算が入り用とも思われず、残念です。（福祉課に関係がないということで、棄却されそうですが…）
アパートで住んでいますが、夜が一人でするので不安です。恋人と呼べる人、助けてはもらっていますが、ガス、火関係、一人では怖いです。時間かけないと理解できない部分があります。
障害者の指定をしてもらい、原因の病気に対しては特定医療費の受給者証を発行してもらっていますが、他の疾患で定期的に医療機関に掛かっている分に関しては一般の人と同じ金額を支払うことが大変に思っています。
（発達障害が）身障のように明確さが無いことや、ぱっと見健全者に見えるため、理解が得にくいと感じる。 そもそも、発達障害が身障、知障と同じように手帳をもらっているのかということや、生きづらさはあるが、日常生活できている分、発達障害が障害と言えるのか、自分は本当に障害者なのかとモヤモヤすることがある。
今は介護サービスが進んでいますが、少し元気な人でも年齢で色々サービスを受けています。時々話の中で長い間介護保険料を多く支払ったので使わないかなとの話です。 本当に不自由な、困った人が日々の生活を楽にするべきです。少しの介護で障害手帳を受け取り、国のサービスを使っている人も有ります。

2人暮らしの場合一番心配なのは、介護をしている相手が80過ぎの場合が多く、その奥さんが病気、ケガをして入院した場合は、主人・介護者を一人で置くことが出来ずこの場合大変困りました。 2年前私が10日間入院して、その場合近所の方、主人の妹等々、主人の生活をお願いしました。とても大変でした。すぐに10日～1ヶ月位介護者をお世話下さる所、また人が有ればと思いました。今は一番心配です。
昔、犯罪的行為があったため、ある程度時間が掛からないと人間関係が難しいことです。
ADHDによる記憶障害に対し、家族からアホ呼ばわりされること。 ADHDによる記憶障害に対し、高校での生活に支障が出ていること。
体力の低下、息切れなど
役所の調査協力はしますが、この記述内容がわかりづらい説明が多く、年配で障害のある方は不親切です。簡単でわかりやすいものでお願いします。
自立したい気持ちでいっぱいです。今は歩くことが不安で、杖や車いすがあればと思います。経済的に大変です。生苦しく感じることがあります。
就労において障害特性によるそれまでの生活の維持が親、子どもに困難になること。支援学校でも対応してもえないことから、通学や給食の摂取ができなくなってしまう。という事が生じる。 外出時のバリアフリー問題やオムツ替えスペースがない（多機能トイレが増えてるのはありがたいが、大人用簡易台がある施設は少ない）。 駐車場がない、車移動が必須だがマンションに駐車場はなく、近くもいっぱいで止めるところがない。 子ども対応のヘルパーさんの人材不足。
うちの子は重い知的障害のある自閉症児です。（言語なし）今は支援学校に行き、親子共々手厚く、学校の先生やデイの先生に支えてもらっています。しかし、卒業後の進路の選択肢が極端に減り、心情としては荒野にほっぽり出される気分です。将来のことを考えると、早めの自立こそが親なき後を生きやすくさせるのだと思います。そのためにも重い障害のある子のグループホームとデイサービスの拡充を願ってやみません。どうぞよろしくお願い申し上げます。
漢字が読めないためわからん事だらけです。読み書きができないため、字を書くのは嫌です。
障害者年金はいただいているのですが、現在いただけている額ではひとり暮らしはなかなか難しいです。もっと支援していただきたい。親の私たちもいつまでも若くはありませんし、いつまで子ども（現在42才）の面倒を看ることができるのか不安です。
今は重度障害者用の医療費支給もいただいているので、月々の通院も助けていただいております。ですが、同じ難聴の障害児でも補聴器装用の児童と人工内耳装用の児童で支援に差があることを少し残念に思っています。確かに機会そのもの値段への、初期費用への支援の差がそもそもあったありというのは理解出来るのですが、電池代や特に小児のイヤーマールドなど「機械の特性上成人は不要でも小児には必要なもの」へのランニングコストへの支援が十分でないと感じております。そこにどうして差ができるのか。区役所の方の説明も療育先の先生の説明も「人工内耳の機械の特性だから」という説明で、とても現状に促した説明にはなっておらず、納得がいかないまま今に至ります。充電電池も空気電池も、補聴器だけではなく人工内耳だって使えば減るのは同じです。うっかり電池が切れてしまって聞こえなくなる度合いが高くなるリスクはむしろ人工内耳装用児の方が高いでしょう。イヤーマールドだって動きも激しく、身体そのものに対して機械が大きく安定しづらい小児にとって人工内耳装用児にも必要な消耗品です。助成への考え方の再検討をお願いします。

成人が18才に引き下げられ、障害を持っている子供にとっては責任の重さがのしかかる。地域の障害児に対する偏見の目が辛い。
就職できるか不安。
今は親と同居して親に支援をしてもらいながら障害者雇用で働いています。でも、親も高齢で年金生活者なので、いつまでも親を頼ることができなくなり、将来のことが不安になります。今は親しか頼る人がいないので親が亡くなった時、どこに相談にいけばいいのか分らず困ります。また急に親が亡くなった時1人で葬式や死後の手続きをどのようにしたらいいのかわからず、そういう時はどのようにしたらいいのか、どこに相談したらいいのかわからず困ります。1人になった時に近くでわからないことや困ったことなど、教えてくれたり支援してくれるところがあれば教えてほしいです。
コミュニケーション、協調性、空気をよむが難しい。生活に支障はほぼなくなりましたが、社会にでると多分うまくいかないことが多々出てくると思います。本人（18才）は、手帳は持っていますが、使いたがらず、最近少し自覚はしてきたようですが、避けています。開き直っている部分もありますが、将来は不安です。
10年前に結婚しました。自分が毎日生きるだけで精一杯なのですが、配偶者が全く理解しておらず子供3人を産みました。子供が泣くとイライラし無茶苦茶な生活が始まりました。毎日子育てのストレスで一杯一杯で、もはや教育などできません。早く大きくなって出て行ってほしいと思ってしまいます。イライラすると沢山食べてしまう時もあり、しんどい中幼稚園に娘を送る時もあります。私が自立できていないのに、もはや子供なんて育てられません。配偶者とは4年前から普通に接しられなくなり、同じ空間にもいられません。子供でイライラし配偶者が毎日家に帰って来るストレスは計り知れません。会いたくないので逃げるように布団にもぐりこみます。病気のストレス+子供ストレス+配偶者のストレスで時々おかしくなります。ここ何年か同じ先生に診てもらっていますが摂食障害専門の先生ではないのでほとんど何も変わりません。人生の半分以上病気で何のために生きているのかよく分らないです。このまま年をとって死んでいくのかと思うと私の人生って何だったのだろう。何のために生まれてきたのか分らなくなります。
重度障害者・児は生きづらい世の中と思う。福祉全般、人手不足、介護が十分に受けられない（ヘルパーさんの成り手がないと）福祉に携わっておられる皆さまには深く感謝はいたしております！！
支援サポートの内容が不十分で困った。ヘルパーなどの手助け支援が十分ではなく利用しにくい。もっと深く、多く手助けしてほしい。ヘルパーを頼らない様に心がけている。十分な支援を望んでいます。
ラトケのう胞の手術入院をきっかけに、難病だとわかり約2年。主治医の先生とも色々相談し、定期通院、服薬、自己注射、カウンセリングなどを続けているのですが、なかなか病気と上手につきあうことができず・・・今も倦怠感、食欲不振、ふわふわ、関節痛、腹痛、不正出血等、体調が優れない日が続く、起きられず食べれない日も多く、エネルギー切れで体も気持ちも動かず、落ち着かず「布団亀」状態で、家族（両親）にほぼ全てを頼り、ゆっくりペースで毎日を家で過ごしています。とりあえず「だるさの着ぐるみ」に体が慣れて少しでも軽く感じるように、少しでも動けるようになりたいと思っているのですが、体調のコントロールが自分でもなんとも難しく・・・両親にも甘えるばかりで・・・。あと、同じ難病の方と出会ったり、話したりする機会が今までに数回しかなく病状や症状、治療や日々の生活等の情報交換の機会があれば色々教えていただきたいのですが・・・。今は、何事にも感謝の気持ちを大切に日々過ごしたいと思うぐらいしかできませんが、来年が穏やかな1年でありますように・・・と願いも込めて。提出が遅くなり誠に申し訳

ごいません。2022/12/27
学校の施設が古い、改修を行っても車いすでの利用は安全でない。ユニバーサルデザインの学校が増えてきていることは喜ばしいが、必要としている人に届いていない。肢体不自由児の区域外就学を認めてほしい。
人工内耳の負担額が多く、もっと補助があればと思う。都道府県によって補助の内容にバラつきがありすぎだと思う。今は人工内耳をしている児童が増えているので考えてほしいです。
今年、2回長所入所の面接に行きましたが2回ともことわれました(京都、奈良)市長さんには是非長所入所施設の設立、又は施設の増員を(ふれあいの里、更正園)是非ともお願いいたします。
ピアサポーターとしての活動は年齢的、体てきにしたいくても出来ない 気持ちだけは何か出来たらと思う
就労支援継支援の作業所で知的障害者と精神障害者の方が同時に入所している時、対応される職員さんに知識のない方が多く、個々に適応した対応をしてくれません。又、精神障害者のある移園者さんから知的障害のある所園者さんへの影響も良くないものがあります。知的障害者にとってもむづかしい話をされたり、職員さんと大きな声でけんかをされると、悪い環境になり、仕事をやめました。知的障害者だけの作業所が少ないです。
知的障害を伴う自閉症を持つ女子(20才)の母です。感覚過敏が激しく、音、におい、光、味、言葉のニュアンスなどに、いちいち鋭く反応してしまい、日常生活でも多大なエネルギーを使って、体調面も疲れやすいため、その日にならないと外出できる状態かどうかわかりません。 今は母である私が、本人の状態に合わせながら、穏やかに過ごさせています。家事をよく手伝ってくれますし、留守番も2,3時間ならできるので、私も息抜きしながら、楽しく暮らしています。親亡き後のことが、一番の気がかりです。できれば、私の老後に彼女と一緒に入居できる施設があれば良いなあと考えています。グループではどうしてもしんどい特性があるので、個別で対応いただける何かが必要になってしまいます。
近くに薬局があればもっと気軽に服薬の相談や助言のサポートを得られると思う。 近くにコンビニエンスストアがないので、急な買い物の時に苦労している。(徒歩30分近にコンビニがあるがコンビニエンスな距離とは言えない。) 障害者でも気軽な外出が楽しめるように交通機関の拡張を求める。(京都市バスが減便となり大変困っている。)
近所の方々やまわりの方も良い人達で別に困っている事はありません。 障害者としてではなく高齢者として中京区地域介護予防推進センターの先生方に色々の教室で体操や認知予防等でお世話になっております。その中の公園体操のボランティアとしてやらせてもらっています。
これ以上悪くならない為にリハビリをうけたいがどこに言ったら良いのかわからない。
エレベーターに乗る際、障害者、ベビーカーが優先にもかかわらず、ゆずってくれない。 ・地下鉄回駅のエレベーターの位置が悪い。有人改札口にないのでかなり遠回りしないといけない。 保育園は障害のありなしにかかわらず、皆同じところで教育しているのが、小学校以降、障害と健常者がわけられて教育、育っていく環境にとっても疑問を感じる。このために、日本は未だに差別が強く根付いていると思う。
質問の中身に疑問を感じる。病気だが、ふつうに生活している。
私はうつと発達障害がありますが、最初一番困ったのは自分がどのような不自由なところ、障害の特性があるのか分らなかったこと、次に家族(母)が病気そのものを理解するまでに時間がかかったことです。その時に第三者の方が説明して下さったり、入って下さると助かったなと思いま

す。私は配偶者も発達で、母も障害があるので、支え合いながらくらしています。なかなか体調が優れない日も多いので、ドミノ倒しのようにならないか心配しています。40才を前にして子を望んでいますが、通院(不妊専門)そのものが遠くて大変で体調を崩してしまいました。車がないのでバス、地下鉄を利用しているので、今後どうしようか困っているところです。ずっと仕事をしてきたのに異動が重なり、発達のせいで2次障害を発症してうつになりました。体力がないので何度か仕事にトライしましたが、慣れるまでに時間がかかってしまいサポートを受けましたが就業にこぎつけられませんでした。会社でパワーハラスメントを受けていたというのがありますが、人間不信になり、なかなか社会で人とかかわる事が難しいです。そうしているうちに10年ブランクが開いてしまったので何からしていいかわからなくなっています。家や近所で長い目で見てもらえる仕事があればやりたいです。
今後コロナ禍がいつまで続くか見通しがつかない状況で親子共に感染したらどんな支援が受けられるか、また支援を受けられるのかという不安があります。私(母)も今年リウマチを発症して感染症にかかると重症化しやすいため、介護者が不在になったときに母子家庭のため本人がどうなるのか不安です。
講演や行事など難聴者の支援が少ない(情報保障)差別解消法では合理的配慮を行うようになっているが実際はまだまです。やはり当事者が合理的配慮を求めてなくても情報保障は当たり前になる社会になってほしい。
こういうアンケートに答えるのが辛い。大変専門的で答えづらくわかりにくい。回答者(私)は調査対象者の兄である。父は令和4年11月19日に亡くなり、母は特養に入り1年半になり認知症が厳しい。こんな詳しいことは聞いてないし、間違っているところもあるかもしれない。このようなアンケートがどの程度役に立ち、どの程度精査され出来上がったものか知らないが大きな負担である。本人が答えられるはずがない!
全ての面において生活どころか生きるそのものが辛く感じます。 いわゆる経済的なところの負担がコロナ以降増え、家賃も一気に増えて困っています。(国保料等も) 最低賃金が上がってもそれ以上に負担が増え、実質手取りが減っている状況。
今、本人は16才です。幼いころより明らかな知的遅れがあり、小学生になり家で留守番ができるようになってからも、近隣の人から1人にさせることへの不安(火事など)を言われなかなかさせにくいことがありました。その様子から、遠巻きにされるようなことも多々あります。今後は親亡きあとどうやって生きていくのが大きな心配です。本人も不安に思っていますが、どうしていいものかわかっていません。自分で動かなければ受けられない(知ることすれできない)福祉だと一生受けられず困った状態で路頭に迷うだろうと思います。また、幼少期より療育も受け、発達検査も受けながら療育手帳の取得が10才以降と遅くなったのは「取っても取らなくてもよい」「特に取ること得られることはない」と言われたからです。取得していけば税の空除などもあったと知り、あのときその時の担当者の知識や説明で大きな差が生まれることは憤りを感じます。18才では児相以降は包括センターと相談機関が移行しますが、親亡き後や、生きていても説明ができなくなった時等で振り返りができなくなる不安もあります。生育歴をまとめておく必要は感じていますが、本人のパーソナリティが今後受ける福祉の手に常に帯同するようなシステムがあれば嬉しいです。
小学生のため具体的に考えていない。困りごとは親や学校の先生の声掛けがないと認識できない。
地域住民の方が障害者に対する理解を深めてほしい。障害者をバカにしたような言い方をする

人もいるのでとても嫌な気持ちになる。
療育→保育園→小学校(普通学校)→中学校(普通学校)→支援学校高等部(現在)であるが、学校がしんどいようで不登校傾向がある。自主通学なので、市バスで昼頃に毎日登校している。地域の学校の同年代の子どもと過ごせた保育園と小中学校が本当に楽しかったようで、支援学校になれることができず辛そうにしている。放課後デイサービスは行きたいようで長期休みは活き活きと過ごせている。手厚ければ、本人にとって良いというわけではないと感じている。インクルーシブ教育を推し進めてほしい。学校で本人が求めているのは、教職員との関わりではなく、友達とのつながりである。今の学校は教職員が多く、疲れてしまうのか、登校すれば、課題をこなして淡々と過ごしているようだ。悪い学校ではないのだが、この学校しか行けないから通っている感じだ。他府県にあるような同じ敷地に、普通の学校と支援学校がある支援者をつけてもらって普通の学校へ行く等、多様な学びの場所があればいいと思う。(母より)
今のところ別に無し。
今のところ何もありません
幻聴、不安感、食欲不振、睡眠障害、感情障害があり、一日中家で過ごすことが多く、通院以外外出ができず、引きこもり状態が2年続いています。散歩もできず、公共交通機関(電車、バス)にも乗れません。
放課後デイサービスが18歳で終わってしまうのが困ります。移動支援に登下校に使えないのが困ります。就労継続支援B型に通勤する場合、送迎が出来ないので一人でも行けないので送迎してもらえないと困ります。
卒業後の進路を決めるにも、施設がすでに満員であるため選択肢が少ない。施設側より障害による問題行動があることに對し改善を求められた。
障害を抱えて日常生活をおくっている人が多いと思う。同じような人と「こういう時どうしているか？」と相談しあいたいが、自助グループのようなところがどこにあるかわからない。また自分にはどんなサポートが受けられるのかも知らない。 障害者サービスの冊子を最初にもらったが、受けたいものが在ったら言ってくださいという感じで、能動的な感じがした。聴覚障害者にはこんなサービスがありますとまとまっているものを教えてくれる方が助かる。10年ほどかけて聴力が落ち、やっと手帳を取得した。その間にすでに補聴器は取得して使っていたので、福祉サービスを使ってつくらなかった。急に聴力が落ちた人でない限りそういう人は多いと思う。そのため、補聴器を修理する時は実費で何万円もかかる。福祉サービスで補聴器を作った人には補助が出て、元から持っている人は出ないのは不公平だなどと思うし、補聴器を1つ登録制にして、それを維持する電池代や修理代などのお金をサポートしてほしいと思う。最近左耳に人工内耳を入れたが、聴力障害の中に補聴器のサポートはあっても人工内耳のサポートはないと言われた。他府県ではあるのに京都市はないのが不満です。問い合わせの方法が電話のみのところが多いし聴覚障害者は周りから障害がわかりにくいので、耳マークをもっと普及させてほしい。出かけるたびに「私は耳が不自由なので筆談してください」と言わないといけなし、コロナを気にしてペンを渡しづらい。筆談するものがすぐ手元にある場所が少なく気を使う。出かける時に代わりに聞いてくれる人のサポートが簡単に受けられたり、メールやWEB申込み等、電話以外の問い合わせ方法が増えると嬉しい。
生きているのがしんどい
日常生活用具として紙おむつを支給してもらっていますが、紙おむつが値上げして枚数が足りなくて困っています。西京区役所に相談しても足りない分は実費と言われました。
車の運転は出来るので、車が外出の唯一の手段ですが、家にガレージがなく50mくらい離れた

駐車場を借りており、妻に家の前まで車を持ってきてもらい乗車している。駐車禁止除外車証は持っていますが、家の前に止めておくことができないため不便を感じています。妻はバックが苦手です。駐車場へ戻すのは自分がやる。駐車場から家まで妻に手助けしてもらいながら帰ります。駐車禁止除外車証をもっと実使用できるようにしてほしい。
ホームヘルパーさんに来てほしい
小学校の就学にあたり「障害にかかわる子どもの教育電話相談」を利用したが、年配の男性に「地域の学校の校長先生に相談してください」と言われて終わった。利用者は将来が不安で相談している。カウンセリングと異なることは理解できるが、もう少し利用者に添いニーズに対する例を紹介するなど相談に重点を置いた事業になってほしい。土曜日でも実施してもらえるとありがたい。車いす購入の補助の上限をあげてほしい。車いすに胸ベルトや座面クッションの形成をしてもらおうと車いすの枠では購入できず、座位保持装置の枠で購入した。別途、座位保持装置を購入したかったが諦めた。
物価が上がっているのに生活保護費が上がらないので経済的に苦しいです。
住んでいる地域の遠い家庭環境の遠い病気の進行程度により変化するため、困ったときの SOS 連絡先を預けて頂いて即対応頂ける体制があれば、安心して生活できる。遠方の親を京都でお世話する時などのサポート・相談窓口の充実。
減黙傾向のある発達障害を持っておりますが、幸い通信機器の発達により、それらを活用することで不自由なく意志を伝えることが出来ております。
今、現在 17 歳で特別支援学校に通っています。男児です。これは母親が書いています。中学 2 年生の時に、強度行動障害による母への暴力が原因で施設入所しました。現在の入所施設が 18 歳までなので、高校卒業後の行先探しに困っています。強度行動障害のため、グループホームで生活するのは難しいと思います。施設入所しながらも、日中どこかへ通えるような暮らしができれば親としては理想です。施設入所前はたくさんの福祉サービスを利用させていただき、本当にありがたかったです。今後ともよろしくお願い致します。
療育手帳で電車に乗るときに、駅員さんに表示しなくてはいけない。その入り口はよく人が立っていて出入りしにくいし、表示する場所に人がよく立っているからみんなと一緒に、自動改札を通れるようにしてほしい。ヘルパーさん不足で困る。途中で障害と言われても何が何だか。分かったときにまず、どんな障害で 1 つ 1 つ丁寧に教えてほしいのと、これからの生き方についてゆっくりと丁寧に支援して欲しい。急に発達障害こんなではとか急に言われて普通の生活が困難だったのに。(それをしないと いじめにあったりして大変な思いできた。) 急に 180° 違う生活をしようと言われてもとてもしんどい。10 年作業所行って人とかかわりはしんどいと自分で分かってやめた。それまでここでしか見てもらうところないと言われ続けて辛抱したけど、結局しんどくなって、無理とわかりやめた。途中から分かった人のケアをちゃんとして欲しい。
障害のある方も安心して過ごせる社会にしてほしい。弱いもののいじめのように見て見ぬふりや、知識のない (あっても向いていない方) が放デイだったり、移動支援等のスタッフだったりという場所もあります。どこに相談したらいいのかもわかりません。
母が亡くなり、今の年金の金額では生活がしていけない。生活保護も今のところ出来ない。持家だし定期預金あるし。田が亡くなった今は年金が入るか分からないけど、生活保護が受けられるかどうか。お母さんとお父さんの亡くなったお金と自分の年金とでやっていければいいなと思っています。
経済面の不安。補助人(経済)を依頼するためにもお金がかかるので補助があると助かる。引越した後、生活のしづらさを感じており、周囲の環境に慣れるまでの福祉サービス(ヘルパー)

の充実があれば助かる。臨時的に困ったことがあった時にヘルパーさんに来てもらえるような福祉サービスがあれば助かる。収入があっても、生活保護費から減らされることがない方がいい。（物価も上昇しているので）
今のところ具合よいので、痛みとかがまんすれば普通に暮らしてゆけます。悪くなった時の事はその時にお世話になります。今は皆（ヘルパーさん、お医者さん、看護婦さん）にお世話になりながらで、感謝しております。三回目の癌にもなりましたがまだ直ってませんが、一年間通って一人でやってゆきお金がすごくかかりましたが全部なんとかやって行けました。
見た目が分からない障害のため、配慮をお願いするのに説明が必要だが、上手く自分では言葉にできない。ヘルプマークは差別があるような話を聞くのでつけない
障害者に対する医療費助成等が全国市町村一律で無いので国が統一して定めて欲しい
警察官に障害者に関する知識のなさに困っている。通勤時や外出時にマナーの悪い人を注意するが障害者ゆえ言い返された時等にトラブルとなる。この時、後の対応の悪い部分だけが切り取られて、障害者が悪者として評価され、個人の個別監視の対象リストに載ってしまっている。健常者が見て見ぬ振りをする事象等にも注意しているにも係らず障害者への知識不足の警察官が非常に多く【ほぼ全員】本当に悪者というレッテルを貼られている。この件は本当に真剣に啓蒙に実施を強く要望します。
住んでいる町内で自尊心を傷付ける人が度々います。特に夕方から夜中に大声で話声が聞こえてマンションの人や町内の人が寝れていない状況で晴れてる日は毎日、皆、睡眠不足です。午後から少し大声で子供に言わせたり、男女の声で話声が聞こえる。まめに町内見回りしてほしいです。大声で話している人達に注意を払って欲しいです。警察の人達にも見回りしてほしい位です。
コロナで外出ができなくなって家族でいざこざが多くなりお互いがストレスを感じけんかが絶えなくなりました。コミュニケーション力が弱い人ため人の顔色がよめなくて親切にされるとすぐ信用してトラブルに巻き込まれることも多く人とのキョリ間もわかりづらいので人とのコミュニケーションの撮り方にやりづらさがある。学校でも同様、先生とのコミュニケーションもむずかしい。全体的に先生にももっと発達障害のある子供の対応を出来るようにしてほしい。特に中学校の時強くそう思った。公立の先生・学校へ強くそう思います。コロナワクチンは注射が恐くてうてません。
特にありませんが、家族に行動の制限を受けることが煩わしいと感じる時がある。
サービスが「市栄位」になりすぎていないでしょうか？長男の高校卒業後の支援、特に入所施設などについても、市外・県外については全く対応いただけず、親が手探りで市外・県外の施設を訪問して面談を繰り返して、段取りをつけました。長男のように強い自閉症の場合「向き不向き」もあり、また市内の入所施設には空きがなくて「100人待ちだよ」と言われている中で、他市・他県も含めて考える必要があるところですが、全くサポートを得られず、大変苦しみました。幸いにして福知山の入所施設でケアをいただいております、現状について大変満足しているのですが、今回のアンケートの機会をいただき、当時の心細く苦しかったことを思い出し、市や県の「ワク」とらわれたセクト主義な（？）行政サービスに対して、ぜひとも他市・他県との柔軟な連携を促進して、苦しんでいる障害者に広く速やかに支援のサービスが届くことを期待します。 少し離れた話になりますが、長男が「行方不明」になった際に、京都市では市内・県内に連携していただいたのでしょうか。長男は「奈良」で見つかりました。なぜ近くの県にも問い合わせただけなかったのか、知的障害のある長男が冬の夜中に不安な時間を過ごしていたことを思い、大変悔しい思いをしました。これは警察の話ではありますが、市・県に区切ったセクト主義的な対応で困ったことの例として思い出しました。

ご検討いただきたく、お願いいたします。
自分一人の時間を持て余してしまう。字も読めず、時計もわからず、何をいつまでにしたらいいのか見通しが立てられないと不安でイライラしてしまう。構って欲しくて、以前やったときに相手の反応を得られた行為を繰り返して相手の反応を伺うのが時には相手をひどく怒らせてしまう。相手に構って欲しい時、相手に仕上げ歯磨きなどで顔を触られた時、服の裏表を指摘されたり、直されたりした時、叩いたり、蹴ったり、物を投げたり、壁を蹴ったりしてしまう。怒られても自分を止められない。加減が分からないので、相手に重傷を負わせたり、相手の大切なものや家を壊してしまう。外に行きたくなくて一人で飛び出していき、見つけられて叱られるけど、なんで叱られるのか分からない。
整骨院で、「テレビを見るな」「スーパーに行くな」と患者さんに言われたことが嫌でした。北陸新幹線は、京都駅付近ですが、桂から山科までの範囲を受け入れます。地下鉄東西線は、烏丸御池行きの電車の運行を受け入れます。
８６歳になりますが、今後どうなるか心配です。
医療費がもう少し少なければありがたいなと思います。
公共施設や神社仏閣などで、いまだに手帳に対する割引などがないところがあるので、とても残念です。どんどん増やしてください。移動支援を実際に利用しているのですが、市バスや地下鉄を利用する際、支援者様の運賃は通常の料金を支払っています。移動支援を利用している人々へは福祉乗車証の介助者を含めたものを作って欲しいです。療育手帳のサービスを利用する際に、私はＢの２種なのですが、Ａのみの方や１種のみの方しか受けられないサービスがありますが、私はこの壁を撤廃して全ての方が同じようにしていただけるようにすべきだと強く思います。私は障害者雇用で企業就職して９年ほど勤続できています。雇用企業のみに対して補助金を支援するのではなく、本人の賃金に対しても付与すべきだと思います。私自身知的を持っていますが、周りになかなか伝わりにくく、様々な時に苦労しました。知的のかただと気づいてもらえるように、ヘルプカードのようなものを作って欲しいです。身体や精神の方と比べると知的の方はメディアなどでも報道されません。新聞や報道でもっともっと知的の方に対しても取り上げて欲しいです。
親亡き後の生活への移行のタイミング。
聴覚障害者に対しては、手話ドラマや字幕放送などもあり、市民の人たちにはかなり理解が高まったと思う。スマホなどの発達がすごいので、音声変換アプリがとても手助けになる。でも高齢者には、まだまだ普及していないので、もっと安く便利な変換器があればいいと思う。災害時に対しては、かなり不安も感じるが、電気が使えなくてもソーラーとかで充電される機器があれば、情報が得られるので、そういうものがあればいいと思う。
今はまだ小さいので未来はわかりませんが、このまま京都で障害のある私の子供を育てていくのには不安しかありません。財政破綻してしまったら社会的立場の弱い高齢者、障害者の人は生活していけるのでしょうか。観光業にばかり金を使ってしまった京都にはがっかりです。もっと市民の声、しっかり聞いてください。京都で毎日生活するのは京都市民なのですから。
単身者の寂しさ。
年少期はおとなしく、静かな子であったが青年期頃から自我が強くなり思い通りにならないと親(記入者)に反抗、暴行し手に負えない状態になる。通所施設ではある程度聞きわけが出来るが、家ではわがままになってしまっている。成人なので親から離れてグループホームに入所してやり直して欲しいが、京都はなかなか施設に空きがなく、他府県にまで探している状態。他府県はまだ京都に比べれば空きはあるがその土地に住むことが条件であったりするので困難なことが多い。

京都ではそれらのことを恥だと思ってもっと増やしてもらわないと。障害者をないがしろにする所と思われる。実際そう思っている保護者も多く、京都市は冷たいと言う人が多い。
生活のペースが乱れやすい。長続きしない。外界との接触を可能な限り避けようとする。音や光が苦痛に感じる時がある。疲れすぎて、行動が制限されることも多い。
体力がなくデスクワークにも関わらず疲労で余暇に時間を使えないことが多々ある。仕事で全ての体力を使い果たすため、1人暮らしかどうか不安。
今は特にありませんが、将来的には不安があるのでサポーターの事は充実して行って欲しいです。質問や設問の答えが重複していたりするので答えにくいことがありました。年齢的な問題もあるかとおもいますが若年の方にはもっと支援してあげて欲しいです。
毎日が生きづらい。
眠れないので治療の為睡眠薬を処方してもらっているが日中眠くて寝てばかりいる。用事がある日は無理やり起きているが他の日はごろごろしてしまっている。しかし、治療のおかげでずいぶんよくなってきた。
ヘルプマークが随分浸透してきましたが、やはり子どもには服につけることができるようなマークを作成して頂けたらと思います。(シールやピン止めなど。) ヘルプマークは大人のイメージもありますので、子供らしく、子供が子供の中で遊んでも分かりやすいものを作っていただきたいです。関東ではそういったことをしている所もあります。子供が子供らしく、子供の中で生活しやすい工夫が必要だと思います。
いつも困った時、緊急時でも柔軟に対応ができるシステムをつくって欲しいです。よろしくお願いします。
医療的ケア児のリハビリをもっと広げて欲しいです。あと、医療的ケア児をとりまく、兄弟児も支援してほしい。医療的ケア児の集まりみたいな、京都市でグループを作って医師や NS、MSW などで取り組み、市全体でサポートしてほしいと思います。
学校の放課後に補習授業をもっと充実して欲しい
スポーツをしたいが、障害者対象となると距離が遠かったり、健常者と同じ場所となると個別になり金銭的に高くなる。気分的に行けない日もあるので無駄になることも多く、難しい。週 1 回、区毎に体育館を貸し切ってからだをうごかせる機会があればうれしいです。 支援学校の高等部が 5 年制くらいになれば働くことへの準備もゆっくりすすめられるし、生活面で教えて頂きたいことなどもたくさん経験を積むことができ、自立生活へつながるとおもいます。3 年間ではとてもあわただしく入学するなりつぎの進路を考えないといけないので本人も親もしんどいです。グループホームに余暇活動ができる自立訓練作業所等の施設やデイサービスが受けられるような施設が併設されると豊かに過ごせるのではないのでしょうか。
重度の知的障害があり、精神的にかなり不安定でよく、パニックを起こします。本当はやりたいことできる事がいっぱいありますが、精神が常に不安定なため、行動範囲にかぎりがります。(逆に安定していると、できることがたくさんあります。)このような状態でも行動範囲が広がるよう個別に訓練や身体の機能の向上、カウンセリングが受けられるようなところがあればいいとおもいます。21 歳になると療養を受けるのも難しいです。ひとりで悩んでいて、言葉にすることが出来ないのが辛いです。家族にも言えないのです。いつも心の中がもやもやイライラした状態を何とかしたいと思っています。ひとにじぶんの心の内を言葉で表現できないということは本当につらいことが多いのです。そんな自分が嫌になり、何もする意欲がなくなるのです。少しでもできることをふやして、自身をつけたい。その為の手助けをして欲しいです。よろしくお願いします。

まだ子供(小学1年)。なので、生活のしづらさなどは特にありません。(京都市に、難聴学級等があるので、助かっています。) 聴覚障害で人口内耳両耳装用しているため、親の経済的負担が大きいです。所得制限で特別手当がもらえていないため毎月5万円ほどの貯蓄(人口内耳の買い替え費用は約10年に1回買い替え、両耳で200万円ほどかかります。また、人口内耳のバッテリー、ケーブル、マグネット、その他の部品も年間5万円以上かかります。)が必要です。とても大変です。将来、安定した収入が見込めるか分からないので、できる限り貯蓄をしなければなりません。所得制限で手当が貰えない代わりに人口内耳の買い替え費用でも一部補助してもらおう等できないでしょうか。他県では、100万円補助して下さる例もあります。財政難だと思いますが、近い将来、こういった制度ができると大変助かります。毎日、息子の将来とお金の心配が絶えません。助けて下さい。
家事ができない 身体が疲れやすく買物などが行きにくい。
病院やスーパーへの道のりの高低差がある。また、でこぼこしていたり、せまかったりもします。スーパーのまえに横断歩道がなく、利用するのに遠回りしなければならない。
年金(厚生年金 主人の収入が減り)介護保険が増えて実質手取りが減り今後の生活が不安だらけです。心配です。又主人が亡くなった時1人で生活していけるかものすごく不安です。
発達障害や発達障害グレーの子供に対する周りの理解、学校や担任の先生の理解がもっと進んでほしい、学校での柔軟な対応が進んでほしい。
障害による排泄障害で、かけこめるトイレがない所へは行けない。コロナによりコンビニエンスストアなどがトイレを開放しないところが増えてきたことで、調査済みのエリア以外で行動ができない。
本人が小6で診断されていることをハッキリ理解していない 伝えておりません。今後中学→高校 進学のサポートを学校と事前相談してもらっています。
同じ障害をもつ同性の友人がなかなかできない、見つからない。健常のお友達も大切だし同じ病気の同じ気持ちをシェアできる仲間がいたらもっと充実した人生を歩んでいけるんだなー。
生活が経済的に厳しい。便や尿をいつ漏らすか分からない。
6級の難聴の母親がいます。今は、全く会話ができません。現在、母の難聴には困っています。
今回のアンケートもですが、本人たちにはとても困難な内容であると思います。
現在、家族と一緒に暮らしているので生活上の心配はないが、耳が聞こえづらいのと、足腰が弱っているのが不安です。その他不満は無い・
スーパーのセルフレジの使い方。社会生活において、タッチパネルでの操作が増えてきていること。QRコードを読み込んで、などデジタル化が進んでいるが、ついていけない。無人駅での手帳の提示の仕方。阪急など人員削減により、駅員が少ない駅は、介助を頼みづらい事。京阪などの介助者との乗車時(2人で1人分の運賃)の改札の通り方。
今は無い
人工肛門になって30年以上になります。外見からは障害者とは分かりませんが、毎日洗腸で2時間ほどトイレで頑張りますが、上手に行く時、うまくいかない時色々です。最近お湯を腸に800cc入れても返りが悪くて、便も細く、どうなっているのか心配ですが、人工肛門を手術して下さったお医者様が亡くなっているのですどうしたものか思案中です。障害者生活状況調査表が届き、気分的に安心しました。ありがとう。
本調査を実施して頂けたことの感謝をしつつ、意見を述べます。 一般就労を目指してトレーニング中です。これまでの経験から感じるのは、本人のありのまま

を生かした職場就職(労)の体制を作るという発想の不十分さです。制度的な支援がないということもありますが、そこで働く他の従業員の意識も低く、大きな問題を感じています。「〇〇ができれば働けない」というのではなく、「〇〇ができるから働ける」という職場のあり方が可能となるような制度と意識改革を望みます。 重度障害の子供を母親が教害した事件がありました。重度であるからどうかより、教育と福祉の繋がりが不十分なため、正直支援学校からも福祉事務所からも見放された感を持ちます。特に高等部の卒逆時期の不安はただでさえ大きいのに、結局障害児を産んだものが悪いように感じる対応もあります。 いずれにせよ制度の改革は大変なことだと思いますが、こういう調査から当事者の思いを丁寧に受け止めていただけるとありがたいです。
子供の頃は公園やゲームセンター本屋さんなどですごすことができるが、大人になるとすごしの場が少なく家以外での居場所がないこと。ヘルパーさんを送迎に利用しては)ダメなこと。
老人介護施設に入所している為、不自由ありません
小・中学校と支援学級で過ごし、卒業後の進路で職業科の支援学校へ希望していたが地域の方へ行くのがいいと判断され、いけなかった。このまま地域の支援学校へ行くと、就職先(正社員としの就労は0と言われた(相談時))がないのでは?不安に思っている。そのため、一般の高校へ受験を考えているが、内申点がないのと国・数などの授業を受けているため、試験で点が取れないので、普通科の高校には行けず面接のみ(+作文)の高校を受験するが、願書の締切りがあり高校受験をすると支援校へいけなくなる。最終の行き先がなく、高校受験に失敗した時どこに行けばいいのか不安しか感じない。もっと受け入れを広くして「やや黒よりのグレー」の子のいける高校(奏和のような、倍率が高すぎて受験もためらう)を作してほしい。助けてほしい。
京都市が外見だけの福祉行政をし、差別を繰り返して私はPTSDを発症しました。責任を認め、早く支援をし、社会参加したいという私の思いに寄り添った対応をしてほしい。京都市は最低な市だと思う。対応を改めなさい!!
私は障害者だと思ってなかったのに「障害者生活状況調査」という名の調査票が来て、大変不愉快です。名称を変えた方がいいのでは。難病を持っているだけで障害者ではありません!!もう送ってこないでほしい。年末にこのような書留が届いて気分を害しました。
手厚い援助を受けており感謝しております。
以前は自立支援で医療費が0.5割自己負担だったが、今は1割となり経済的に苦しい。
前年母親を亡くし、兄弟(姉)が全面的に世話しています。兄弟も年を取っており世話が出来なくなった時のことが大変不安です。グループホームも入所不可になり適切な入所場所がなく、大変困っています。高齢者介護の相談にのって下さるケアマネさんのような存在が是非とも必要です!!
今のところ健康で大した問題もなく過ごしておりますが、親も亡くなってしまって、いろいろとこれからおこると思います。親心とし将来に対する不安はいつも感じていると思います。障害者に対して「やさしい」施策をお願いします。「1人も悲しんでいる人がいないような」
今は、父と母親と一緒に住んでいますが、父が82才で母も78才で、今後は父と母は病気がちで息子をどこかの(施設)へ入れてもらいたいと思います。お母さんは認知症で息子を見る事が出来なくなります。
このように一人一人の状況を気遣ってくださって、そのことが何より心強められ嬉しく、力になります。心から深く感謝致します。
電車の駅の乗車位置の表示の「優先座先」の表示をもっと大きく書いてほしい。立たれると見え

ないのでわからない。大きい駅だと列になるので余計わからない。 電車内の優先座席の表示を床にもしてほしい。京都地下鉄・近鉄はしているが、京阪はしていないので意識していない人が多い。
病院での費用があまりないのですが、帰宅後薬局で薬をもらい代金を支払うのが高すぎる様に思う。もう少し薬代を安くしてほしいです。
本人は重度で自分の言葉でいいあわせません。親の意見が多く入っています。
5年前に通所施設の担当者さん、担当ドクター、ケースワーカーさんとカンファレンスを開いてくださって「この人は入所が最適」との結果が出ています。が、何度チャレンジしても書類選考で落選してしまい、入所につながりません。頻繁に気圧を感じて暴れたり家族にかみついたりするので、同居していたおばあちゃんに別居してもらっています。その分が母にむかっています。精神的・経済的にどんどん厳しくなってきたら本当に困っています。助けて下さい！！
世話をする家族が姉1人だけなので姉に何かあったときに短期ならショーステイが利用できるが、亡くなった場合すぐにグループホームに入れるのか、お金の管理は誰がするのか、不安な事はたくさんあります。
指定難病に指定されているのに特別児童手当が受けられない。病院からの報告書の数字だけで判断されるのはどうかと思う。実際は生活する上で色々な制限がかかったりしているが報告書には記載されていないこともある。又、検査入院等で仕事を休む事もあるので、難病に指定されていれば特別児童手当は認定してほしい。認定書類の申請等の書類がややこしい。もっと簡単にしてほしい。わかりづらい。1度に受けている手当の更新ができれば good。何度も役所に行くのは仕事をもっていると難しい。
支援している親が高齢になり病気になったりで支援できなくなった時、スムーズに福祉サービスが受けられるようになってほしい。支援している親のレスパイトを充実させてほしいです。ワクチンを受けたりCTを取ったり歯の治療が困難です。入院となったらどうなるのか心配です。
マスク生活で口元が見えなくなり、聴こえにくい息子は困ることが多くなりました。学校の先生はせめて授業中はマスクを外す又は透明マスクにするなど、教育委員会から全体へ伝えて欲しいです。本当に困っています。人工内耳の修理や買い替え、バッテリーの購入について補助がなさすぎ又は収入による制限が厳しすぎます。他の自治体では消耗品の補助もあったりしますが、京都市何もありません。人工内耳をつけている方々は一生必要となるものです。そこまで人数が多いわけでもないです。ぜひ補助の拡充をお願いします。
精神科に通院をしているために職場での働く意欲が出ないので自分が使える費用もないので困っています。働く意欲が出るまでの間、障害年金などが受給できたりすると困らないのではないかなと思います。※軽度知的障害、軽度適応障害、軽度不安障害、この3つの障害があるので年金を受けられると助かります。
母が死んだら私は1人でどこに住んだらいいか困ります。
まだ学生なので分からない。親がいなくなったら大変だと言われるけれど、具体的に何が大変なのか想像がつかない。どういう時が困っている時なのか分からない。
保護者が高齢になった時に、障害者の介護ができなくなる不安がある。親なきあとに向けて、どういう準備をすればいいか不安がある。
学習障害に対する配慮が少ないと思う。教師の理解がなく、小学校のころに学校とのやり取りで親がとても苦労しました。今は落ち着いていますが、今後相手によっては理解されずに困るのではないかと心配です。困りごとがあってもどこに相談したらよいのかが分からず、いつも戸惑います。

文章が簡単なものにしてほしい。
脳高次機能障害者は周囲から見た目だけでは分からず理解することがむづかしい家族でも分からないことが有るので職場や友人はなおさら難しいと思います。社会に知ってもらうこと、理解を深めるよう努力していきたいです。当事者本人と親とでこの調査書に記入しましたが大変エネルギーが要りました。親無きあとの生活を一番心配ですがどのように対処していったらよいのか分かりません。一人一人それぞれにケースワーカーが付くような制度が出来いろんな事が相談出来るシステムがほしいです。老人にはそれが出来つつ有りますが知的障害者一人一人にもすべての事が相談できるシステムになる事を願います。 当事者代筆 母親
定期預金が解約できない(金額による)。「本人の意思確認が必要」ということで親が代わりに手続に行っても解約に応じてくれない。うまく意思表示ができなければずっと出来ないまま。「後見人も付けなさい」と言われると思うが、その後見人が問題。後見人を利用すると必要がなくなっても利用をやめられないし、報酬を払い続けなければならない。本人のお金なのに本人のために遣おうと思っても許可してくれない。(まちがった解釈をしている内容であればごめんなさい) その他。聞いたことを本人に伝えて「困ったなあ」と話しています。(趣旨から外れているかもしれませんが。)
今は両親が健在で生活も出来ていますが、親の亡き後、本人の収入(1か月2万未満では)生活が成り立たないと思われます。公的手助けが必要です。よろしくお願いします。
コミュニケーションがとりづらく、自分の思っている事がなかなか伝えられないので、本当に困った場面に直面した時に対処出来ないのではないかと不安に思う。
現在障害年金1級を受給している。父の扶養家族になっていて非課税。ただ、今後収入を得ようとするとう障害年金と合わせて130万円まででない健康保険の掛け金を払う必要があり、あまり多くの収入が得られない(約30万円まで)。健康保険も障害年金分のカウントは除外してほしい。てんかんがあるというだけで一般の保険会社の医療保険に入れない。
市バスの運転手の態度が悪いです。例えば、運転手が黒のマスクを付けたり、髪の毛を染めたりするのは、市として許される範囲ですか。大概そういう運転手は、障害者や老人の尋ねにもほとんど応じません。威圧感があり私は怖さを感じます。指導、礼儀やマナーの教育はされていますか。また市のサービスとしては適切ですか。二条駅には他の駅と同様に対面で対話できるようにカウンター窓口を設けていただきたいです。私は二条駅を訪れた際、わからないことがあり駅員を尋ねましたが、駅員はインターホンで何を話しているかわかりませんでした。結局わからず終いで困っている自分を察知した隣の親切な方がお店を教えてくださいました。その点は、不便だと感じました。他にもインターホンを聞きとりづらく不自由に感じることを地域のコミュニティーで聞いたことがあります。市の公共機関のサービスが手薄になると外出頻度が減ってしまいます。ましてや観光地の京都市、JRとも隣接する二条駅として相応しい対応か疑問を持ちます。観光客をおもてなしするのが、市の役割ではないでしょうか。
発病前、看護師に1年だけ働いたため、普段毎日、むやみなことを思ってしまうことができない。それでも思ってしまう。
8月に環境に関する提言?に地域の環境整備、近くのゴミ拾い、ダンボール、雑誌の片づけ等の意見を本人が自分のしていることを書いて応募したがその後何の音沙汰もなく本人は京都市の対応に不信感を持っている。
所得制限のため、日常生活用具の購入が全額自己負担となっており、経済的にとてもしんどい。子供のため成長に伴ういすの作り変えや修理等がひんばんにあるのに、その都度高額な請求となるため、修理や作り変えをあきらめている状況。医療や福祉の面くらいは所得制限をなくしてく

ださい。所得制限はきょうだい児へのシワよせにもつながります。

職場の細切れなパワハラに悩んでいます。500個はありました。車バイクの騒音・猛スピードにこまっています。仕事量が多くてこまっています。職場の人間関係にこまっています。どの政党も身の回りのことはしてくれません。母にまかせています。風呂に入る気がつかれてしません。ヘルパーが来てくれません。町内に話せる人が1人しかいません。居場所がありません。この調査を1年に1回してほしいです。犬のし尿にこまっています。市バス車内バス停でくだらない話を大声でされてこまっています。市バスの本数が少ないです。水道光熱費が高いです。語り合える人が少ないです。精神病が良くなりません。産業精神保健メンタルヘルスが足りません。家事は仕事で疲れてしていません。障害年金を増やしてください。身体手帳を足腰で交付して下さい。ベーシックインカムを支給してください。福祉手当住宅手当を。組合の人間関係が悪いです。食事をつくり入浴し服を洗濯しそうじする普通の生活がしたいです。暴言を吐くのはやめて下さい。京都障害者を町内でたすけて下さい。府も市もチラシをくばるだけです。一億総こどくです。活躍を。本や資料など読みあげてほしいです。あとは公務員の方や医師がよくして下さい。そのような方のあたたかさを感じます。介護も勉強します。生涯教育も充実しています。友達にもめぐまれています。ライン仲間もいます。京都府婚活応援センターで結婚し子どもをつくりたいです。労基労働局も充実しています。街路樹が秋きれいでした。労働相談も話を聞いてほしいです。幸せにくらしています。100歳までは生きているのかどうか。けずらないぬかないかぶせない歯医者さんがいません。公務員が少ないです。これからもチラシをあつめます。自分は70歳まで保障されています。母は99歳まで生きてほしいです。水道ガス電気NTTもよくして下さい。京都をつぶす外国人はこないでほしいです。車バイクはやめ電動アシスト自転車をおく場所を。歩くまち京都を。おおむね健康です。次の世代に期待しています。よく話します。電話でも愛想よく趣味や本はたくさんあります。何もないことはありません。これだけ主張するのははじめてです。死後もいとこの子に生活してきたよと伝えたいです。また市長にお手紙します。言いたい放題の世の中です。これからも千年けいさつが守ってくれるでしょう。やさしさをもって生きています。近所のおしゃべりなおばさんがうるさいです。これからも職業定着支援を。〒NTT 母に仕事を。シルバー人材センターを利用します。働くすべての人々に感謝を。神は存在します。ありがとうございます。長生きすれば楽しいこともりたくさんです。

将来の暮らしの場に対する不安があります。施設の場合、一日中施設内にて過ごしがちなかつ、日中の活動内容が充実していないか、何もない、生活のレベルが低いと感じます。グループホームの場合、重度知的障害者が生活できるホームの数は需要に対して少なく、例えば「生活介護に利用している施設と同じ法人のグループホームなら入れる」がそれがいない場合は事実上望みがありません。(利用している法人や信頼できる法人の運営するグループホームに入れることが一番良いと思っています)。現在住んでいる家で一人で生活続ける場合ヘルパーの支援に含まれない非日常の家事(家のメンテナンス又はその依頼、電気製品の故障時の対応や新たに必要な物の判断等)をできる方もしくはヘルパーができるようにして欲しい。現在計画相談担当者はいますが、計画をたてるだけで各事業所間の本当の意味での連携はできていない。二言目には、たくさんの利用者がかかえていると言いますが一人一人に対して給付金が支払われているのでおかしいと思っています。計画相談担当者が利用者の生活を直接見て見直す機会が一人暮らしだと月1回くらいで欲しいと思います。計画相談担当者の責任にお範囲も明確にして欲しいと思います。

難病により身体不自由となり生活面で支援が必要な状態です。普段の暮らしの中では夫が助けてくれますが、夫が不在時は何かと不便で我慢が必要です。定期利用の場合ヘルパーさんの支援が受けられますが、何かあった時の臨時時利用や災害等に不安を感じています。就労する為に交

通機関（バスや地下鉄）を利用していますが、スロープをだしてもらったり、毎回気持ちの面で負担を感じています。例）バス（特に京阪）→座席がなかなか上がらない。スロープがでない。何度も乗れずに見送り、30 分後のバスを待つことがあります。残業後つらいです。公共交通機関がもう少し気軽に乗降できると嬉しいです！！
字を書くのが好きだが、そういった仕事がなかなかない。もう少しお金をかせぎたい。
道路の誘導ブロックを公共施設や交差点からバス停までは誘導ブロックを作してほしい。公共からのおしらせには点字ブロックをつけてほしい。受給者証は読み上げ機械でも読み取れない。
自身の歩行能力の問題もあるが、一人で自由に出歩けないこと。
無人駅の増加、無人店舗の増加など。
家庭環境が良いものではなかったもので、小中学校にまともに通えておらず、基本的な勉強ができなかった。学校に行き直せる制度や仕組みがあると良い。学校によっては資格を取れたり再就職の自信にもなるのと思うが、費用がどこからも出ないので難しい。お金がないことが大きなハンデになっている。 病気をしたからこそ、他の人に伝えられることがあると思う。自分の経験が生かせる機会があったらと思う。 インフラがおさまってほしい。これから寒くもなるし、光熱費が上がるのでは不安がある。病気が再発しないか日々不安がある。
体調が不安定になりがちで、やりたいこと、やれることの差がある。掃除、入浴など日常の家事も取り組みたいとき、取り組む必要があるときに取りかかれるわけではないのでもどかしく、ジレンマがある。 精神手帳の取得の根拠となっている障害以外にも、線維筋痛症や弁膜症で不整脈の診断もでていて、痛みや吐き気が突然出て、イライラしやすくなるときもあり、自己嫌悪になる。良い人は沢山いるけれど、自分と合わない人がいるという考えも同時にあるので、トラブル防止のために、仲の良い人を多くは作らないようにしている。
自分が障害のある親の立場でもあるので、これまでの生活の中で感じることであれば、子の障害（多動があること）を理解してもらえず行く先々で困ったこと。障害者という広くくりでなくて、個人でみてもらいたいと思う。 子どもが「（障害の理解が周りにされていないので）手帳を持ちたくない」と言っていること。親としては、割引など得ることがあるので持っている方が良いと思っている。 今自分が、週 2 回ヘルパーの家事支援、週 3 回の訪問看護の利用をしているけれど、もともと人と話したり、関わったりすることが苦手な方なので慣れるまでに時間がかかった。利用を続けてみて、「話せる人がいるのは生活する上で存在は大きいな」と思った。膝関節変形症もあって足の不調も出やすくでなかなか外にでたくても出られないので、利用を続けていきたい。 今は子と同居しているけれど、今後子が独立したいと言ったらとても寂しい。
音響信号がないところでは信号がわからない。 京都市では日常生活用具給付金のうち情報通信機器に対する休符を一生に一度と定められていますが、対象品が windows のバージョンアップに対応するため年間契約となった今、全く現実に即していない。生活のための情報入手や仕事に不可欠なものなので早急に対応を望みます。 店舗での買い物は探すものを見つけることに非常に時間がかかり苦手なのでネットに頼ることが多いですが、写真ばかりで必要な情報にたどり着かないサイトがまだほとんどです。サイト運営者に向けて、音声での確認や代替テキスト設定方法のガイドラインを設ける等、情報バリアフリーを促進してほしいです。ちなみにこの文書も、せっかく音声での読み上げが可能な word 番を

ご用意されていながら、下の方には文字の入った画像が挿入されています。その部分の文字は音声読み上げに対応していないので視覚障害者には伝わりません。
色んな人と交流したいけど、生まれつき感染に弱くて人の多いところは避けなければならないと言われているのでずっと家族とばかりいる。学校もコロナが流行してからオンラインや先生と二人きりの授業で、同じ学年の友達ともなかなか会えない。だから支援してもらって親以外の人と外出したくても、感染リスクを考えると今のところ何もできない。同じ立場の子と話が出来る場所が増えたらうれしい。 コロナワクチン接種の際、先天性の心疾患があるから先に打てると通知されていたのでコールセンターに問い合わせたら、かかりつけの医療機関で打ってもらって下さいと言われました。心臓は大坂の病院に通っているため、そちらでは府外なので打てないと伝えましたが、『京都府内のかかりつけ医で打ってください』とのこと。かかりつけの小児科では子供のワクチン接種はしていないと伝えましたが『こちらではわかりません』・・・なんのためのコールセンターかと途方にくれました。結果的に子供のワクチン接種会場になっていた京都市役所の地下で通常の機関に一般予約で摂取しましたが、当日は雨の休日、地上から地下の会場へ手押し車椅子ではアクセスしづらく地下はイベントで人が多く、会場ももう少し配慮してもらえないものかと心労が重なりました。雨の中、下の子を伴って傘をさして手押し車椅子を押し、市役所地下のワクチン接種に向かう親の心中を想像できる方がおられなかったのがとても残念でした。
区役所、保健福祉センターの職員さんはもっと、おだやかに親切に、ていねいに対応して欲しい。時々、書類などの提出で、わすれものがあつた時も「これじゃ、できない！！」と否定・拒否するのではなく、提出物を次、どのように、もってきたらいいか？など心身に負担が、かからないようにしてほしい。 とにかく、役所が、もっと気持ち良く相談に行ける場所になってほしい。 生活のしづらさ、困っていること・・・。 安心できる区役所・保健センターがあつたら毎日、苦勞しない。
現状、各方面のサービス、支援をもらっていて、特段生活のしづらさ等はありません。
親が死んだ後の生活が心配。 お金の管理ができるか心配。
在宅レスパイトを兄弟児の支援としてぜひともとり入れてほしい。理由として兄弟児の習い事やイベントの参加が家族そろって行きにくい現状。自宅療養のため、他の兄弟が行動制限になっていることがあたり前になっていることがもどかしい。 人工呼吸器について理解の少ないサービスが多いのが現状。
長期入院しているが、面会が出来なく、さみしく感じていると思われる（コロナ対策）
今はなんとか自立して暮しているが 84 才なので 4～5 年先には色々困ることが出てくるだろう。 現在は 56 才の娘と 18 才の孫息子と娘の家に家賃を払って住んでいる。実の娘なので関係は良好であるが、仕事を持っているので多忙である。 私の介護などしてもらふ訳にはいけないので、その時は健康状態を見て考えなければならないので情報をたくさん知りたいと思っています。
代理の者ですが本人がさっぱりわからないのでペースメーカー手帳も持っていますがよろしくお願いします。
家族を介護しなければならない障害者への支援制度がない。
プライベート。姉とは世帯がちがうがいっしょにくらしている。姉のもとに居候している。自身

のプライベート情報がまもれない。身近なせいで本心をかたれない。今回の調査のうち、姉との関係がうまくいっているとかくところがあったがちかくにいたため〇とかいた、だが家族とのかんけいはりょうこうではない。 それが不安。今、記入時は、訪問看護に来てくれてる人とかいている。一時姉がいたが、今は、訪問看護の人と二人。家族関係に不安。ほぼ一人けんしされてないかんじがする。
妊検では全く何も異常なしで過ごし、40週で通常分娩、出生時、黄疸がでたものの光線療法でおさまリ、普通に退院、1ヶ月検診にて体重の増えが少なかったなので、精密検査を進められ、そこから原因がわからないままの日々。 妊娠中、産後すぐ何事もなく退院したが、産院でもっと詳しく説明できなかったのか？ その後音羽病院にて色々な検査を受けていたもののはっきりした事はわからないまま、2回目の予防接種（ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、DPT）にて危篤状態に、（この時点でも予防接種で危篤状態になる理由がわからなかったのか？） その時、救急で京大病院に運ばれてから現在まで主治医は京大、3年後位に遺伝子変異と診断されたものの国内にも症例がほとんどなく治療もなしで現状をなるべく維持する為の対処法のみ。現状維持とはいふものの体が大きくなるにつれ、側弯、体の硬直もすすみ、手足も変形し、着替え等もやりにくい。 親がどこまで元気で看ることが出来るか、肢体不自由の子が、安心安全に第三者に看てもらえるのか、も心配です。経済的不安も大きいです。
今成人となり学校時と違いステップアップすることがない（ステージ小→中→高校）今のままで大丈夫かと親ながら不安に思う。親が病気などするとたちまち生活が不安定となるので本人への精神的負担を考えると心配である。親も介護を受けるようになっても見守れるよう（介助できなくても）同じ敷地に老人介護、障害者支援があれば安心できる、そんなシステムがあれば早期にできるというナと思う。
親が亡き後今の家で生活が出来たらいいのですが・・・。 親も地域のなれた所だと願っていますが・・・。 44年間抱え込んで離せなくて自立も出来てないので・・・不安ばかりです。 ヘルパーさん達に助けられて今が有のですが・・・有難いです。
意志を示すことがむづかしい為、銀行などで預金を引き出せなかったり、解約（貸金庫など）や、貸金庫をあけることが出来ない。障害者になってしまい、それらの手続きが実子であってもできないのは、ハラスメントと言えらると思います。「本人の意志」が必要で、「子供であっても本人の財産や生活をおびやかすから、それを守るため」とされているが、実際の生活に影響を与えていることを理解してほしい。確かに悪いことを考える人は、ある程度存在するが、それ以上に頑張って正しく生活しているひとが多いことを理解してほしい。障害者は、ある日突然おこり、気付いたときには、どうしようもない状態になっている事を知ってほしい。対応できなくなつてから、「もっと早くに解約してくれないとダメです」と云われても、障害者になったその時は銀行や生活のことまで考えられない。「死亡されたら出せます」と銀行に言われました。これはやっぱりハラスメントでは。そんな銀行はつぶしてほしい。そうさせている政府は鬼です。
特になし。
京都市の福祉サービス感謝です。
収入・仕事は頑張りたいが足が悪い為、ムリも出来ない。年齢的にもパソコンなどのスキルもない。
ショートステイがなかなか無い。

成人してからの余暇時間（①夕方～夜(平日)②土日祝）に移動支援等でヘルパー利用は出来るかもしれないが本人がゆっくりできる場所がない。誰もが行けてゆっくりできる場所。 大人向けの放デイ、土日祝もやっている、誰もがのんびりたのしめる場所がほしいです。
生活費がない。
小中高と普通に教育を受けて育ってきたので、逆に障がい者の方との関わりやさまざまなサービスで自分が受けられるのかどうかも知りたい。どこで何を相談できるのか全く知らないので親が亡くなった後などは不安である。
一番は金銭的な事です。コロナで経済的に苦しくなって今は値上がりで生活していきただけでギリギリです。生活保護はありがたい事に受けさせて頂いていますが、収入は決まっているので、値上がり分を出すのに苦勞しています。これ以上値上がりが続くと食べていくのもしんどくなってくるのではないかと心配しています。デイサービスのお金も最低限の金額で済んでいるのですが、やはり少しの金額でも払うのはしんどいです。税金を頂いて暮らしているという後ろめたさもあります。生活保護を受けていると大っぴらに言えない状況が苦しいです。保護＝遊んで暮らしていると思われたりするんじゃないかといつも心配しています。実際はそんな事なくギャンブルなど全くしていませんし、ニュースで色々とやる生活保護受給者の悪い所ばかりを見ると、またかと思ってしまう。本当に苦しい重いをしている人に保護を受けさせてあげて下さい。弱い立場の人達にやさしい国になってほしいです。
親亡き後、施設入所、費用、兄弟が出来るか(本人は長男)。弟達の自覚はどうか。施設での暴力はよけられるか。
障害がある人への理解が目に見えるように分かる人はいいが、発達障害は目に見えない、分からないものもあり、障害のない人達と一緒に見られる事がしんどいですね。自閉症スペクトラムですが、そういう人達が相手に伝わるようなマーク、バッジなどを身につけたらと思います。大丈夫そうに見えてもこの人は障害がある事を伝えられるので、本人も障害がある事をわかってもらえたら初めての人にも伝わるのではないかと思います。バスに乗れば療育手帳を持っていて気付くが、手帳の代わりになるものがあればと思います。
高次脳機能障害を簡単に分かりやすく説明している冊子をもっと出回って理解を得られる環境になる事を切に願っています。昔から子どもっぽいと思われていたのかもしれませんが、障害者となり、一段と子供っぽさが増したような気がしてなりません。止められないので一人で困っています(笑)。治ればいいのになぁといつもおもっています！！
私の祖母が高齢になり介護サービスを受けるようになって思ったのですが、やはり障害者に対するサービスの方が選択肢も少ないし、内容も充実していないように思いました。老人向けのデイサービスはいろいろ特色も出してニーズに合わせているし行ってみて合わなくても、またすぐに次に受け入れ先があるように思います。障害者向けにももっといろいろと特色を出した作業所やサービスが受けられるようにしてもらえたら嬉しいです。本人がどうしても運動不足になるので、体力作りやトレーニングマシンが出来るようなデイサービスとか、作業とは別に本人の興味のある物作りやサークル的な所とか余暇をもっと充実させてあげたいです。よろしくお願いします。
自閉症なので理解してもらいにくいことが多い割に本人が分かっている事もあるのででも全く分かってないこともある。アンバランス。親が72歳なので本人が早く入れる所を見つけたい。なかなか入れない。75歳までにはと思っているが。預けたらさびしいけど。左京の方で目閉の子供を殺める事件があったけど、こんなことがない世の中を望みます。
主治医からノンアルコールビールを昼から飲んでもいいと言われたが、ヘルパーからは夜だけ

といわれ昼には出してもらえないこと。今後の対応を協議してもらう。
本人はまだ2歳で何も分かっておりません。ただ、本人を見ていると多くの困りがあり、外出先でも叫び、もの投げ、あげればきりがありませんが、好奇心や心ない言葉を言われることもあります。いたしかたない事です、大きくなればやはり本人が辛い。ありきたりですが、もっと障害児(者)に理解が欲しいと願うばかりです。
職場で心身の状況を理解してもらえず、「障害を盾に取っている」「片輪では無く一人前できる人間が欲しい」「さぼっている」「らくしようとしている」、理不尽な言動や追い込み、暴言暴行も受けてきた。行きことが本当に苦しい。意識が無い時だけが苦痛を感じず幸せだ。家族に迷惑をかけたくない。でも死にたくない。子供が小さく自死遺族にさせるにはあまりにも不憫。死に方によっては残された家族に賠償で迷惑をかけてしまう。よくしてくれる家族や親に報いたい。でも何もできない。できる能力がなくなってしまった。負担だけをかける人間になってしまった。今は何とか会社にしがみついて働かせてもらっているが、限界に近い苦しい、つらい。
障害年金を貰っていても、精神病以外に沢山の病気を持っており、その手目医療費がたくさんになり、年金が足りない精神病以外の医療費も負担が軽減されるよう願う。 精神科の地図が描かれた冊子があれば良いと思う。気軽に相談しにくいところがある。 両親がなくなった後に気軽にいろんな福祉サービスなどが迷いなく受けられるような環境を願う。一人で生きていけるかどうか不安で心配で。
お風呂に入れないので困っています。
バスに乗りたいが、観光客が多くなりバギーのスペース確保が難しい。本当に市民目線のバス・電車がほしい。 嵐電は身障手帳1級でも料金がかかってしまう為つかうのにハードルがある。市バス・地下鉄同様無料にしてもらえともっと利用しやすくなる。 今は電動自転車に乗せているが、就学したら移動手段に困る(未歩行)。 外食しにくい。安定して座れる場所、食べ散らかしてしまっても(食事中)ある程度容認してもらえるところでないと厳しい。 股関節の装具が完成したら、トイレ・着替えの度に付け外しが必要。バギー・自転車・カーシートに付けたまま乗れるのかまだ不明で不安。 足底板が1つしか作れないため、通園用と保育園で外あそび用に置いておく用の2足に対応できず困る。同様に、バギーも保育園の散歩用と家用で2台必要だが(自転車で通園しており毎日持ち運びは不可能なため)1台しか作れず、本人の利便性にも発達にも不都合がある。歩行器も同様。カーシートで安全基準を満たしたものが少なく、市販品に頼らざるを得ない
特にありません。との事です。ご苦労様です。
余暇の過ごし方が難しいです。外出しても、遊びに行く場所が少ない、楽しめる場所が少ない。どうしても、健常者の方に気を使うことが多く、家族や支援者もゆっくりと楽しめないです。京都は、障害者スポーツセンターがあるだけでそちらもイベントなどなく・・・もう少し気をつかわないで出かけられるような場所が欲しいです。楽しみがあると、本人も家族も又頑張ろうと言う気持ちになれると思います。
発達障害のある高校生の息子に生活のしづらさ、困っていることを聞いてみましたが(生活のしづらさや困っていることがない訳ではなく)返答がなかなか難しいので、母親である私がせっかくの機会ですので日頃感じている事、困っている事を書かせていただこうと思います。 社会には様々な人が生活しているにも関わらず、障害に対しての理解がなさすぎる。家族に障害者がいる方々はともかく、障害者に携わる仕事をしている方々の中にも、全く関係ない方々に

至っては多くの人々が知識や理解がないことから何気ない一言や行動に傷ついたり、生きづらく感じる事がある。学力ももちろん必要だがもっと幼い頃から障害についての様々なことを深く時間をかけて学ぶ必要があるのではと思います。ヘルパーの仕事をしていて思うのですが、障害者の人権週間だのユニバーサルデザインだの、ジェンダーレスだの良い言葉だけが先走って、人の言動やいろんなシステムが進んでいない。現に(うちは発達障害なので困った事はないが)身体障害者の方は、なぜ、新幹線チケットを取るのに3時間もかかるのですか?いろいろ進んでいるこの時代になんとアナログな酷い対応かと腹立たしいです。訴えているこちらがただのクレマーのような扱いで、JR側もその場しのぎに謝るだけでなく、お客様の声として窓口職員からキチンと上へ声を上げ、改善していった欲しいです。福祉用具1つにしても利用する人の声をもとに使いやすいものにしないと意味がないです。・何か困り事が起こった時に家庭内だけでは解決が難しい事もあるので24時間頼れる機関など誰にでもわかりやすく情報を発信して欲しい。連携の取れない、その場しのぎのすぐに途切れてしまうような支援では意味がない。高校卒業後の進路選択も少なすぎる。・京都市、府、税金が色々な形で役立てられているのも分かるがもう少し福祉の面にも手厚い予算を立ててもらいたい。親に働く能力・体力があっても障害の子どもがいることでなかなか正社員として(パートすら)働くことが難しい現実もある。その為に特児があるのだろうが、特児の申請の為、役所に行くと「特児のことを誰から聞いて知った?!」だの子どもの障害の状態を見たわけでも知ってる訳でもない、一市役所職員から「あなたのお子さんは特児の対象外ですよ」と断られ、申請用紙すらもらえなかったという話も実際何件も聞いたことがあります。特児の対象か対象でないかなんて役所の職員が判断することでも決定することでもない。申請する権利は平等にあるはず。上から何か言われているのだろうか・・・出し渋るよう指示されているのか・・・少し前に児相に発達検査の件で電話した際も「息子さんのご病気は…」と言われ、こちらが「息子の特性は…」とか「息子の障害は…」とか障害という言い方もそもそもどうかと思うのですが・・・心の中で「障害は病気じゃない」と言いたい気持ちもありながら訂正する気力もなくなり、結局終始「病気」というワードを使ってらっしゃり、聞き流しましたが、電話を切った後も傷ついたままでした。(丁寧に病気のまえに”ご”をつければいいものじゃない) 長々と抽象的な内容の記述となりましたが、現状を知っていただけたらと書かせてもらいました。なんらかの形で役立てていただける、支援につなげていただけることを切に願います。

昨年の秋、企業就労実習へ行った時の事です。初日は、企業の指導職員の方、上司の方、学校の先生、母、本人で挨拶と仕事内容、本人の様子を軽く伝え(事前に学校から企業には詳しい話が済んでいるため)実習に入りました。初日は何事もなく、2日目は実習ノートに「作業内容が理解できていないため、家庭で話し合って欲しい」と書かれ、子供と一緒に何がわからないのか、何が難しいのか話し合い、その内容を実習ノートに書き、翌日指導職員の方に渡しました。3日目から、実習ノートには何も書いて下さなくなり、4日目に激怒され、実習中断に。子供に話を聞くと、2日目から声を荒げて怒るようになり、中断する時まで様々な暴言もあったそうです。「ここはあんたが来られる場所じゃない!」と罵声を浴びせられることもあったそうです。普段の業務でお忙しい中、実習生を受け入れて下さり、仕事・働くことを教えてくださることは大変感謝しております。しかし、実習生は都合のいいタダ働き人で、普段人が足りず出来なかった業務なども押し付けられるという話も聞きました。障害者といっても身体障害者の方は、数多く就労先がありますが、知的障害者にはとても数少なく狭き門です。障害を理解してもらうことは大変なことなんだとこのことで痛いほどよくわかりました。出来ない者が悪い。理解できない者が悪い。そう思われています。こちら側としては、努力します。みんな家族でサポートするので、分かる様に分かるまで教えて欲しいと思ってしまいますが、これは受け入れ難いようでした。他の実習先ではこの

様なことはなく、お忙しい中丁寧に教えて下さり感謝してもしきれないくらいです。しかし、1つの実習によって子どもは深く傷つき大声で泣き、泣き続けました。今でもこの実習先の近くを車で通りかかるのすら、嫌がります。親としても不安になりました。学校を通じての就労先でもこの様なことが起こる可能性があるのか・・・何を信じてどのように社会で働けばいいのだろうと考えるようになりました。子どもが何も悪くなかったということは現場を見ていないので分かりませんが、人権を無視した言動や行動は身近にありました。どうぞ働ける場を増やして下さい。経済的に自立できないと親は死んでも死にきれません。
母親の年金が少ないので、宇治市施設に入れてしまいました。主人の愛人に洋服などとられて困るので。
マンション前の道路が悪いのでなんとかしてほしい。お風呂に入るのが困っています。お風呂がユニットバスなので便座に腰をかけて身体を洗う。命がけでお風呂に入らなくてははいけません。障害者用の市営住宅にはいたいです。
支援学校高等部に通う子供の保護者です。障害者の余暇活動について以前に比べ、子供の学校外の活動場所（放課後等デイサービスなど）が増えたと思いますが、学校を卒業した途端、受け入れ先が減り、活動範囲、場所、時間が狭まるように思います。選択肢が狭まる中、保護者は各自でその場所を改めて探さなければなりません。負担も増えます。特に、障害程度が軽度ではあるが本人だけの行動では不安があるため、他社の見守りが必要な時もあります。この様な人々のサポート体制を強化頂けると助かります。 就労先がコロナの影響で減少しています。各業界状況が厳しいことは重々承知しておりますが、彼らの働きたいという気持ちをどうか汲んで頂きたいです。企業側への障害者への理解、サポートの仕方など継続的なサポートをして頂きたいです。我が子が、親亡き後も安心して暮らせる社会になるようご協力の程 宜しくお願い致します。
生活が出来なくなったら施設に入りたい。
糖尿病でインシュリン注射を毎日しています。ショートステイや入所を考えても注射が医療行為ということで受入れをほとんど断られます。今は母親がしていますが、私も医療の資格がある訳ではなく、家族だからとOKです（本人は目盛りの調整不可）針を血管に入れるのではないのに特にむずかしい注射ではないので、講習を受けた人に資格を与えて認めて下さい。生活のQOLが上がるようにお願いします。以前もキャンプを断られて、親が行けない経験をさせてあげたいと思うのに残念でした。
障害が有る事により進学にまよいができる。選択に制限を感じる
手続きが色々あってややこしい 障害者の方たちは申請するのが難しいと思います。医療費の負担を減らしてほしいです。今、障害を持った母は脳こうそくになり医療施設で寝たきりになっています。
車イスに乗っている時、ジロジロ見られたり、スーパーなどで移動しづらい時などしたうちされたときはとてもかなしかった。兄妹のことも気になる。兄弟はどんなおもいをしているのか、もっともっと障害について社会全体がやさしくうけとめてほしいと思っています。
病院の駐車場の充実促進。駅でのエレベーターの整備。薬や医療の宅配サービス。日用品・食料品などの宅配サービス。
子どもがいがないため、年を取ったときにたよれる人がいない。お金の心配もあります。生活ほごを受けたいが、受けられないです。
外出時は必ず周りの人にジロジロと違和感のある目で見られます。見られなかった事はまずありません。勿論、ほぼ気にせず過ごし、慣れっこにはなりましたが。以前もバスに乗っている時、

本人は何も悪いことはしてないし、窓の外を見ていただけなのに視線が気になったのか、となりの女性に降車時に理不尽な怒り方をされました。
電車や市バスでロングシートは膝関節がまがらないので座ることが出来ない。前に人が立たれると自分の足がじゃまになります。クロスシートでも前席下部があいていないと座れない。
経済面で少し困っている。
体がうまく動かない事が一番困っている。今排便、ふく事に一番困っている。両指がしびれて動かない。買物にもうまく行けない。
障害者年金や、生活保護代が減っており、物価も値上がっているので、生活が苦しい。精神的にも、追いつめられている。
公的支援金(年金等)をもっと充実してほしい。
現在、有料の高齢者ケア付住宅に(ライフイン京都)入居致しております。職員の皆様が親切で各々の係りの方々の御配慮をいただきながら生活しております。歩行補助機を使用しておりますが、大よその事は自身で出来ますので、皆様にお世話を頂きながら安心して生活が出来ますので、幸せに感じて居ります。入居以来 1 年 5 ヶ月ですが「コロナ感染症」の発生期間中でもありますので外出はなるべくしない様に気配りして居ります。
職場でのパワハラ・セクハラが原因でうつ病となりました。労災と認定されましたが、認定されるまでの手続きやその後の手続き(保険証から労災のきりかえなど)に約2年半かかりました。「精神で労災認定の事例がはじめてなので手続きのやり方がわからない」と通院先やデイ・ケアで言われて大変困りました。また、労基署でも「デイ・ケアでの治療費が労災の支払いに該当するかわからない。調査します」など言われたり、担当の人が把握されていないこともいくつかありました。手続きに関して複数の機関との話し合いを何度も行わなければならないので、その度にフラッシュバックや辛い気持ちになりました。そのため休養していきはらずなのに病状が悪化することもありました。在職していた会社からも、適切な対応はされなかったもので、(書類にハンコをおしてもらえないなど)せめて市公的機関やデイ・ケア、病院では労災の手続きやそれを行っている人への理解を持って頂けるとありがたいと思います。見通しがもてない中でやっていますので、あたたかい言葉をかけて頂いた時は大変心にしました。通常生活でもトラウマで行けない場所や恐怖を感じる状況があります。数年では消えない傷がまだあると再確認させられますし、生活のしづらさを感じます。
掃除が億劫でよく物を散らかしてしまふ。寝る時間が遅くなってしまい、朝起きるのが少し大変になる。物を買すぎてしまい、後で処理が大変になる。整理が苦手。物を探すのが苦手。
「避難行動要支援者名簿」について、京都市では、家族と同居の障害児・者は名簿の対象外となっています。家族だけでは避難行動や避難生活が困難です。どうか名簿の対象の拡大をお願いします。(全国的には対象になっている区域があります。)地域や町会では限界があります。民正委員さんは高齢者へのとりくみはできていますが、障害児・者への理解はまだまだですし、負担も大きいと思います。市全体でとりくんでいただきたいです。よろしくお願いします。
わからない。
役所の方が調査表と称し、やり方が？です。何の為の調査ですかね、片側だけ観てもあかんと思う。
今は親の助けがありますが、親が年をとって弱ってきたときどうしたらいいのかと考えています。
就労支援A型で働いているが、この収入だけでは、グループホームに今後入所することはできない。もっと収入を増やすために今できることがよくわからない。グループホームの利用料が高

いのと、数が少なく空きがないのもっと充実させてほしい。 今回のアンケートは、大変難しい内容で、知的障害がある本人の変わりに家族が回答したが、それでもかなり時間がかかった。(障害別に分けるなど簡単にしてほしい) 「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン」など聞いた事がなかった。このアンケート結果がどのように反映されたのか、公表していただきたい。市長の単なるパフォーマンスでないことを願いたい。
自身の精神的な問題が原因で、できる仕事はかなり少ない。自立した生活を送れない訳ではないが、経済的な面で、不安を常々感じている。障害者雇用で採用されても、合理的配慮を受けられるのは最初だけで、仕事になれてくると、一般の方と同じように働くことを求められる。オープン就労での一般枠でも同様の事が起きる。これは仕方ないことだと諦めている部分がある。もちろん、全ての職場がそうではない。長期間、通院をしていると何故治療しているのか分からなくなることがある。欲をかかず、限られた仕事を続け、最低限の暮らしをすれば、手帳や通院は不要だと感じることもある。服薬を続けていても意味が無いのではと考える事がある。通院し、A型事業所で働いている現在は、精神的に安定している。しかし、収入面で不安がつきまとう。自分の様な人間が生きていくためには、死ぬまで、通院、障害福祉サービスに頼らないといけなかもしれないと考えると不安になる。もしも、このようなサービス(A型事業所など)が無くなってしまったらと考えると怖い。一方で、こういったサービスに甘えている自分がいる。自身の精神的な問題を放置して、治療するための行動が服薬だけになっていることがある。自分自身による治療への行動や働きかけが乏しくなっている気がする。
児童の間では放デイがあったりで、土曜日も出かける事もありますが、成人になる、事業所の余暇活動のみになるのでしょうか？ヘルパーを使つてのお出かけは出来ませんが、サークルの集まりなど余暇を充実させる情報などがあると助かります。いずれは、自立を目標にしています。どんなサービスがあるのか？親亡き後、心配なく安心して親亡き後を過ごせるようにしたいです。そんな時のサポートも知りたいです。
障がいがあるとどういう困りごとがあるか、もっと人に知ってもらいたい。共有してほしい。困り事を知ってもらえていない、理解してもらえないこの現状が困りごと。多くの人に知ってもらいたい。
緊急事態災害の時、外出先で障害のある人が安全に移動・帰宅できるサポートが欲しい。何度か身動き判断できなくておいてきぼりになり困った。年老いた親が捜しまわったので・・・ 親亡き後、安心、安全に過ごせるグループホーム・施設、スタッフの増員を希望しています。
街をきれいにしたい！京都をきれいにしたいとゴミを拾ったり、ダンボールを家に持って帰って家のゴミとして出しているか、ある時(2022/12/8)隣の町内の中年の女性が「ゴミを荒らして。こんな人は施設に入れるか親がついていけ！」と家に怒鳴りこまれた。落ちているゴミを拾って自分の家のゴミ箱に入れたり、日を間違えて？出したままのダンボールも家に持って帰って束ねて収集日に出すか、古紙回収の人に持って帰ってもらってきれいにしているのに、怒鳴りこまれて親娘でビクつきました。通る道を変えてそれ以来その人とは会っていませんが、家の前にダンボールを置いていたり、イヤがらせをされている。向かいの家のマンションの前にダンボールが置いてあることがあり、放棄されたらと不安になりすぐに自分の家に入れているが、どこの人か分らず不安。続いたら警察へ通報しなさいと福祉事務所の人に相談したら教えてくださいました。
ヘルプマークをつけているが、ヘルプマークの認知が低いと思います。席譲ってもらったことがあるのは今までで2回だけです。(ヘルプマークをつけたのは4年ほど前なのに) ・通院しないといけなないので、その日は公休にしないと休めません。給料が減るので、残念です。最初是有休

があったので、通院のたびに有休を使っていました。休職もしたので、有休がなくなったので、特休というのが使えたらすごく助かるのに・・・と思っています。 ・生理が重たいので生理の日は仕事を休むことが多く困るため、ピルを飲み始めました。症状が軽くなりましたが、出来ればのみたくないです。職場に生理休暇がないので、困っております。
今は支援学校さんに病気を抱えながらなので、週2回ほど通学して訪問介護さん、移動支援と家で過ごす事が安定の子なので、卒業後も統合失調症に理解ある、生活介護の場出会いたいです。困っている事は留守番がむずかしいし、スクールバスから自宅までお迎えの時に、妹も体調がわるいので妹の学校のお迎えと重なる時は、親戚もいないのでどちらかをお休みさせないといけない。今、妹も不登校気味だから障害のない子のフォローと重度のお兄ちゃんのフォローでバス停から自宅までのほんの少しをお迎えしてくれるサービスがあると本当にうれしいです。←放課後デイなどは集団が苦しくなり症状悪化につながるので利用できない。 地域障害支援センターさまに月1回で相談したり、支援学校さまもとっても寄り添って下さって地域の目もあたたかく何とか生活しております。ありがとうございます。
一人で何もできなくて辛い。手足のしびれで歩行困難な時もある。友達は一人居るが毎回頼めない。
新型コロナウイルスの感染拡大により外出もしづらくなっているためPCR検査の拡充・マスクや換気の奨励・マスクの正確な付け方やマスクの素材による防護能力の違いの紹介・医療の拡充等が欲しいところです。黄部署で出来ることは無いと存じておりますが、正確な本当に科学・医療に基づいた情報の紹介等だけでも障害者向けに何かならないでしょうか。障害者全体にも被害が重くかかっているのではないかと危ぶんでおります。
人見知りで顔が恥ずかしく近所と職場の女友達ができにくい為、一人暮らし続けに困っています。
令和4年7月以降、放課後等デイサービスの負担額がすごく増えました。負担が多くてもっと自由に利用したいのにできない。サービスをうけたくても金額を負担に感じます。
障害があっても産まれてもなかなか相談できる所、つながる所がない。児童支援センター等につながるまでに時間がかかりすぎる。遅すぎる。障害者のためのサービス、補助等が他の地域にくらべて乏しい。
認知症の為、家族の名前も忘れている。今後認知症の改善薬など出来てほしいと思う。
自分は発達障害なのですが、コミュニケーションの面で非常に困っている事が数多くあります。特に自分が話す時どのように説明すれば相手に言いたい事が伝わるのか悩んでおります。また、自分が話を聞く時、相手の言った事の意味を正確に捉えきれず勘違いをする時があります。
この様な調査をされているのを初めて知りました。ありがとうございます。
私は1月で47歳になるが父は去年亡くなり、母は元気ですが介護が必要で介護サービスをうけていますが、私だけしかいないのでケアマネージャーに母の事をきつく言われる事あるので精神的に悩んでしまうことがある。
グループホーム入所施設などの数が少ない。入りたいのだから入れる所がなかなか見つからない介護にたずさわる職員さんの数が少ない。人手不足のように見える 介護にたずさわる人の処遇改善の対策をお願いします。成年後見制度を障害者にも使いやすく改善して欲しい。
近距離の用事が足せない。タクシーも利用しづらいほどのちょっとした買い物などが行けないし、歩くには少し休憩する所がない。また、左腕にシャント右腕も重い物が持てないので不便。
認知症と診断を受けて以降も食堂やトイレの場所が分からなくなり廊下で用を足してしまったり、布団内で用を足してしまったり情けなくいたたまれない気持ちになる。ヘルパーさんのやさ

しいお声掛けが更に私の心の傷をえぐりつついつい大声で怒鳴り散らしてしまいます。あかんとは思っています。でも、しんどいですわ。
放課後デイサービスを利用しています。これまで、基本料金月額300円で利用ができていたのが、昨年2300円になり負担額の金額が上がりすぎて正直辛いです。京都市が財政難なのもわかりますが削るべき所がどうなのかと考えさせられる所も多いです。京都市で子育て世代の家庭が障害のあるなしにかかわらず、生活しやすい福祉サービスが充実していると思えるように変えて頂けると嬉しいです。
相談支援を受けているものの、担当の方の知識不足、役割の理解不足なのか頼れない。ヘルパーも空きがある事業所、親が探し回る、どんなサービスがあるかも親が調べる。学校、デイ、リハビリや医療機関、ヘルパーなど本児をとりまく様々な機関の連携は全て親。担当者会議も相談支援担当者や学校にも相談したが実現せず。支援センターの方は相談支援も頼りになるそうですが・・・抱えておられる件数多くて受けてもらえず。相談支援に差がありすぎる。今の家3F建てでは、身体障害の子が生活するのは介助負担が大きすぎて引越した福祉車も検討中。その為にも母も仕事しないといけないが通院体調不良時対応、都度子供優先で動かないと子供の健康も安全も守れず、仕事も限られる。生活苦。子供は将来大人になる事へ明るい夢や希望に満ち溢れています。ただただ大人になって働いて好きにお買い物して友達とお出かけしていいと当たり前の日常を夢見ています。その当たり前の日常すら障害を理由にかなえてあげられないかもと不安しかないので。本人は親離れしていききたいとも少しずつ感じ成長しています。それでも親が大人になっても付き添って日々生活していかないといけないのか・・・できる事は全力で支えてあげたいし、体力の続く限り介助もしていくつもりです。でも親や家族ありきではない福祉サービス、相談支援もしっかり拡充してほしい、そして数年に1度ではなく常に個々の困りに耳を傾けて欲しい、皆さんが思っている以上にみんな限界の所ふんばっています！
父親が認知症になり、排尿の度にすごく叱る。「ごめんなさい」と謝るが、しつこく怒っている。父の言うとおりにしないと叱る。母は守ってくれているが母も車イスを無理してバスに乗せようとして、脊柱管狭窄症になり、骨折もして、車イスを押せなくなった。今は歩行器で外を歩行している。これからの事に大きな不安を持っている。住まいは市営住宅で、父母がなくなったら住めなくなるのか、慣れない所に大きな不安を持つので心配です。
介護や医療が常に必要だが、自分の為に寄り添ってもらいたいと思う。現場の人数が足りてないので全ての介助が必要な方に見守ってくれる人数が余るほどいけばもっと充実するだろうと感じている
特になし。
頭部の後遺症で頑張っていますが、すぐ疲れます。その症状がわかってももらえず困りますししんどいです。ちょっとした手助けで助かりますがやさしい人が少ないですね。もっともっと人間的な人々が増えてほしいです。いいヘルパーさんもプロの気持でお願いしたいです。少々物がなくなったりしましたがどうしようもないときがあります。くやしいですが変わってもらいました。介ゴにたずさわる方々にナイチンゲール精神をしっかりと学びこれからも人生を気持よくすごすようにと思っています。皆さん共々に前に向く生活をと望んでいます。どなたも公平です。
昔のことを考えるとすごく進歩していると思います。でも、障害者の本人達は(本人は)まだまだ不平不満等があると思います。家族でさえ期待にそえない、これで良いのかと自問自答しているぐらいですから・・・。現場の皆様に教えられることばかりです。新政策に期待しています。
意志疎通支援機器としてiPadを認めて頂きたいです。また、本人が一人では他人とコミュニケーションとりづらい為、外出時に支援者とはぐれても大丈夫な様にGPSで居場所が解る様な補助

器具も同様に公費での支給をお願いします。
体調が悪い時に助けてくれる人がいないこと。
区分認定の先生がさだまらない。(ずっとみてもらっていた医師が高齢のため、後継者がなく閉院された。)
特にありません。僅かずつですが、慣れてきました。68歳であり、自宅でも引き籠りにならず、現在の生活リズムを、少しでも長く維持したい、を目標に毎日生活しています。
生活サイクルの改善。対人関係。コミュニケーション。 上記による今後の進路について
障害の特性に対する理解が低いので専門性を高めて欲しい。 障害者のための通所施設・入所施設・グループホーム等増やしてほしい。
事業所への通勤バスが混むので、コロナ感染が心配。 昼食時、事業所の利用者さんのコロナ対策がよくないので感染が心配で昼食が食べられないので午後からの出勤にしてもらっているが、普通の時間働けるようになりたい(事業所は感染対策をされているが、利用者のおしゃべりなどが気になる) 気候がおだやかな時は昼休みに近くの公園でお弁当を食べたいと思いますが、途中の外出は認められていないので出来ていません。 現在通所している B 型事業所には発達障害者が落ち着いて休憩できる場所がありません。この事業所での通所時間を増やし、技術を取得したいと思っていますが、その為には発達障害の障害性に合った、落ち着いて休憩できる場所が必要です。
透析の送迎をヘルパーさんにしていますがその時々によって車イスを押すのが始めてという方が来られます。これでは送迎の意味がないと思う。民生委員の方の相談ですがこれはあまり信用できないと思います。家の中のことが他にもれています。年金収入なのにケアマネジャーさんからあれこれ進められて困っています。
生下時からの障害での通院が主で、また長期にわたっていますので医療費の軽減があればと思います。
今のところは大丈夫です。
障害者を理解することは、健常な子どもが小さい頃から障害のある人と交流することが大切と思う。
単身で家族の支援が得られず、重複障害、化学物質過敏症動物アレルギーがある。車椅子利用者の私は住宅確保障害福祉サービスの利用にあたって配慮がないと支援が見つからない。障害制度上の問題を改善し、体型上の問題、重複障害者、を抱えた医療弱者、家族の支援が得られない単身者に必要な支援がある世の中になってほしい。
親亡き後の生活がとても不安。グループホームの案内があつたとしても軽度の方が対象、スタッフが少ないのでどうしてもそうなるらしい。グループホームの前段階のショートステイさえもなかなか利用できない。希望した日に利用することや連日数泊の利用などできたことはない。今通う生活介護を利用しながら新たにグループホームは利用できるのだろうか。24時間オムツを使用しているが、治療育手帳のみでは全く補助がない。身体障害者手帳を持っているか持っていないかでとても大きな差を感じる。少しでも安いお店を捜して苦労して購入しているのに、オムツの補助を受けている人は決まった所で高価な定価で配達してもらっているそう。ゴミ袋までもらっているとのこと。この違いは何なのか、ひどすぎる。障害者年金だけで生活出来るのかとても不安。家賃、食費、オムツ代かなり厳しいのではないかな。親も高齢になってきた。間に合うだろうか。コロナの中でマスクをつけられない者としては肩身の狭い思いをしてきた。買い物にも行きにくくなった。地下鉄・バスにも乗れなくなった。災害時、避難先で大声をあげたりとても他の人

と一緒にすごせそうにない。マスク出来ないのでもここでも居場所がない、不安ばかりだ。
親、障害者ともに高齢化し、先行きは大変不安です。親亡き後、福祉は責任をもって障害者の寿命をまっとうさせて下さい。
小規模の知的障害者の生活介護事業所に通所していて年令を重ね、身体的に老化してきていて、それに対応できる看護師が常駐していないことで、医療的には対応がしてもらえないので常に不安である。
重度訪問介護を希望したとしてもそのための十分なヘルパーさんなどが実際にはいないこと。それと同じく通所の事業所などでも常に職員さんが不足していると思われること。どんな良い制度があったとしてもそれを実際してくれる支援者がいないと何にもなりません。福祉の分野で働く人が増えるよう、長く働きたいと思ってもらえるような対策が急務だと思います。
全介助です。コロナ前には、外出もいろいろな所がおでかけは介助もありましたが、コロナになりすべてなくなり、通所のみでの生活。また、家で車椅子に乗ったまま、オムツ交換で1時間ヘルパーに来てもらっての生活！退屈で寝るしかない！外に出かけてもオムツ交換の障害者トイレに介助ベッドがなく困っています！マスクができないので、外にも出られない始末。健常者は旅行割とクーポンの初回で出かけているが、障害者は出かけられない。コロナになると、ヘルパーにも来てもらえなくて、家族（老人・60才以上）に何事してもらわなくてはならない。病院に入院になっても面会に行けない。不安な気持ちでいっぱいになり、どうしようもない中でお亡くなりになった方もいます。特に障害者の介助は外に出ないのにしてもらえないのか怒りイライラします！亡くなった方は帰ってきません！もっと障害者の意見を聞いて改善してほしいです！
今後の事がとても不安です。本人はずっと家で生活したいと思っているように感じます。現在は母の私がひとりで介護していますが、どの程度の支援が受けられるのか、どのような生活に今後なるのか、あまり知識がないので不安です。さすがに介護は大変になってきましたが、子どもと離れたくない気持ちも大きいので、精神的なストレスも感じています。本人は重度心身障害ですが、意思の表現はできるので、本人が人間らしく、わがままも少し言えるくらいの生活を送れるような支援があればと思います。
あと、制度を利用するにあたって、必要だと思う前に、利用しやすい環境があればと思います。普段、生活していると現状が当たり前になっているので、大変な生活に気付きにくいのではないかと思います。このことは、今問題になっているヤングケアラーの子たちにも共通すると思います。生活の現状を見守って、アドバイスしてくれる第三者の存在が必要だと感じています。
今は困ってない。母が病気になった時にとても不安になる。
マスクにコミュニケーションの取りづらさ、コンビニなどが指さしマークなど作成してくれているがまだまだ不便。すぐに書いてくれない時もある。
特に有りません。
てんかん電話の対応してほしい。（24時間対応希望）
よく物を忘れやすいので、自分の子供にも負担がかかっているなと思う時がある。そこはあまり気にしないようにしていますが少し不便な時もあります。
どこに住んでいても、京都府でも（京都市外でも）市バスや地下鉄を無料にしてほしいです。
知的障害があっても相手が分かりやすいように話をするのが苦手だけど、それでも不機嫌にならず聞いてほしい。一人暮らしをしていてヘルパーさんから話をする時に怒らず優しく言ってほしい。
京都市外でもサービスを受けられるようにしてほしい。 電車とバスの手帳割引してほしい。 生活保護のお金を増やしてほしい。保護費が少ない。

ヘルパーサービスについて今のところは分らない。毎日 1.5 時間来てもらっている。家事援助。
現在の住まいが築年数を経ち、京都市内花折断層近くにある事から、大きな地震が起きた時の不安を常を感じる。その為公営住宅の情報を入手して、遂一応募してかれこれ 10 年近く経つが当たらない。公営住宅は抽選制だが利用できる事が出来るとありがたいと思っている。
コロナの事では PCR 検査を鼻咽頭ぬぐし液方法や、唾液を溜め事が難しいので綿棒に唾液を含ませる検査を希望すれば出来ることを願います。・近くにショートステイができる場所が少ないので困ります。
精神医療機関（かかりつけ医院）以外を受診する時に受診料が 3 割のため、本人障害年金（国民年金）では痛手である。親からの援助も少ない年金者であれば日常生活でも大変なのです。 年金額の受給額によって 3 割～無料と段階を早急に検討していただきたい。 親亡き後もスムーズに相談できる所を表にして配布してほしい。
アンケートは少し難しかった。
家の中での（家族）との会話はどうか出来ていると思うけど、外の世界では会話は出来なくて、自分の思っている事が出来なくてイライラしストレスをためている様に思います。困った時は助けてほしい時は側にいる人にはっきりゆっくり話すよう日頃言い続けています。そんな時が来たらわかりにくくてもゆっくり聞いてもらえる人に巡りあえる事を願います。
両親がいるので今は大丈夫だが今後は不安。
障害者を見ている親が介護出来なくなった場合にどうするのか不安。 JR の交通費は半額負担する事。（遠出できない。）
親亡き後、地域で暮らし事業所に通う事ができるのか不安です。障害者年金だけで生活していけるのか心配です。
我が子には内容が難しく協力して答えましたが、母の気持ちで書いたこともあり内容を理解していない部分が多かったです。今は親（私）がいます。今後どうなるかです。本人は何が困っているのか、わっていないと思います。
知的障害者 A で、親と同居、一般会社・正社員です。親として最も気になっていることは「最後を迎える施設」です。老後、動けなくなるまでは、行政のいろいろなサービスや制度も充実してきていて、ほんとうにありがたいです。また、ご近所の方々の協力も得てなんとか生活はできていると思います。しかし、そのあとの入居できる所が心配です。親が亡くなってしまったら、この子が自宅で一人過ごせなくなった時に、どのような手続きで誰が入所のお世話をしてくれるのか、その辺りのところが究極の不安です。従ってお願いです。 最終の公的な入居施設をもっと造ってほしい。 制度化 親が、弱ってきた、あるいは亡くなった後、入所の手続きなどの世話をしてくれる行政の制度を明確にしてほしい。最終入所に至るカッチリとした制度を作ってほしい。例えば 70 才からは 3 年ごとに訪問/面談する制度化。そして、最終入所に至る道筋を明確化してほしい。親が生きているあいだに入所ができてしばらく並行して、行き来できたらいいなと思います。以上よろしくお願いします。
現在は、保護者（母親）と同居していて、日常的に支援が必要な事柄は親が手助けしているが、親は高齢（84 才）であり、何時支援が受けられない状況になってもおかしくない。その時（現在親に頼っている、支援が受けられなくなった時）どう対処したらよいか、一応兄弟に頼んではいるがどのような公的支援を受けることになるか具体的イメージが持てない。（公的支援の必要性は現在支援を受けているのでよく判っておりありがたいと思っている。60 才を目前にし、以後ますますその支援が必要になると思われる）親亡き後ひとり暮らしを望んでいるので、経済面、日常的

な支援の充実を望む。
マスクをしないと美術館などに入場できない。マスクをできないので周りの人に気をつかう。 子どもが好きだが向こうが応えてくれない。 公共のトイレが美しくないところや使いにくいところがある。
今は親が元気で経済的にも問題なく暮らせているが親が退職した後どんな生活になるか不安です。 区分認定5ですが療育手帳はB判定のままなので行政の支援が受けにくい。 将来娘が一人になった時のことを考えると不安です。私達が元気なうちにグループホームの体験をして家から近いところのグループホームに入れたらと切実に願っています。
頭の中で判断がしづらいため、今の生活のどこをわかりながら生きたい。精神状態、病気のことをわかって忘れてしまうけどわかっておきたい。高齢で歩いたりするのが難しい父親と一緒にサービスを受けて生活できるところがほしい。
子（調査の対象者）が5才のため親が感じている困りを書きます。 初めての子育て＋障害児（知的中度、自閉症）でかんしゃくへの対応方法、支援方法が分からず、各所（発達相談所、障害者地域制生活支援センター、役所はぐくみ、通所型児童発達支援事業所など）にペアレントトレーニングなど親が学べる場がないか相談しても「わからない」と返答される。日々と関わり一生身近で過ごす私達がスキルを身につけることが子の安定にもつながると思うので講座？か何かしてほしい。（丸太町のかがやきの自閉症は？などの講座出ではなく） 親が育児（かんしゃく）に一杯いっぱいになり助けてほしいと強く感じたのが、園の長期休暇中。行政に相談したが、そういう時日中（事前に申請したとしても）預かってもらえるところが実際のところないに等しい状況だった。[はぐくみシ]ョートステイ、トワイライトステイ。[障害福祉サービス]移動支援→小学生～利用可[発達相談所]日中一時支援後→白川学園を希望。通所している隣のひなどり学園の副園長先生に再度確認すると、長期休暇中は希望者が多い「重度や手出る子も多いので安心してどうぞという感じではな」と説明があり見学をすすめられる。 本当に困っていても安心、安全な環境ではないかも？と言われたら預けられません。 役所のはぐくみ室は子育てについてのコンシェルジュということで相談（上記内容含め）に言ったが障害福祉サービスについての案内は間違った情報を伝えられた。区の障害福祉課へ行くと、別の障害福祉サービスが利用できると教えてもらえホッとした。分らない時は詳しい部署に案内して、正確な情報を伝えるようにしてほしい。 乳幼児検診は障害児と親にとっても「苦」。移動、待ち時間長い、定型の子とどうしても比べてしまう状況。合理的配慮（時間を個別にとる、事情あると相談が事前にあった人だけ別日にするなど）してほしい。私は事前に電話したが対応してもらえなかった。 この調査の担当、問い合わせ先である保険福祉局障害保険福祉推進室へ問い合わせ電話をかけたら男性の方が出られ「電話番号間違ってますか？なぜこの番号を知ってるんですか？」京都市民しんぶんやそのQRコードで検索したら出る京都市情報館のwebに掲載されていたと伝えても「本当ですか？」と知らない様子。その状況に驚き、あきれました。部署内で周知されていないのですか？
将来グループホームで入所したいと思っているので自分と同じように障害の人と生活出来るグループホームにしてほしいです。 希望した人がすぐに入所出来るようにグループホームを増やしてほしいです。 家賃の国からの補助金をもっとふやしてほしいです。
京都市では療育手帳の判定がAとBしかなくて、私はほとんど重度に近い中度なのですが、判

定がBなどでどこに行っても軽度とみられがちです。なので他の県みたいな軽度と中度でも手帳に判定をわけてほしいです。困っている時でもできると思われるので支援が受けづらいです。入居施設で重度の人と軽度の人が別に住めるようになってほしいです。入居施設の職員の数が増えてほしいです。障害者の介護者が話せる場が増えてほしい。
離職後就労移行支援をしていただける授産園に通所するようになって1年になります。前向きに規則正しく日々を過ごせております事をありがたく感じております。今はそちらで相談をさせていただいておりますが、困った時どこに相談に行けばいいのか、継続的に長く支援が得られるにはどうすればいいか、親亡き後の事も含めいざというときに慌てることのないようにするのはどうすればいいのか教えていただきたいと思います。よりよく生きることができるよう今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。
今は就労移行支援で色々学びながら日々成長していると思う。その中で就職出来たらと思う。給料を貰いながら一人暮らしが出来る様にしたいと思うが給料が上がるか不安である。
ヒアリンググループについて。補聴器を利用している難聴者として、ヒアリンググループは補聴器のTコイルでクリアに聞き取れてとても便利です。ですが、ヒアリンググループの活用の範囲をもっと広げてほしいです。難聴者の社会参加を促す社会環境づくりのために。京都市がヒアリンググループの普及チラシを配布しているのになかなかしんとうしにくい原因のひとつとして、まだ、難聴者のほとんどがヒアリンググループやTコイルの事を知らないことにあります。補聴器点が積極的に補聴器購入者にヒアリンググループの説明や情報提供をしていただければ、ヒアリンググループ活用者が増えていくでしょう。2021年5月、障害者への合理的配慮の提供を民間の事業者にも義務付ける、障害者差別解消法の改正法が成立しました。ここで補聴器点が補聴器購入者にヒアリンググループやTコイルの説明や情報提供を、合理的配慮の提供として民間事業者にも義務付けていただくことにご配慮していただくことをお願いします。
行政の制度でわからず困っていることがあれば、教えて頂ければありがたいです。自信がなく一緒に行動していただければ尚助かります。 一番思うこと。支援者の方々に利用者さんの気持ちに少しでも寄り添っていただけることが、大事なことと思います。 利用者さん自身も謙虚な気持ちでより良い支援者さんとの気持ちの交流が出来ればよいと思います。
駅の案内等が車椅子の目線の高さなどを配慮してわかりやすくなればいい。
特にありません
車イス生活の私にとって外出時の交通手段は主に車を運転して移動する事が多く、一番の不安は目的地の駐車場です。車に乗降する際に車イスを出し入れできるスペースが放置されているかどうかです。最近は車イスマークのある駐車場がスーパーやコンビニ、施設などでたくさん設けられていて本当にありがたく思っています。しかしそんなスペースにも健常者が平気で停めたり、元気そうな高齢者が当たり前のように停めたり、いつもそんな人達に占領されていることが多々あり困っています。また、福祉関係の施設には身障用の駐車スペースが何台分か必ず確保されているものと勝手に思っていたが、全くない所もあるのだと実感しました。新しく建設される福祉施設には身障用の駐車スペースを作ってもらえることを望みます。
一日中見守り支援をしてほしい。
私は、現在66歳の高齢者、障害者であり、配偶者が難病で要介護される。特に夕方から早朝までの緊急時の支援や掃除が難しく、困っています。すぐに支援して下さる方が居れば助かります。
みんな偏見のない目で話や行動をかかわってほしい。

車イスを利用していますが、家が古くバリアフリーにもなっていないため、室内の移動（居間からトイレへ、居間からお風呂まで）などが大変となっています。（今のところは親の全介助（抱っこ）で移動）。早急に家の建て替えカリフォルムが必要な時期です。あとコロナ禍で入浴介助のヘルパーさんがお休みされると親の負担増になることが多々あります。（男性のヘルパーさんが特に少なく代理が効かなく困っています。）
将来がどうなっていくか不安。自分に合うグループホーム等があるかどうか。
道路の段差や傾き、穴など車イスで通行するにはこわい時が多々ある。階段の上り下り、トイレ、お風呂の浴槽の出入りが困難。
アンケートの内容がわかりにくかったです。
自転車のマナーが一番悪い。スピード出しすぎ、子持ちママもいる。道はどこでも全てです。自転車だけでなく車もルール無視してスピードが多い。白バイ 1300cc 高くあんまり動かないのは多く、税ムダ。各大学の付近の学生のサイクリング利用が多いのにスピード多い。→各大学生にきびしく警告して下さい。高齢者は怖いぞ。バス停の歩道は車道並低くバス乗降は高齢者と障害者が大変です。交通局は見てない。
この調査票は多すぎて時間がかかる。障害別の方がよい。特に知的障害の方が多すぎ。
保健福祉センター、月～金曜日、手話通訳配置を求めています。（週 1 回休みの時がある。） 生活状況調査の内容について、わかりにくいところがあるので記入しないこともありますのでご理解下さい。
行政発行の” 新聞” 類の各種問い合わせ、行事申込み欄に FAX 番号が記載されてないこと。 各種行事に手話通訳等の情報保障についての記載がないこと。 各種催物に障害者割引等の情報が少ないこと。
親は高齢化、自分は聴覚障がい者。家（不動産系）の事を通訳等必要や今後のことについて専門に依頼する設備が不明なので知りたい。（どこへ聞いたら良いか。）
買い物でのコミュニケーション。例えば商品についての質問、マイナポイントの申し込みでエラーが出て電話の問い合わせができないなど困っています。 大型店舗などは目から情報が多すぎて気分が悪くなったりし、疲れます。 年金やアルバイト収入が上がらないので将来が不安。 病院に行った時手話訳がないので病状をうまく伝えられない。緊急時、火事・病気・事故などの時など通じないと不安です。
配偶者が外国のろう者の場合、日本語学校へ通いたくても受け入れてくれるところがない。（経済的に通いたい。） マスク生活になってから意思疎通の不便さを感じる。（口の形が読めない。） コロナに感染した時やクレジットカード、ガスなど引っ越しや手続きする時すごく不便、手間かかる。インターネットを見てと言われるがなかなか難しい。 携帯がとまった時など困った時の受付で音声ガイダンス案内はすごく困る。電話リレーサービスを使用しても使いづらいことがある。（本人確認などリレーサービスを通じて本人と伝えるが認めてもらえない事も多い。）
数年前に原因不明の病気になる前は心配なく外出できた。現在は外出するのが不安があり、やむなく家で過ごしている（TV を見て食事している）仕方がないと思っている。
調査に協力しましたが、この調査をどのように活用されるのでしょうか？行政とりくみに善いほうに対処して頂けることを期待しています。全部の漢字にルビを打って頂いてますが、ルビをつければよいものではないです。行政で当たり前に使われている言葉をそのまま使われても理解

しづらいです。調査内容作成の段階で当事者に目を通してもらって本人がスムーズに記入できるかどうか確認して頂きたいです。障害の区別別に調査書を作成してほしいです。
差別、一人暮らしがしたい。
親亡き後、本人にあった生活の場所の設備（安心して暮らせるところ）親が老年なので将来が心配。
今は小学生で親の目が届くというか、親と一緒に行動したり学校でも先生など大人が関わってくれる中で、周りの理解も得られ伸び伸びと過ごすことができていると思うが、やはり中学の多感の時期、成人してからのことを考えると我が子がどのような人生を生きていくことができるのかなど将来に対する不安はある。積極的に成人した自閉症のお子さんをもつ方の話など聞く機会があれば参加したりしているが、もっとそういう場があればなと感じる。
自閉症の息子です。対応の難しい人です。私が死んでしまったらどこで生活をさせていただけるのでしょうか？重度自閉症の人に対応できるグループホーム少ないですね京都は・・・。「重度対応できます」と言っていただけでも人間ですから相性があります。お試し体験の機会もとても少ないように思います。知人は府下で大金を準備してグループホームに入居しました。私はシングルマザーです。そんな大金は準備できません。最近はまだ半ば諦めています。のたれ死にしないやまあいいか・・・と。
満足しており困っていることはなし。
学校に行きません。でも先生も友達も嫌いではありません。不登校か登校拒否か、とりあえず毎日家でスマホをしています。好きなものしか食べません。日中逆転しています。本人がどう考えているのかわかりません…。By 親
障害のある人が（又はお年寄り、女性）ベッドの組み立てなど力を使う作業「何でも屋さん」に頼むと高額な金額を取られるが自分ではできない。作業をどこに誰に頼んだらいいのか困っている。
B 型の作業所のお給料がもう少し多くなれたらいいのと思う。体力が少ないから心配。A 型に行けずになっています。
京都市でも精神障害者の医療免除を切に望みます。
精神の病気でも入所できるホームを作してほしい。
家族のケンカがしんどい。特に家族に当たられることがつらく、一人暮らしをしたいと考えている。
てんかんの部分発作持ちだが、外見から分かる症状じゃないので、発作中も気づいてもらえないことが多い。説明しても理解してもらえない。 バスに乗車証で降りる時、運転手さんが健常者、高齢者、身体・知的障害の方には、「ありがとうございます」とお礼を言うのに、見た目に分からない自分が無料で降りる時だけぴたりとお礼を止める時がしばしばあるのが悲しい。 音に敏感なので、ショッピングセンターやドラッグストアのBGMや声で気分が悪くなる。 精神障害に対しての支援機関が少ないと感じる。 知識の少ない職員さんが多すぎて混乱する。福祉支援施設など。（特に保健福祉センターの方は、何も知らない、態度が悪いのでなるべく用事は、避けたい。） 障害年金を受けられる可能性はあると思うのだが、手続きが大変で申請できずにいる。
障害者が立ち寄れる場所があれば教えてほしいです。 ひとりで動くことが多く、情報が欲しいです。 親が親の会に入り、つながりがあるので、何とか本人が困れば少しですが、声掛けできますが、

どんどん引きこもっていた20年間からはばたき1年半を迎えますが、競馬をしたり、地下アイドルを御最前に行ったり、お金の使い方の計画がたてられず、カードで支払いが多く、おやから昨年9月に8万と10月に10万と12月に16万とかしております。弟からも怒られます。少しずつ、返却を考えておりますが、なかなか教えるのが難しく親としては、悩んでおります。早く、給料の範囲で生活してほしいと願います。